

しも はら
下の原 A 遺跡

株式会社中村の事務所及び倉庫建設に
先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

2022年3月

長野県飯田市教育委員会

下の原A遺跡 正誤表

頁	図	番号	誤	正
60	第7図	15	土坑777	土坑776
60	第7図	17	土坑779	土坑778
63	第10図	25	土坑1008	土坑1068
64	第11図	タイトル	遺物	土器
64	第11図	36-37	土坑1161	土坑1164
67	第14図	30	遺構外	土坑742
67	第14図	タイトル	1~38	1~29 31~38
72	第19図	12・13	—	土坑1040
73	第20図	11	土坑1151	土坑1157

序

私たちの飯田市は美しく豊かな自然に恵まれ、古くから多くの先人たちの足跡が市内各所に刻まれ、伝統文化と厚い人情味にあふれたまちです。平成29年度からスタートした飯田市の総合計画、いいだ未来デザイン2028はリニア中央新幹線開通の翌年にあたる2028年に、みんなで実現したい「くらしの姿」「まちの姿」をビジョンとして掲げ、その実現に向けて多様な主体がそれぞれの立場で「飯田の未来づくり」にチャレンジするための指針として策定しました。その基本目標4、およびいいだ未来デザイン2028の分野別計画である第2次飯田市教育振興基本計画の中期4年の重点目標には、「豊かな『学びの土壌』を活かした『学習と交流』を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む」を掲げています。

下の原A遺跡が所在する伊賀良地区は、古代東山道の育良駅家推定地があり、平安時代には高燥な台地上の開発が進み、伊賀良庄として莊園が置かれました。鎌倉時代には北条氏の一族、そして信濃国守護職小笠原氏が勢力伸長の基盤とした、重要な役割を果たした地域です。また、江戸時代には佐竹蓬平や鈴木芙蓉といった画家を輩出した地域でもあります。古来豊かな歴史・文化を育んできた地といえます。

一方、多くの地方都市にみられるように、飯田市でも近年主要幹線道路の整備とともに市街地が拡大し、店舗・事業所が郊外に移転するなど、中心市街地の空洞化が深刻な問題となっています。伊賀良地区は中央自動車道飯田インターチェンジが供用されてからこうした市街地化の波に早くから呑み込まれた地域の一つで、宅地化が著しく進行する一方、調査地点周辺は事業所の進出しており、人口も市内最大となっています。今回の開発もこうした時流に沿ったものであります。

しかし、一方で事業計画地は、埋蔵文化財「包蔵地下の原A遺跡の一画です。隣接地では、昭和62年度に工場建設に先立ち発掘調査が実施され、縄文時代中期・弥生時代後期のムラのあとが見つかっています。今回の発掘調査でも、堅穴建物や土坑とよばれるさまざまな形や大きさの穴などが調査されました。

調査した遺構のうち、溝状址と小穴の一部が時期不明となる他は、出土遺物から縄文時代中期に位置づくものです。この時期は、縄文時代のうちで規模が大きな集落が市内各地で調査されており、当地域が最も繁栄した時代ということができます。隣接するこれまでの調査地点で調査された堅穴建物とは時期を異にすること、また、600基を超える土坑が一面に分布していることから、本遺跡が当地域でも主要な集落の一つであったことが明らかになりました。

たゆみない文化財保護活動により、このような地域の歴史が次第に明らかになりつつありますが、調査記録をとどめた本報告書が活用されてはじめて、地区および市域の方々の財産として生命を与えられることになります。また、そうなることを切に望む次第です。

最後になりましたが、文化財保護の本旨にご理解を賜りご協力いただきました地元関係者の皆様、ならびに発掘調査に従事された方々に深甚なる感謝を捧げまして発刊の辞といたします。

2022年3月

飯田市教育委員会

教育長 代田 昭久

例　　言

1. 本書は民間開発に先立ち実施された、長野県飯田市下殿岡所在の下原A遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 調査は飯田市教育委員会が直営実施した。
3. 調査は、平成3年度に現地作業、同4年度に整理作業、令和3年度に報告書作成作業を行った。
4. 発掘作業・整理作業にあたり、遺跡略号T S Hに地番を付し、T S H454-10を一貫して用いた。
5. 調査には以下の遺構略号を使用している。
　　竪穴建物址 - S B、溝址 - S D、土坑 - S K
6. 本書の記載順は遺構別を優先し、遺構図は挿図とした。
7. 土層の色調については、『新版標準土色帖』を用い、マンセル表示で示した。
8. 本書に関わる図面の整理は、調査員・整理作業員の協力により馬場保之が行った。
9. 本書の執筆と編集は馬場が行った。
10. 本書に関連した出土遺物および図面・写真類は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館・飯田市考古博物館に保管している。

本文目次

序	
例言	
目次	
第Ⅰ章 経過	1
第1節 調査の経過	1
第2節 調査組織	1
第Ⅱ章 遺跡の環境	3
第1節 自然環境	3
第2節 歴史環境	3
第Ⅲ章 調査結果	10
第1節 調査区の設定	10
第2節 基本層序	10
第3節 遺構と遺物	10
(1) 壊穴建物址	10
(2) 壊穴	15
(3) 土坑	15
(4) 溝址・溝状址	16
(5) 遺構外出土遺物	16
第Ⅳ章 総括	34
引用参考文献	35
報告書抄録	95

挿図目次

挿図 1 調査地点位置図	4
挿図 2 調査遺跡および周辺遺跡位置図	6
挿図 3 調査区の設定	8
挿図 4 遺構全体図	9
挿図 5 壊穴建物址38	11
挿図 6 壊穴建物址39	12
挿図 7 壊穴建物址40	13
挿図 8 壊穴6～8	14

挿図9 土坑平面図(1).....	17・18
挿図10 土坑平面図(2).....	19・20
挿図11 土坑平面図(3).....	21・22
挿図12 土坑平面図(4).....	23
挿図13 土坑平面図(5).....	24
挿図14 土坑平面図(6).....	25
挿図15 土坑平面図(7).....	26
挿図16 土坑平面図(8).....	27
挿図17 土坑平面図(9).....	28
挿図18 土坑平面図(10).....	29
挿図19 土坑平面図(11).....	30
挿図20 土坑平面図(12).....	31
挿図21 土坑平面図(13).....	32

図版目次

第1図 下の原A遺跡出土土器(1).....	54
第2図 下の原A遺跡出土土器(2).....	55
第3図 下の原A遺跡出土土器(3).....	56
第4図 下の原A遺跡出土土器(4).....	57
第5図 下の原A遺跡出土土器(5).....	58
第6図 下の原A遺跡出土土器(6).....	59
第7図 下の原A遺跡出土土器(7).....	60
第8図 下の原A遺跡出土土器(8).....	61
第9図 下の原A遺跡出土土器(9).....	62
第10図 下の原A遺跡出土土器(10).....	63
第11図 下の原A遺跡出土土器(11).....	64
第12図 下の原A遺跡出土土器(12).....	65
第13図 下の原A遺跡出土土器(13).....	66
第14図 下の原A遺跡出土土器(14).....	67
第15図 下の原A遺跡出土石器(1).....	68
第16図 下の原A遺跡出土石器(2).....	69
第17図 下の原A遺跡出土石器(3).....	70
第18図 下の原A遺跡出土石器(4).....	71
第19図 下の原A遺跡出土石器(5).....	72
第20図 下の原A遺跡出土石器(6).....	73
第21図 下の原A遺跡出土石器(7).....	74
第22図 下の原A遺跡出土石器(8).....	75

表 目 次

第1表 土坑観察表.....	36~50
第2表 石器観察表.....	51~53

写真図版目次

図版1 遺構全景（南東から） 同（南西から） 調査区全景.....	77
図版2 壴穴建物址38 同炉 同遺物出土状況.....	78
図版3 壴穴建物址38遺物出土状況（P4脇） 壴穴建物址39 同炉.....	79
図版4 壴穴建物址39遺物出土状況 同P7遺物出土状況 同貯蔵穴.....	80
図版5 壴穴建物址40 同炉.....	81
図版6 壴穴建物址40炉 土坑625 ~ 631周辺 土坑799周辺.....	82
図版7 土坑827遺物出土状況 土坑835 ~ 844周辺 土坑971他	83
図版8 土坑1001 土坑1097 1トレンチ（北西→南東）.....	84
図版9 3トレンチ（北西→南東） 重機作業風景 発掘作業風景.....	85
図版10 発掘作業風景 全体清掃.....	86
図版11 壴穴建物址38.....	87
図版12 壴穴建物址39.....	88
図版13 壴穴建物址39.....	89
図版14 壴穴建物址39 壴穴建物址40.....	90
図版15 土坑752 土坑827.....	91
図版16 土坑961 土坑1001 土坑1004	92
図版17 土坑1004・遺構外 土坑1055 土坑1177.....	93
図版18 遺構外.....	94

第Ⅰ章 経 過

第1節 調査の経過

飯田市下殿岡所在の埋蔵文化財包蔵地下の原A遺跡（調査時の遺跡名は下原遺跡）において、民間の事務所・倉庫の建設が計画され、工事の施工前に発掘調査が必要かどうかの問い合わせが飯田市教育委員会にあった。そこで、建物位置が決定した時点で現地協議を行う旨を事業者計画者側に伝えた。

現地協議は、県教育委員会文化課・飯田市教育委員会社会教育課と事業者計画者の立会のもと実施した。協議の結果、用地内の試掘調査を行い、遺構・遺物の状況を把握し、再度協議することとした。

協議の結果を受け、遺構の分布状況を把握するための試掘調査に着手した。

平成3年10月5日に用地内に重機による試掘トレンチをあける作業に入った。試掘トレンチは用地内に「ロ」の字形に4本設定した。重機作業終了後、作業員を入れ、遺構の確認作業を実施した結果、堅穴建物址・土坑等の遺構を検出した。そこで、再度協議を実施し、建物部分については記録保存を行うため、発掘調査を実施することとなった。なお、建物部分から外れる試掘トレンチ部分についても、調査を実施するものとした。

調査はまず、建物部分以外のトレンチから始めた。この部分は10月9日から人力により各遺構を掘り下げ、写真撮影、測量等を行い10月22日に作業を終了した。引き続き、11月6日から建物部分の調査に入った。重機により表土を除去し、11日から並行して人力による遺構検出作業を行った。13日からは検出された遺構の掘り下げを行い、随時写真撮影、測量作業を実施した。12月25日に掘り下げ作業を終了した。ラジコンヘリによる全体写真の撮影、測量図面類の確認・補正を行い、平成4年1月10日現地での調査を終了した。

その後、飯田市考古資料館において現地で記録された図面・写真類の整理、出土遺物の水洗・注記・接合・復元等整理作業を平成4年度にかけて行った。

令和3年度は本報告書刊行作業を行った。

第2節 調査組織

(1) 調査団

調査担当者 小林正春・佐合英治・馬場保之

調査員 佐々木嘉和・吉川 豊・諒谷恵美子・福沢好晃

作業員 地元作業員の方々

(2) 指導 長野県教育委員会

(3) 事務局 飯田市教育委員会

平成3・4年度

安野 節 (社会教育課長)

中井洋一 (夕 文化係長、平成 3 年度)
原田吉樹 (夕 文化係長、平成 4 年度)
小林正春 (夕 文化係)
吉川 豊 (夕 夕)
馬場保之 (夕 夕)
瀧谷恵美子 (夕 夕)
福沢好晃 (夕 夕 、平成 4 年度)
篠田 恵 (夕 社会教育係、平成 4 年度)

令和 3 年度

馬場保之 (文化財保護活用課長)
関島隆夫 (文化財施設整備担当専門幹)
宮澤貴子 (文化財保護活用課 課長補佐兼文化財担当主幹)
下平博行 (夕 課長補佐兼文化財保護係長)
吉川金利 (夕 文化財保護担当専門主査)
瀧谷恵美子 (夕 文化財保護係)
春日宇光 (夕 夕)
坂井勇雄 (夕 文化財活用係長)
羽生俊郎 (夕 文化財活用係)
西脇 充 (夕 夕)

第Ⅱ章 環 境

第1節 自然環境（挿図1）

伊賀良地区は飯田市西部にあり、飯田市街地の南西に位置する。北側は鼎地区、東側は松尾・竜丘地区、南側は山本・三穂地区に接する。

飯田市は赤石山脈（南アルプス）と木曾山脈（中央アルプス）にはさまれた伊那谷の南端にあたり、両山脈の間を天竜川が南流する。天竜川に平行する河岸段丘地形を特徴とするが、両山脈の形成に関わる断層地塊運動に伴い盆地・大きな段丘崖が形成された結果であり、複雑な段丘地形を呈している。

伊賀良地区の場合、西側と東側で大きく地形が変化している。

西半は木曾山脈の前山である笠松山（1271m）、高島屋山（1397m）東山麓にあたり、飯田松川・茂都計川をはじめ、笠松山・高島屋山から流れ出す入野沢川・南沢川・滝沢川・新川等の河川によって形成された広大な扇状地が広がる。扇端はおおむね北方地籍では新井付近、大瀬木で伊賀良小学校付近、中村の長清寺付近であり、これより西側は傾斜の比較的急な斜面となっている。なお、扇端の一部は前述の線を大きく越えて東側に伸びており、下殿岡地籍まで達するものもある。扇端付近は通例湧水が豊かであるが、これら扇状地が小河川により幾重にも複合して形成されているため比較的湧水に恵まれ、今日でも横井戸として利用している住宅がみられる。扇状地の形成に大きな役割を果たした小河川は、現在堆積作用より下谷作用に転じているが、浸透力は弱く、開析谷の規模は比較的小さい。

これに対し、地区の東側は基本的には高位の段丘面を占めており、扇端から離れるほど地下水位が低くなる。

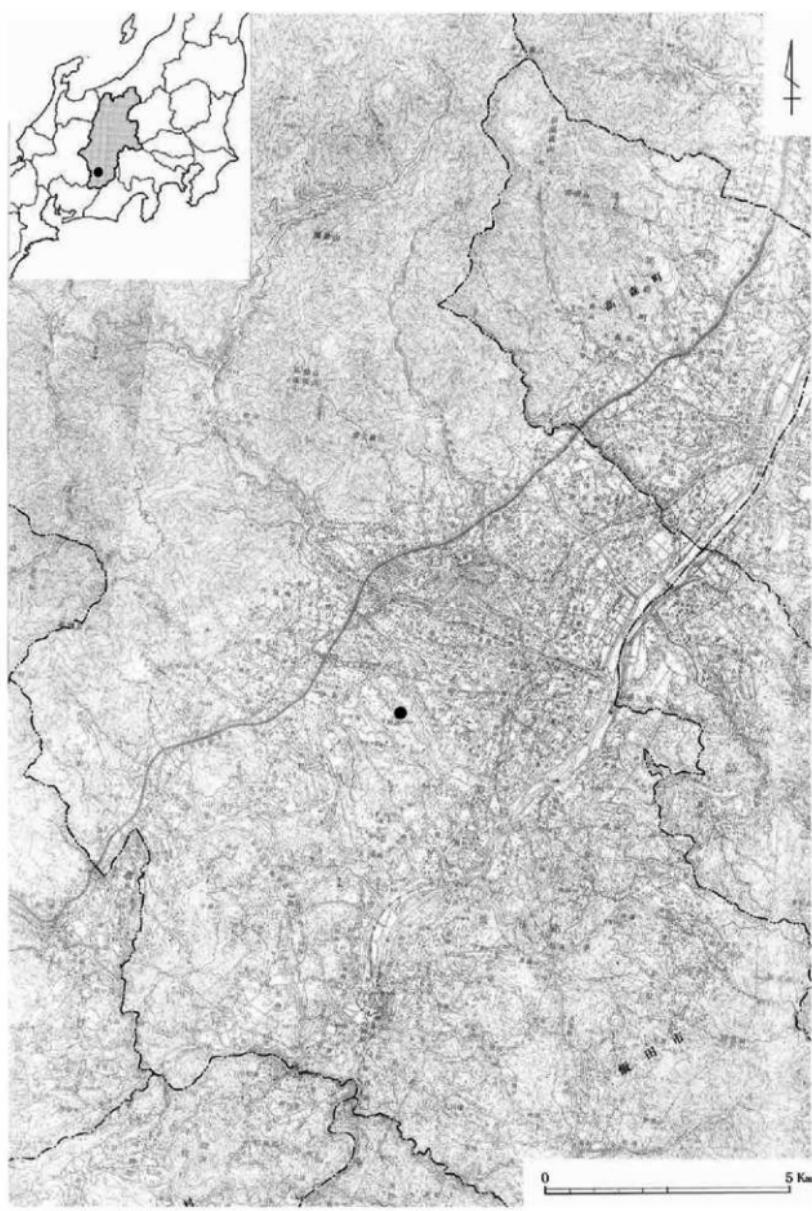
古代末以来、この高燥な地帯への井水の開削が繰り返し行われ、大井をはじめ多くの井水が開けられているほか、地区内の大小河川には人為的な改修が加えられてきた。

下の原A遺跡は、毛賀沢川に面した中位段丘上、笠松山系から伸びる微高地の末端に位置する。調査区全面にロームが遺存しており、集落を営むのに適した所といえる。

第2節 歴史環境（挿図2）

伊賀良地区は埋蔵文化財包蔵地が濃密に分布しており、これまで発掘調査がなされた遺跡は、学術調査による立野、北方北の原（旧：山口）、北方西の原（旧：西ノ原）の各遺跡、中央自動車道建設にかかるよ志原（旧：ようじ原）、上中村（旧：上ノ平東部）、大羽（旧：寺山）、大東（旧：六反田）、酒屋前南（旧：大東）、酒屋前（旧：酒屋前、滝沢井尻）、小垣外・辻垣外、金谷（旧：三瀬渕、上の金谷）の各遺跡、一般国道153号飯田バイパス建設にかかる殿原、八幡面、小垣外・辻垣外の各遺跡、広域農道西部山麓線建設にかかる飯田垣外、火振原、梅ヶ久保、細田北、河原林、北方大原（旧：大原、直刀原）、入野、立野、北方北の原の各遺跡、圃場整備に伴う小竹（旧：三尋石）、増泉寺付近、富士塚、富の平、中村中平の各遺跡、諸開発に伴う北方西の原、三尋石、酒屋前南（旧：酒屋前）、はりつけ原、中島平、宮ノ先、樋口、鳥屋平、中川、下の原A（旧：下原）、高野、公文所前、等の各遺跡がある。

こうした文化財に表われた先人達の足跡は縄文時代草創期までさかのばる。北方北の原遺跡では爪形



挿図 1 調査地点位置図

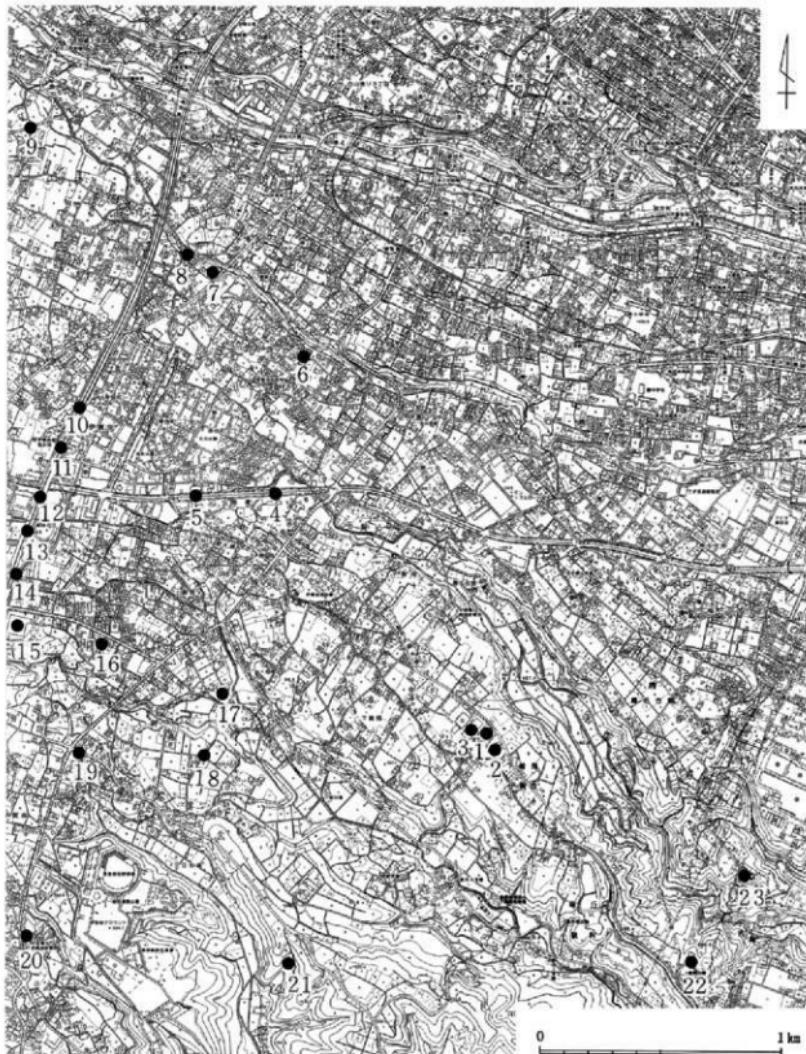
文土器・表裏繩文土器・押型文土器（立野式・桶沢式・細久保式土器）が出土している。加えて、立野式土器の標式遺跡である立野遺跡や北方北の原（旧：山口）遺跡といった繩文時代早・前期の遺跡は主に笠松山麓の比較的標高の高い所に立地している。前期終末では小垣外・辻垣外・殿原遺跡等扇状地の扇端付近の遺跡で堅穴建物址が調査されている。中期の遺跡は伊賀良地区の広範に分布しており、中央自動車道・西部山麓線路線にかかる扇状地上の諸遺跡や下の原A（旧：下原）、公文所前といった段丘上の遺跡がある。殊に、下の原A（旧：下原）遺跡では該期の中心的役割を果たしたと考えられる大集落の一画が調査されている。後期中葉から晩期にかけては、茂都計川に面した中村中平遺跡で、配石址・堅穴建物址・配石墓等の遺構や土偶・土製耳飾り・石棒・石劍を含む多量の遺物が調査され、不明な点の多かった該期の様子が解明されると期待されている。また、北方北の原遺跡では、繩文時代晩期後葉の堅穴建物址1棟・土器棺墓等が調査されている。この他、酒屋前・小垣外・辻垣外・殿原遺跡で断片的な資料ではあるが、遺構・遺物が確認されている。

弥生時代においても集落立地は基本的に前時代と変わらないと考えられるが、前期・中期についてはなお不明である。後期になると、遺跡数が増加するとともに調査例も増す。これまで調査された遺跡としては酒屋前南（旧：大東）、金谷（旧：上の金谷）、酒屋前（旧：酒屋前）、酒屋前（旧：滝沢井尻）、宮ノ先、中島平、中村中平、下の原A（旧：下原）遺跡等がある。該期の集落展開としては、扇状地末端の湧水線および西方前山から東流する大小河川を利用した水田經營と高位段丘上での陸耕を基盤とするものが考えられる。殿原遺跡では散在ながらも比較的大規模な集落が営まれていたことが判明している。また、細田北遺跡では標高700mを超える高所から3軒の堅穴建物址が発見されており、人口の爆発的な増加とこうした高所にまで生産基盤を拡大するまでに至る生産力の向上を看取できる。

古墳は伊賀良地区では52基が確認されているが、現存するものは9基にすぎない。隣接する竜丘・松尾地区に比べ数も少ないが、平成26・27年度に発掘調査を実施した北方西の原遺跡では、4世紀中頃に位置づく当地方3例目の前方後方墳笛吹2号古墳と同5号古墳（円墳）、5世紀後半の同3号古墳（円墳）、同1号古墳（方墳）や周溝墓・土壙墓群、それに南信地区では初見の積石塚3基等が調査された。いずれもこれまでの当地方の古墳時代觀を覆すものである。一方、同時代の集落址の調査例は少なく、前期後半の金谷（旧：上の金谷）、後期の金谷（旧：三重渾）や中島平遺跡、後期の中村中平遺跡が調査されているのみである。遺跡数も前時代に比べると著しく減少しており、小河川や湧水・湿地を控えた集落の展開が考えられる。中村中平遺跡では、遺跡北側の台地の縁に大名塚古墳が現存し、他に消滅したものとして中村狐塚古墳・寺畠古墳・宮原2号古墳があり、これらの築造を担った集落であろう。

奈良時代については、具体的な遺構・遺物の調査例は中村中平遺跡のみであり、掘立柱建物址が単独で調査されたのみで、詳細は不明である。地区内には、古代東山道の経路および「育良駅」の推定地や、莊園を構成する村落の起源等に関連すると思われる箇所があり、重要な役割を果たした地区ということができる。

平安時代については、その末期には伊賀良庄の名が文書に登場する。10世紀末一条天皇朝には妙香院領、11世紀中頃後冷泉天皇朝以降尊勝寺領であった（下伊那誌編纂会 1961）。その中には中村・久米・川路・殿岡が含まれることが文献等により明らかにされており、当地区がその中心的な位置を占めたことが考えられる。伊賀良井はじめ、当地区における大規模な井戸開発の歴史は、この時代にはじまるともいわれている。殿原遺跡の溝址3の調査結果はこうした説をある程度裏付けるものといえる。なお、

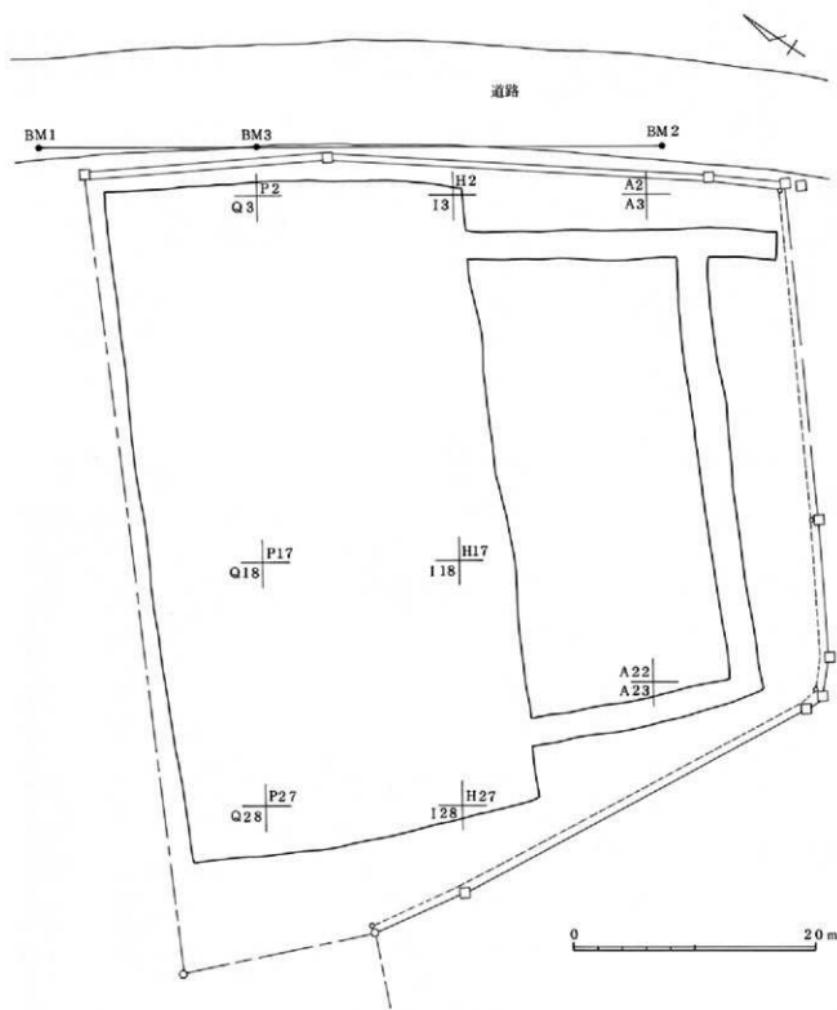


挿図2 調査遺跡および周辺遺跡位置図

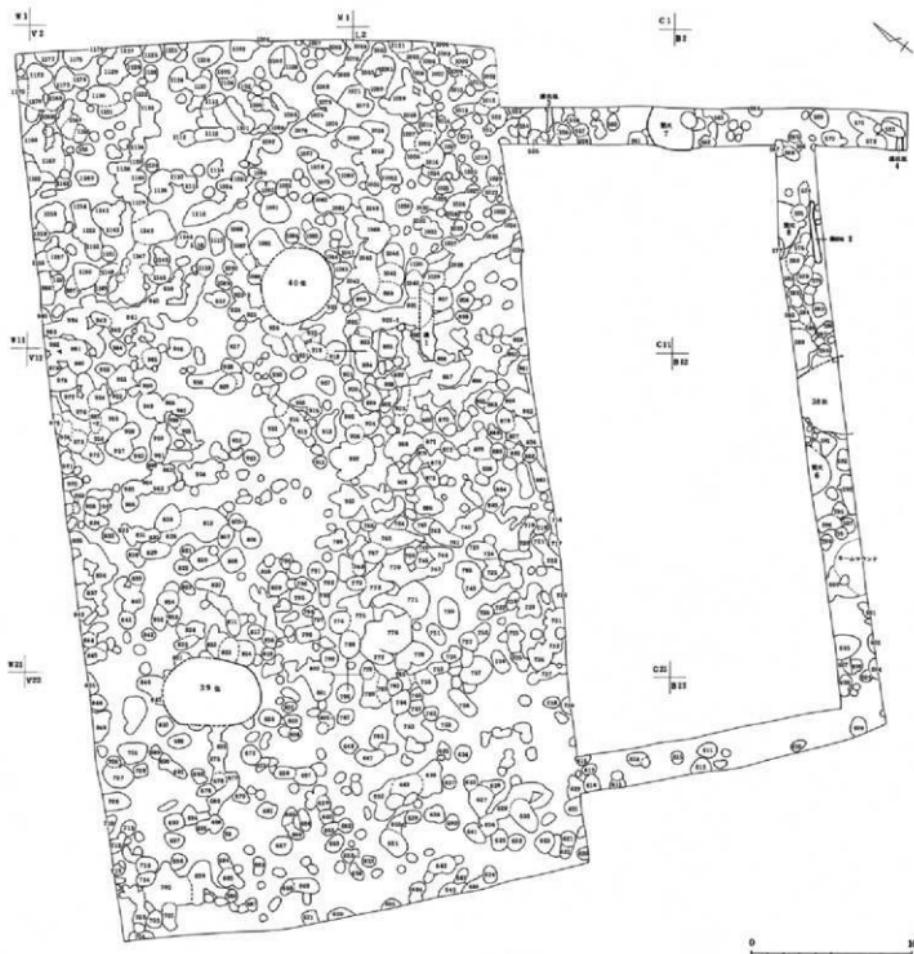
殿原遺跡では溝址3に近接して、馬の飼育に関連すると考えられる建物址・柵列が調査されている。詳細時期は不明であるが、溝址3とは重複がなく、伊賀良井・溝址3、毛賀沢川に画された部分に占地していることから、私牧に関わる遺構の可能性が指摘できる。一方、これまで実施された発掘調査の結果、大東（旧：六反田）、酒屋前（旧：滝沢井尻）、小垣外・辻垣外、金谷（旧：三壇湖・上の金谷）、宮ノ先、公文所前遺跡等地区内のほぼ全城にわたり、集落址の一部が調査されている。伊賀良庄の成立がどこまで遡るかは不明であるが、この時代の集落が前時代よりも増加することは、この地区的開発が一段と進んだ証左であろう。隣接する山本久米地区には、12世紀半ばには天台宗であった可能性が指摘され（佐藤 2013・2014）、現在は真言宗の古刹、光明寺がある。光明寺には、胎内に「保延六年」（1140年）の銘を持つ薬師如来坐像があり、また、かつては鎌倉初期に位置づけられていたもの近年12世紀代に遡ることが指摘されている阿弥陀如来坐像（国指定重要文化財）がある。また、保元元年（1156）年に光明寺の僧順西が埋納した如法経の経筒が熊野那智山で発見されている（佐藤 同前）。寺の創建はこれより遡ると考えられ、伊那谷の中ではいち早く中央の文化を取り入れた先進地域の一つであったと思われる。また、さらに、この時代には三日市場地籍に須恵器を生産した土師（かわらけ）洞窯跡があり、ここで生産された須恵器が下伊那全城に分布するなど、手工業生産の発達がみられる。

中世においては鎌倉時代には北条時政が伊賀良庄地頭であり、以後一族の江馬氏がこれを継いだ。その地頭代が地区内に居を構えたことは疑いなく、鎌倉末期には荘園を自領化していたことが三浦和田文書に窺える。

北条氏の滅亡後、信濃守護職小笠原氏は伊賀良庄を与えられ、その下で伊賀良地区的開発は急速に進んだとされる。地区内の井水の大半はこの時代の開発と考えられ、小笠原氏の勢力伸長の基盤として当地区が大きな役割を果たしたといえる。室町時代中期以降、小笠原氏内訌に伴い松尾城・鈴岡城の支城が各地に築かれ、地区内には下の城跡・桜山城跡がある。



挿図3 調査区の設定



挿図 4 遺構全体図

第Ⅲ章 調査結果

第1節 調査区の設定（挿図3）

調査区の設定は、日本測地系に基づく飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図導入前であり、任意で行った。調査区周辺に目印となる点が確認できなかったことから、市道上に設定された任意のBM1・2を結ぶ線を基線に、2m間隔で南側のBM1から北に向かいアルファベットでA・B・C…W、直交方向に西に向かい1・2・3…30に区分した。BM1・2の基線は磁北に対して西に355°偏する。1～3トレンチ検出の遺構にあっては、グリッド名が付されていないものがあり、トレンチ名のみ示したものがある。

第2節 基本層序（挿図5）

地表より漆黒土1層（層厚15～25cm）、褐色土2層（層厚15～20cm）、褐色の漸移層9層（層厚約20cm）で、地山である黄褐色のロームに至る。遺構確認面は9層上面で、遺構の遺存状況もまた比較的良好である。

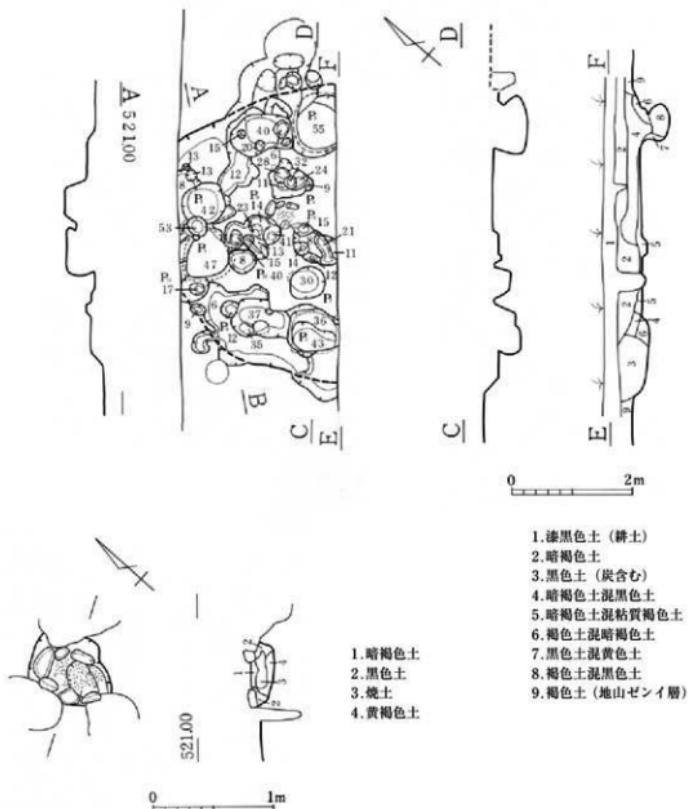
第3節 遺構と遺物（挿図4）

今次調査で確認された遺構・遺物は以下のとおりである。遺構番号については、以前に調査した隣接地で発見されたそれぞれの遺構の続番号を付した。

(1) 竪穴建物址

① 竪穴建物址38（挿図5、第1図、第15図1～5、表2）

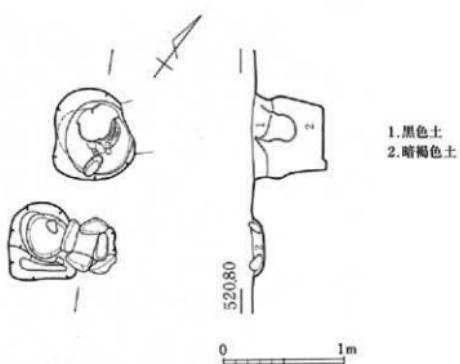
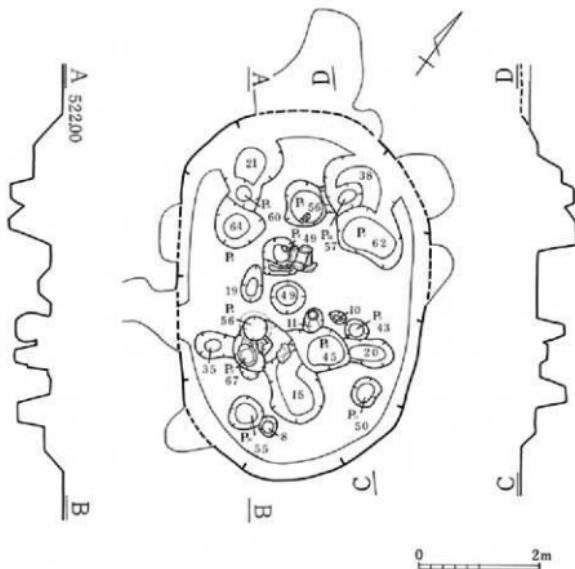
【検出位置】2トレンチ中央付近 [規模] 4.8m以上×、深さ25cm [床面積] - m² [形態] 不整円（ないし梢円）形 [主軸方向] N 7° W [重複等] 土坑590・591と近接する [調査所見] 幅2.6m程度のトレンチで把握したため、約1/2、西半を調査したにとどまる [埋土] 4層暗褐色土混黒色土「壁」緩やかに立ち上がる「床」5層暗褐色土混粘質褐色土で貼床され、P1・P5間は良好、P6～P9間の床面は極めて良好な床面が把握された [周溝] P1北東側、P3・P8間に断片的に確認され、埋土黒色土である [柱穴] 4本主柱で、主柱穴はP2・P3・P4の3本を検出したと考える。埋土はP5・P10が漆黒土、P6・P7・P8が暗褐色土、P9が黄混暗褐色土、それ以外は黒色土でP4には炭が混じる。P1・P2は袋状を呈する [炉] 中央より北壁寄りに検出し、60×45cmの不整梢円形を呈する。石圓炉で、炉石は1個を除き6個が原位置を保って遺存し、やや扁平な棒状標が並べられていた。炉内に厚い焼土が確認された [出土遺物] P4付近から床面直上で外に口縁を向けて深鉢が出土したほか、出土遺物は多い。第1図3は下伊那型櫛文土器、同5は櫛形文が付される在地系中期中葉末の細隆線文土器の他、有孔鍔付土器（同1）が出土した。同13・同17は勝坂式系。また、石器類は、打製石斧、横刃型石器、磨石、剥片類が出土した [時期] 繩文時代中期中葉末に位置づく。



挿図5 竪穴建物址 38

(2) 竪穴建物址39(挿図6、第2図～第5図、第15図6～第16図8、表2)

【検出位置】P 21・P 22・P 23・Q 21・Q 22・Q 23 【規模】(6.0) × 4.15m、深さ35cm [床面積] 約21m² [形態] 楕円形 [主軸方向] N33°W [重複等] 土坑812・813・814・846・847・851と重複する [調査所見] 主柱穴の変遷から住居の拡張が行われたと考えられる [埋土] 暗褐色土 [壁] 緩やかに立ち上がる [床] 主柱穴に開まれた中央部分にきわめて良好な硬い部分が確認された [周溝] なし [柱穴] P 2・P 3・P 6・P 12からP 6・P 11・P 12・P 13を主柱穴とする建替えと考えられる。P 1は貯蔵穴と考えられる。P 5から土器出土。P 7は埋壺が正位に据えられるが、器体はやや斜めとなっている。埋土は上部が黒色土、埋壺以下が暗褐色土である。P 8は当初の貯蔵穴と考えられる。P 9上部から出土した土器は39住Na1で取上げ。埋土は、P 2・P 6・

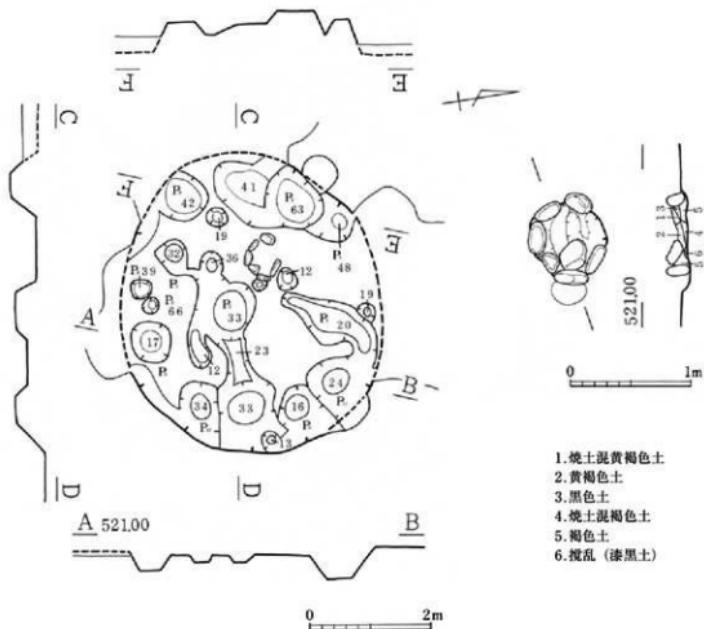


挿図 6 壺穴建物址 39

P9・P11・P13が黒色土、P3・P4は黄土混黒色土、P10が暗褐色土、P12は漆黒土である。[炉]石圓炉。45×40cm、深さ10cm程度の小規模な炉で、長さ20～25cm、幅15cm程度、厚さ10cm程度の扁平な礫が炉石に用いられる。底面は焼土や焼け縮った痕跡はない。[出土遺物]平出III Aの他、非在地系土器が出土した。第2図1は東海地方の山田平式、2は平出III Aに近い下伊那型櫛形文土器。第3図1も下伊那型櫛形文土器、同2・第4図1・同2は平出III A系土器、同3は焼町類型（新段階）かと思われる。石器類は、打製石斧、横刃型石器、石匙、粗製石匙、石錘、磨石、剥片類が出土した。[時期]縄文時代中期中葉に位置づく。

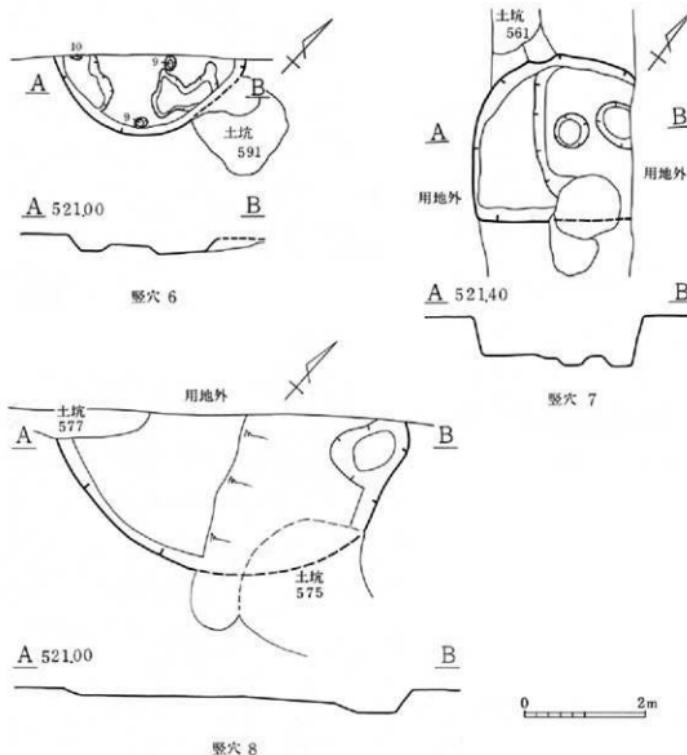
③ 竪穴建物址40（挿図7、第6図1～35、第16図9～第17図3、表2）

[検出位置] N9・N10・O9・O10を中心に検出 [規模] 5.0×4.4m、深さ15cm [床面積] 17m² [形態] 不整指円形（円形に近い） [主軸方向] N82°W [重複等] 土坑922・926・1085・1086と重複する [調査所見] 重複造構のため南東側以外の壁は把握できず [埋土] 黒色土 [壁] 南東壁は比高差8cm程度で緩やかに立ち上がる [床] ほぼ平坦であるが、硬い部分は確認できず [周溝]



挿図7 竪穴建物址40

なし。【柱穴】主柱穴はP 4・P 9・P 10・P 11の4本と考えられるが、P 9とP 10の間が空いていることから、5本柱穴の可能性もある。P 1からミニチュア土器が出土した。埋土は、P 1・P 3・P 7・P 8・P 10・P 11が黒色土、P 5が暗褐色土である。【炉】P 4・P 9間中央寄りに検出した。75×65cmの石囲い炉で、やや扁平な炉石6個が原位置を保って遺存し、1個は炉内に転落したと考えられる。焼土は少なく、ところどころにブロック状に認められるが、縮って硬いものではない。【出土遺物】横形文が付される在地系の細隆線文土器の他、非在地系土器が出土した。第6図3はミニチュア土器。同5・同23・同29は下伊那型櫛形文系、同15～19は細隆起線文、同8・同20～同24・同26・同34は勝坂式系、また石器類は、打製石斧、横刃型石器、粗製石匙、磨石、石皿、石核、剥片類が出土した。【時期】縄文時代中期中葉末に位置づく。



挿図8 壴穴6～8

(2) 竪穴

① 竪穴6（挿図8）

〔検出位置〕 2トレンチ 〔重複〕 土坑591 〔調査所見〕 トレンチ外に約1／2がかかり、西側壁際が一段くぼむ。土坑591寄りに重複遺構あり 〔規模〕 (320) ×—cm、深さ14cm 〔形態〕 不整円形を呈すると考えられる 〔長軸方向〕 不明 〔断面形〕 浅い皿状を呈すると考えられる 〔埋土の状況〕 暗褐色土 〔出土遺物〕 土器小片 〔時期〕 繩文時代中期と考えられる。

② 竪穴7（挿図8、第6図36～41、第17図4～6）

〔検出位置〕 B4・B5・C4・C5 〔重複〕 土坑561 〔調査所見〕 東側はトレンチ外にかかり、北東側が一段深くなる。平面で把握した際には単一の土坑としたが、埋土の状況から遺構の重複である可能性がある 〔規模〕 —×(260)cm、深さ17(21)cm 〔形態〕 不整円形を呈すると考えられる 〔長軸方向〕 不明 〔断面形〕 細やかに掘り込まれ、各段は平坦な面をなす 〔埋土の状況〕 褐色土（深い部分は黒色土） 〔出土遺物〕 中期中葉の在地系（平出ⅢA）および非在地系の土器他、打製石斧1、石錐1が出土した。第6図40は勝坂式系 〔時期〕 繩文時代中期中葉に比定される。

③ 竪穴8（挿図8）

〔検出位置〕 2トレンチ 〔重複〕 土坑575・577 〔調査所見〕 トレンチ外に1／2がかかる 〔規模〕 (288) ×—cm、深さ14cm 〔形態〕 不整円形を呈すると考えられる 〔長軸方向〕 不明 〔断面形〕 東半は細やかにくぼむ 〔埋土の状況〕 黒色土混黄色土 〔出土遺物〕 なし 〔時期〕 不明である。

(3) 土坑（挿図9～28、第6図42～第11図、第17図8～第20図12・14～16、表1・2）

小規模なものが多く、特記されるもののみを記す。土坑799・土坑971は円形を呈し、ほぼ直に掘り込まれる。出土遺物で他の土坑と顕著な差はないが、形態から墓壙の可能性がある。土坑695も方形を呈するが規模や形態が類似する。

出土遺物についてみると土坑562（第7図1）は猪沢式。土坑580（同3）は2条の横走する細隆線から細隆線文土器とも考えたが、口縁外縁に繩文が施される。土坑632（同8）は内面に半截竹管による平行沈線が施され、中期以外の時期が考えられる。土坑636（同9）は勝坂系かと考えられる。土坑719（同10）は勝坂系の浅鉢口縁部、土坑752（同11）は口縁部に角押文が施される浅鉢で、猪沢式と考えられる。土坑776（同12）は平出ⅢA系かと考えられ、同13は藤内式。土坑827出土の同21・22、第8図2・3は藤内式で、第8図1は有孔鍔付土器と考えられる。土坑961（同11）は頸部に押圧が施される隆帯が巡らされる平出ⅢA系、土坑1001（第9図5）は東海系の山田平式、土坑1004出土の第9図6・第10図1は猪沢式、土坑1048第10図2～4・6は細隆線文で、うち4・6・10は同一個体、同5は櫛形文。土坑1055（第10図17、図版17下）は平出ⅢA系の土器で、口縁に3単位の突起が付され、端面に押圧が施される。半截竹管文により区画された口縁部文様帶には2条の細かな波状文が描かれる。下縁を流体で区画された頸部文様帶には対向する2条の弧線文が付され、起・終点に押圧が施される。胴部文様帶に弧線文に対応した位置に逆U字状の区画文が描かれる。土坑1056（第10図20）は勝坂系、土坑1080（同26～28）は同一個体、同29は勝坂系。土坑1141からは隆線間に細

かい平行沈線が充填される船元Ⅲ式土器が出土した（第11図18・19・21～23）。土坑1177（同45）は下伊那型櫛形文土器である。

(4) 溝址・溝状址

① 溝址1（挿図17）

J 8～J 12で調査された。長軸方向はN52.5° Eを示す。土坑857・868・891・896・1039・1040と重複する。出土遺物はなく、詳細は不明である。

② 溝状址2（挿図10、第17図7）

2トレンチで調査された。長さ3.8m、幅25～45cmを測り、長軸方向はN46.5° Eを示す。形状から、弥生時代の開溝址の一部である可能性もある。縄文時代中期中葉の土器小片が出土したが、詳細は不明である。

③ 溝状址3（挿図9）

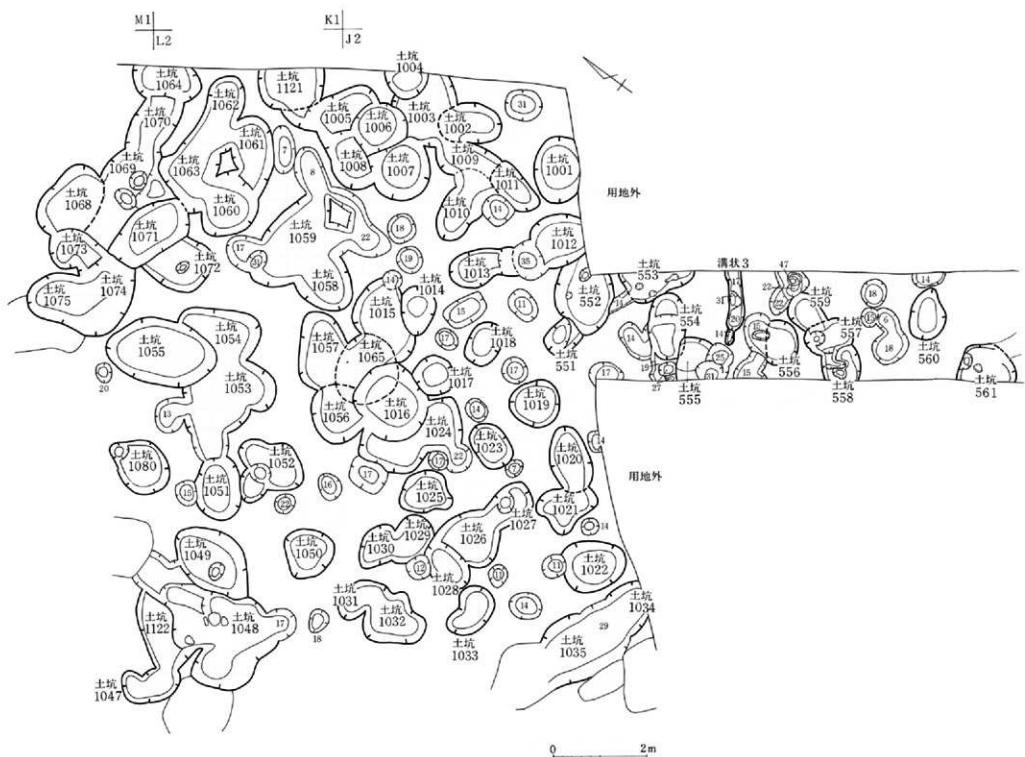
1トレンチ、土坑553～557・559付近で検出した。幅30～40cm、深さ14～31cmを測る。長軸方向はN48.5° Eを示す。出土遺物はなく、詳細は不明である。

④ 溝状址4（挿図10）

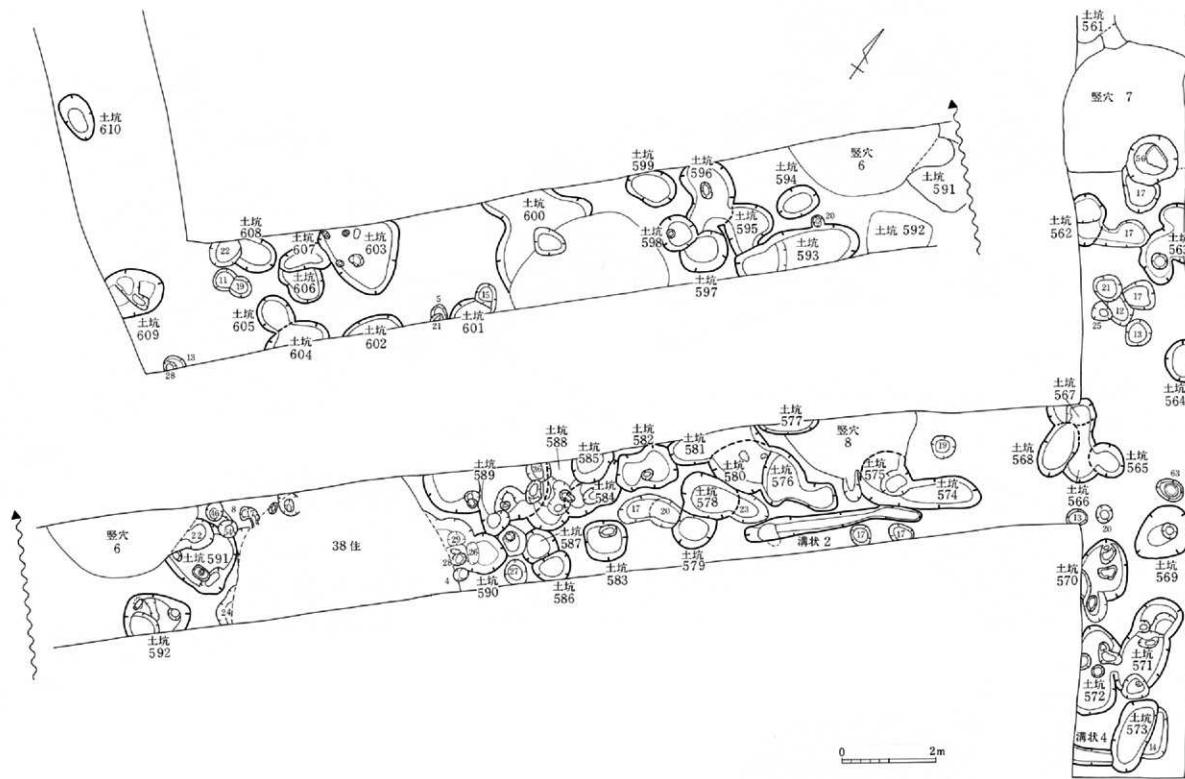
1トレンチ南東端で検出した。幅35cmを測る。長軸方向はN52.5° Eを示す。一部を検出したにとどまり、また出土遺物もないことから、詳細は不明である。

(5) 遺構外出土遺物（第12～14図、第20図13・17～第22図）

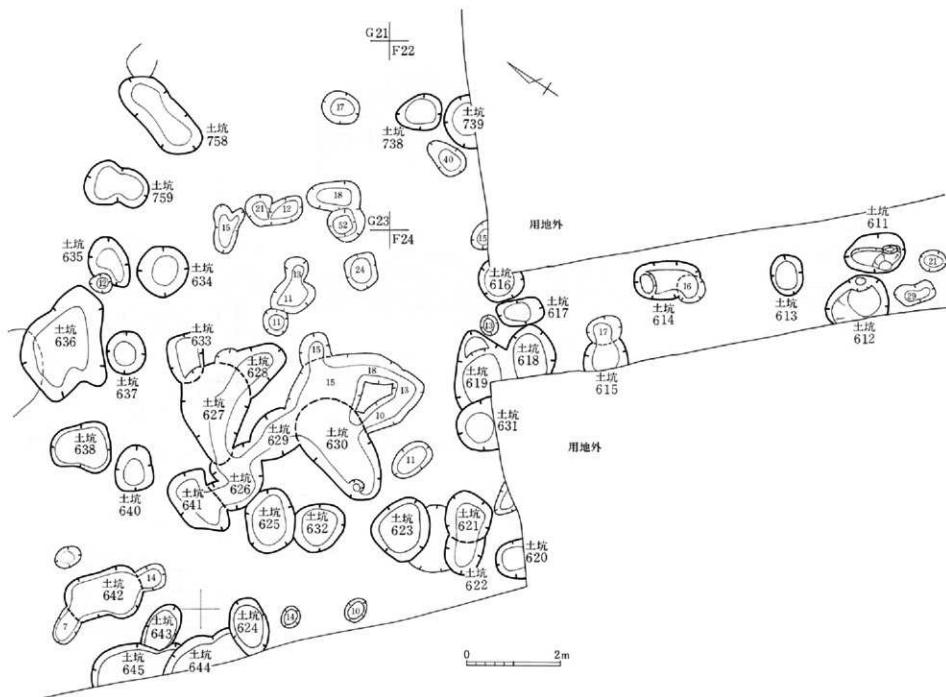
第12図1・2は平出ⅢA系で、2は胴部地文に縄文が施文される珍しい例である。同4は角押文により渦巻文が描かれる猪沢式。同5は口縁に渦巻突起が付され、口唇に刻み、口縁部文様体に連続押引文が付される。胎土に金雲母が含まれる非在地系の土器である。同6は藤内式のバネル文。同7は中葉末かと考えられる浅鉢。同9は藤内式かと考えられる。同11は東海系か。同12は口縁部に沈線文ないし縄文が施される。第13図1・第14図15・16は同一個体で、口縁部に楕円区画文、頭部にX字状に隆帯+平行沈線が施される。在地系と考えられるがあまり例をみない。第13図2は、肥厚口縁に蛇頭突起が付され、口縁外縁とその下位にR L縄文が横位施文される勝坂系土器。同3は勝坂系。同4と第14図17は同一個体で後葉の細隆線文。第13図6は平出ⅢA系。同8は井戸尻II式。同9は浅鉢。同10・24は山田平式。同11は勝坂系。同17は平出ⅢA系。同21は東海系の北裏C式もしくは山田平式。同27～31は下伊那型櫛形文土器で、27・31は同一個体。同33は細隆線文。同34～44は平出ⅢA系で、口縁が内湾すると考えられる41は類例がない。第14図2は井戸尻式、同3は器台。同4は勝坂系、同5は竹管による平行沈線と連続押引文に刺突文が充填される勝坂系土器。同6・9は勝坂系、同7は楕円区画文に角押文が施される猪沢式、同10は渦文の周間に竹管の連続押引文が付される藤内式。同11は楕円区画文に押引沈線が施される猪沢式。同12は隆帯に押引沈線が付される勝坂系土器。同13は連続爪形文が付される勝坂系土器。同14は藤内式。同18・21は勝坂系。同24は平出ⅢA系。同26・27は藤内式のバネル文。同30～35は中葉末の細隆線文。同36は沈線区画に結節縄文が施される中期終末の土器。同37・38は土製円盤である。



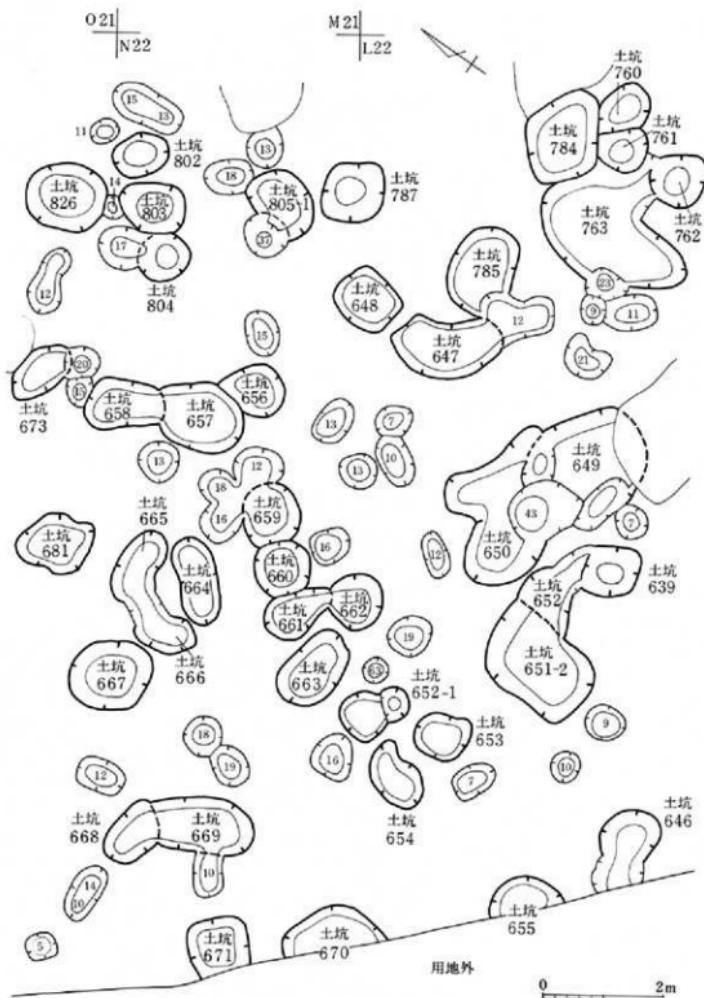
挿図9 土坑平面図(1)



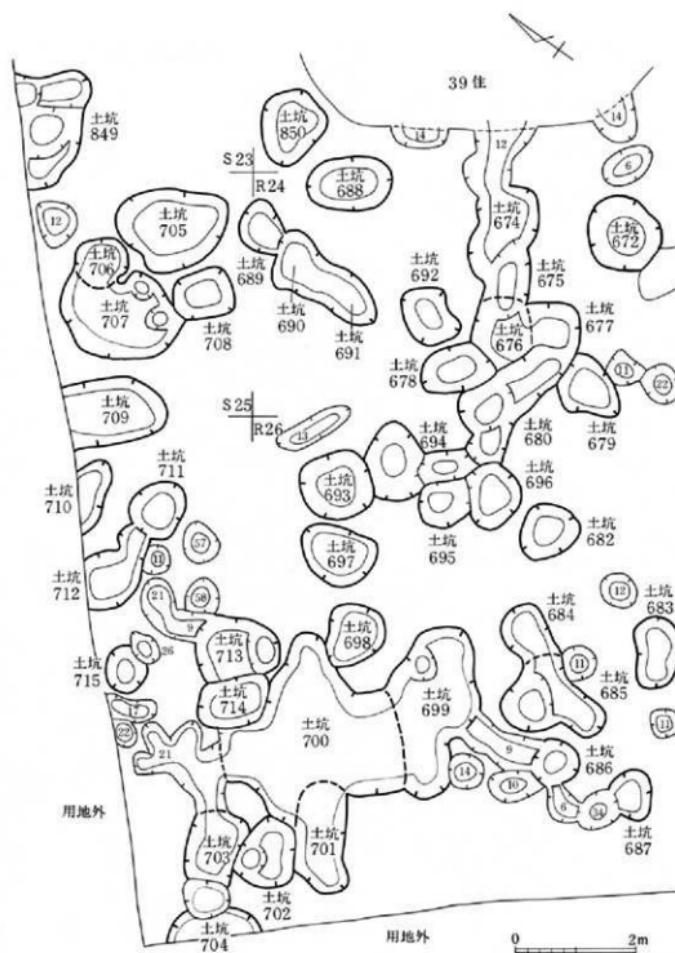
挿図 10 土坑平面図 (2)



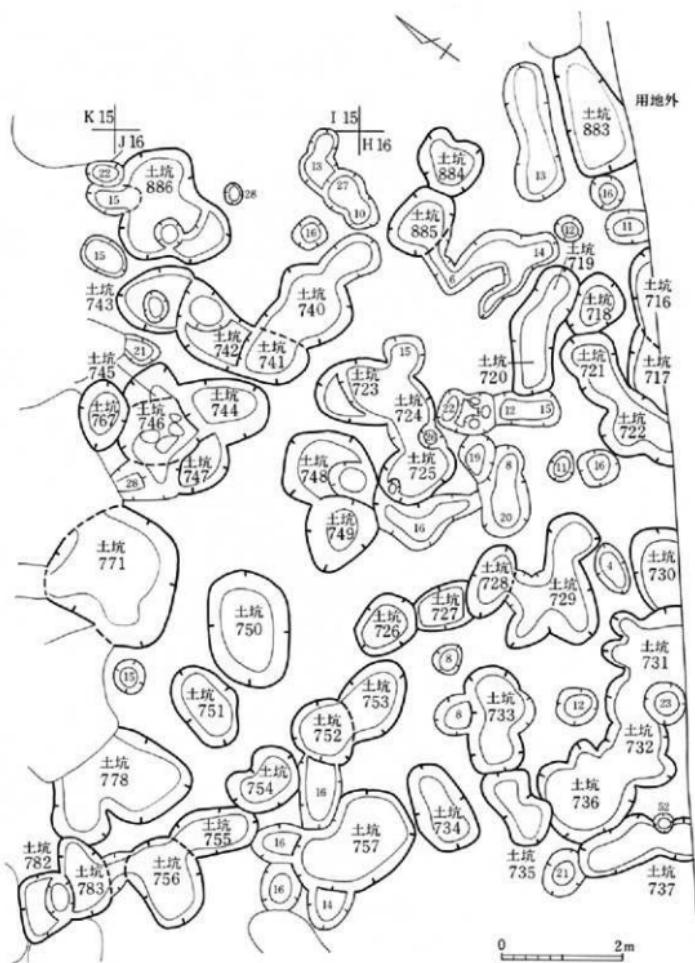
挿図 11 土坑平面図 (3)



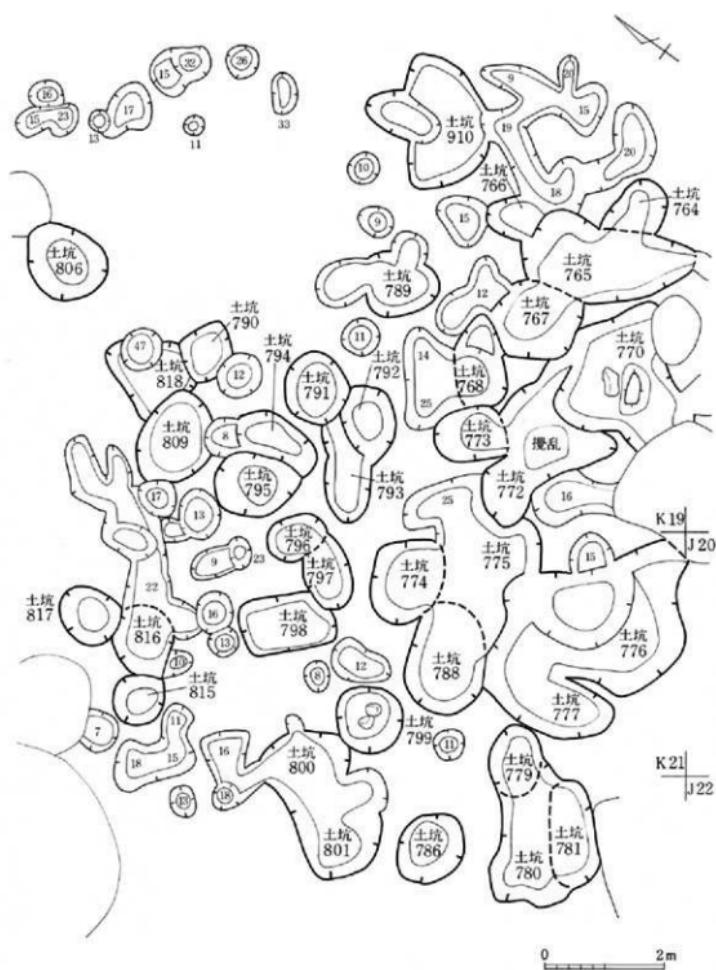
挿図 12 土坑平面図 (4)



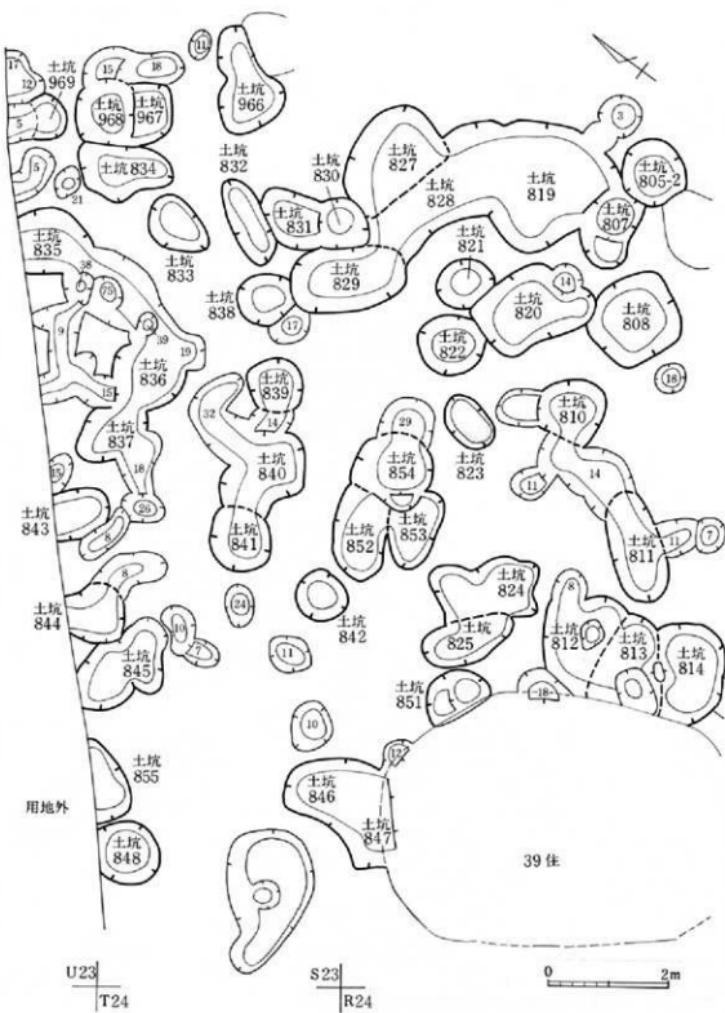
挿図 13 土坑平面図 (5)



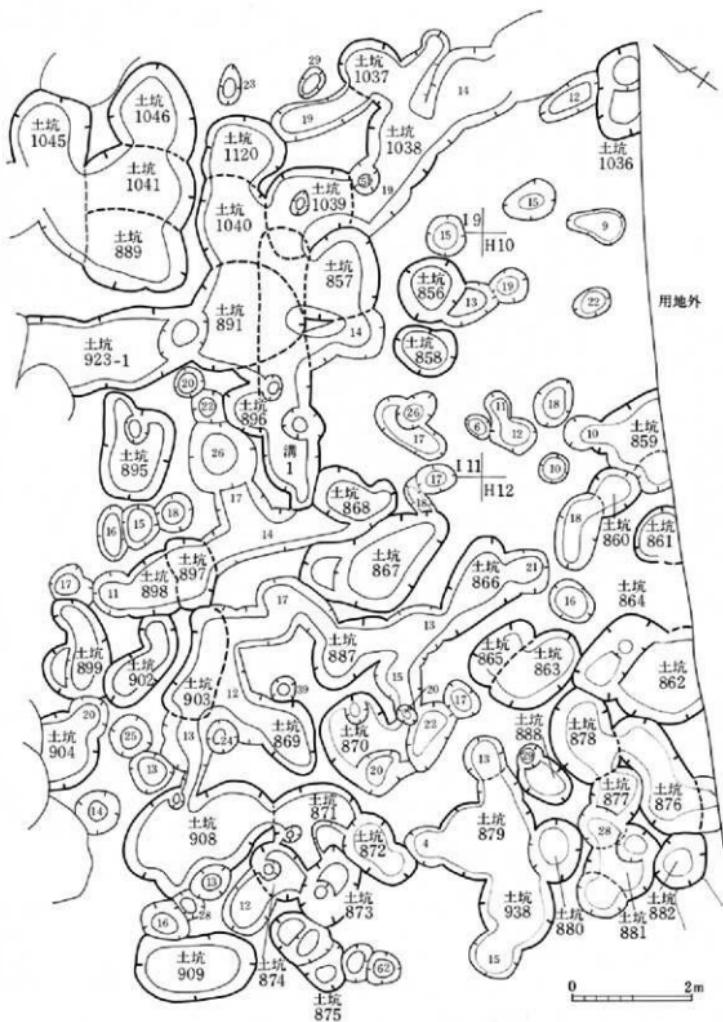
挿図 14 土坑平面図 (6)



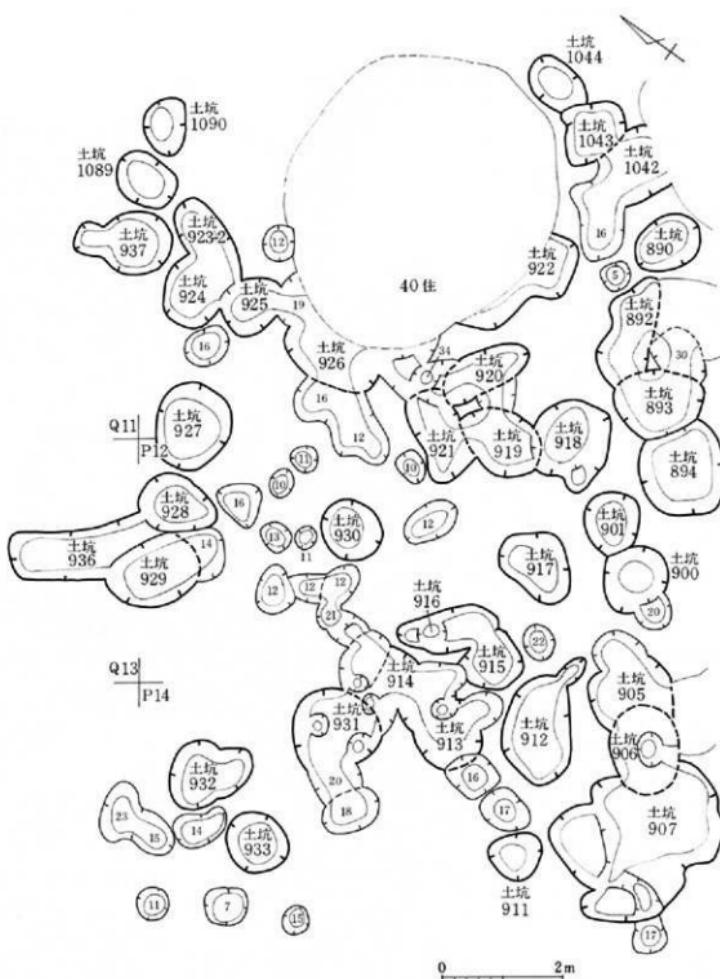
挿図 15 土坑平面図 (7)



挿図 16 土坑平面図 (8)



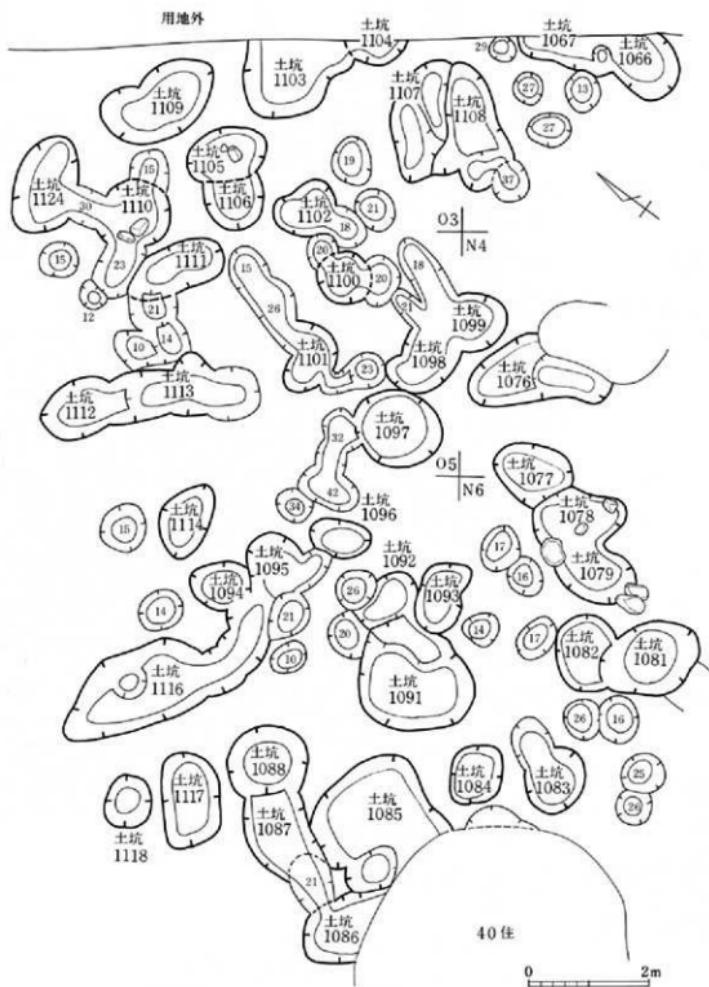
挿図 17 土坑平面図 (9)



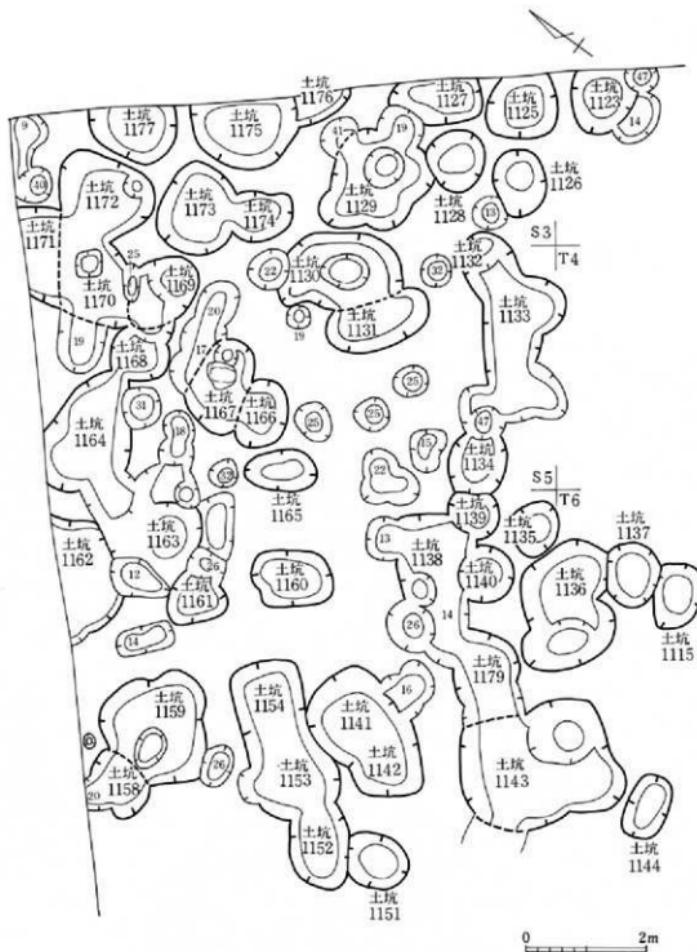
挿図 18 土坑平面図 (10)



挿図 19 土坑平面図 (11)



挿図 20 土坑平面図 (12)



挿図21 土坑平面図(13)

石器については、図版に掲載した石器の概要を表2にまとめた。

なお、遺構・遺構外全体で石器を石材別にみると、総点数674点中硬砂岩314点（46.6%）緑色岩191点（28.3%）、黒曜石76点（11.3%）となっており、他にチャート4点・下呂石18点・頁岩1点・安山岩3点・花崗岩14点・粘板岩1点・水晶1点・その他となっている。器種別にみると、打製石斧は硬砂岩48点（47.1%）・緑色岩51点（50.0%）と拮抗する一方、横刃型石器では硬砂岩108点（72.5%）・緑色岩35点（23.5%）と硬砂岩が卓越する。調査地点からは硬砂岩・緑色岩の石核は出土していないことから、横刃型石器の素材を天竜川で粗削して獲得し、遺跡内に持ち込まれたと考えられる。

石核・剥片類（微細剥離をもつものを含む）や、細石器、弥生時代の石器類を除くトゥール類334点の器種別組成をみると、横刃型石器149点（44.6%）、打製石斧102点（30.5%）、石鍤21点（6.3%）、磨石類10点（3.0%）、磨製石斧・粗製石匙・敲打器各8点（2.4%）、石皿6点（1.8%）、石鏃5点（1.5%）、ビエス・エスキュユ4点（1.2%）、石錐・石匙各3点（0.9%）、搔器2点、削器1点等となっている。粗製石匙が一定数あることは注目される。

第IV章 総 括

以上のとおり、調査の結果、堅穴建物址3棟、堅穴3基、土坑622基、溝址1条、溝状址3条、それに小柱穴等が調査された。調査遺構のうち溝状址と小穴の一部が時期不明となる他は、大半が縄文時代中期中葉から中葉末に位置づくものである。

今次調査地点北側での、昭和62年に株式会社平和時計製作所の新工場移転建設に伴い実施した調査（挿図2、No.3地点）結果や、その北西側で平成3年に同社の工場増設に先立ち実施した発掘調査（未報告）と比べると、堅穴建物址の数は前者の11軒・後者の23軒に比し少なく、それぞれの建物址同士の間隔も離れている。一方、土坑の数は激増している。

昭和62年の調査時において、集落存続期間は中期中葉に始まり中期終末期に至っていたことが指摘され、このうち中期中葉の集落は、No.3地点の東方段丘最先端部一帯との推定がなされたところである。そして、中期後葉から終末期の中心部は、No.3地点を含む工場用地とその北側に緩く傾斜する一帯で、当地方屈指の大集落を成していた可能性が指摘されている（飯田市教委 1989）。中期後葉から終末にかけての集落に関しては、上記No.3地点北西隣接地の工場増設地点における調査である程度これを裏付ける調査結果が得られている。

一方、東方段丘最先端部一帯に分布するとの推定がなされた中期中葉の集落はどうであろうか。今次調査の遺構・遺物の主体が当該期であることは上記予察を大きく修正する必要はないと考えられる。しかし、当該調査地西側のトラックターミナル建設に先立つ発掘調査（同、No.2地点）においては、縄文時代中期中葉から終末にかけての断片的な遺構・遺物の状況から、該期集落について周縁的な状況が把握されている（同 2021）。また、No.2地点南側の諸開発において、当該期の遺構・遺物は確認されておらず、密集する土坑群を別にすれば、堅穴建物址の疎らな分布状況からも大規模な集落の存在は想定しがたい状況である。

多数把握された土坑群については、居住域外側の土地利用を含めた集落構造の全容を把握する上で、これらの位置づけが重要といえる。あるいは複数の土坑が重複し、切り合うものも多く、調査部分に連続的に広がっている。ほとんどの土坑の性格は不明と言わざるを得ないが、ほぼ完形の土器を数個体伴うものもあり、これらは墓としての様相が強いともいえ、土壙墓と考えられるものがある。松尾地区的城陸遺跡（同 2003）では、呪術的色彩が強い土偶、個人的装備とみられる石匙、意図的に破碎された土器が伴う土坑等、土壙墓群が調査されている。中期初頭の遺構群が調査された伊賀良地区の宮の平遺跡（同 1996）は、堅穴建物が削平され住居内施設が把握された可能性も指摘されているものの、形態や出土遺物から墓域の一画が調査された可能性が高い。これら2遺跡で把握された墓域の様相に比し、今次調査で把握された土坑群は、土壙墓が一部あるにしても規模・形態がまちまちであり、集落構造を異にする可能性が高い。

今のところこの地区において縄文時代中期中葉から後半の集落の一部を検出したに過ぎず、具体的な全容を論することは困難といえるが、周辺で実施された調査等を総合的に研究することによって、本遺跡の内容が明らかにされ、かつ当地方における当該時期を代表する集落の姿を明らかにできるといえる。

今次調査で主体として出土した中期中葉から中葉末にかけての遺物は、城陸遺跡で指摘されているところ、松本平から天竜川流域の伊那谷を中心に分布する平出ⅢA式土器と飯伊地方を中心に分布する下伊那型櫛形文土器からなる在地系、八ヶ岳西南麓から西関東に多く分布する猪沢式～井戸尻式（勝坂系土器）の中部高地・関東系、北裏C式・山田平式等東海系、関西地方から中国地方に分布する船元式の関西系等である。他地域との交流の実態については、調査担当者の力量不足もあってなお明らかではない。今後、No.3 地点北西側の調査結果を吟味する際、改めて検討していく必要がある。

この間に調査の主担当の退職があったとはいえ、本発掘調査報告書の刊行までに相当の期間を要したことにより、多くの皆様に多大なご不便・ご迷惑をおかけしたことを見し、結びとします。

引用参考文献

- 飯田市教育委員会 1989 「下原遺跡」
飯田市教育委員会 1996 「富の平遺跡」
飯田市教育委員会 2003 「城陸遺跡」
飯田市教育委員会 2021 「下の原A遺跡」
佐藤全敏 2013・2014 「信濃国伊賀良莊光明寺と二つの経筒（上・下）」『信濃』65-12, 66-2
下伊那誌編纂会 1961 『下伊那史』第4卷

表1 土坑観察表

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
551	1トレ H4+H5	—×64	34	—	黒色土	なし	不明	F552と重複
552	1トレ H4+H5	—×128	20(30)	—	漆黒土	平出IIIa、勝坂系? 横刃型石器	中期中葉	F551・1012と重複 漆黒土片上がり
553	1トレ G4+H4	—×—	19(23)	—	漆黒土	平出IIIa、非在地系	中期中葉	F554他と重複
554	1トレ G4+G5	140×80	13・25	横円形	黒色土	在地系 石鏡	中期中葉?	F553・555他と重複
555	1トレ G5	—×—	19	—	黒色土	打製石斧	不明	F554他と重複
556	1トレ F4+P5	92×68	29	(横円形)	漆黒土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり
557	1トレ E4-E5+P4-F5	104×—	20(23)	(横円形)	漆黒土	なし	不明	F558・559と重複
558	1トレ E5	—×64	7(21)	—	黒色土	非在地系? 打製石斧	中期中葉?	F557と重複
559	1トレ F4	—×64	21	—	漆黒土	なし	不明	F557他と重複
560	D4-D5+E4-E5	112×76	20	横円形	黒色土	なし	不明	
561	1トレ C5-D5	120×—	17(26)	—	黒色土	剥片	不明	重複遺構あり
562	1トレ A5-B5	112×—	12・19	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
563	1トレ A4-B4	—×—	16(24)	—	黒色土	剥片	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
564	1トレ	92×—	20	—	黒色土	横刃型石器	不明	
565	1トレ	(80)×68	17	(横円形)	漆黒土	なし	不明	F566と重複
566	2トレ	—×—	18	—	漆黒土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複か 重複遺構あり F565・567・568と重複
567	2トレ	98×—	22	—	漆黒土	非在地系	中期中葉?	F566・568と重複
568	2トレ	(124)×72	20	(横円形)	漆黒土	なし	不明	F566・567と重複
569	1トレ	132×104	35(58)	横円形	暗褐色土	なし	不明	
570	1トレ	132×—	18(29)	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
571	1トレ	220×104	17	瓢箪形	黄土混 黒色土	非在地系 剥片	中期中葉	F572と重複
572	1トレ	188×—	18	—	黒色土	剥片	不明	複数遺構の重複か F571と重複
573	1トレ	144×76	20	横円形	黒色土	なし	不明	準状4他と重複
574	2トレ	—×58	19	(横円形)	暗褐色土	土器小片	中期?	F575と重複 剥片上がり
575	2トレ	120×—	21(25)	(内部)	黒色土	土器小片	中期?	壁穴8-F574と重複
576	2トレ	178×120	28	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	F580と重複 底面片上がり
577	2トレ	—×—	11	—	暗褐色土	なし	不明	壁穴8と重複
578	2トレ	(128)×92	25	横円形	黒色土	なし	不明	F579・580と重複
579	2トレ	80×76	22	不整円形	暗褐色土	細縦線文	中期中葉末 ～後葉	F578他と重複
580	2トレ	—×(116)	22	—	黒色土	細縦線文、藤内式? 打製石斧・横刃型石器・敲打器	中期中葉末～後葉	F576・578・581と重複
581	2トレ	182×—	23	—	暗褐色土	土器小片	中期	F580・582と重複
582	2トレ	132×92	19	瓢箪形	黒土混 暗褐色土	なし	不明	F581・584と重複
583	2トレ	92×88	18(32)	方形	漆黒土	剥片	不明	
584	2トレ	152×—	15(47)	—	黒色土	なし	不明	F582・585・588と重複
585	2トレ	92×—	25	—	暗褐色土	剥片	不明	F584と重複
586	2トレ	80×—	19	—	暗褐色土	なし	不明	F587と重複
587	2トレ	76×84	25	円形	—	なし	不明	F586・588他と重複
588	2トレ	—×—	—	—	黄土混 褐色土	なし	不明	F584・585・587・589と重複
589	2トレ	(260)×—	—	—	黒色土	平出IIIa、井戸戻式? 勝坂系 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複か F588と重複
590	2トレ	88×—	19	—	暗褐色土	土器小片 剥片	不明	F589他と重複
591	2トレ	—×136	15(21)	—	黒土混 黒色土	块状打製石包丁	弥生後期	壁穴8と重複
592	2トレ	136×—	23(34)	—	黒色土	なし	不明	
593	2トレ	264×—	19(31)	—	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か F595と重複

Site	検出位置	平面基盤(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
594	2トレ	88×64	22	横円形	黒色土	土器小片	中期?	
595	2トレ	—×100	21	—	黒色土	なし	不明	F593・595と重複
596	2トレ	—×104	20(26)	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F595・597・598と重複
597	2トレ	100×84	22	横円形	褐色土	なし	不明	F595・597と重複
598	2トレ	80×78	34(42)	円形	黒色土	なし	不明	F596・597と重複
599	2トレ	108×72	15	(横円形)	黒色土	なし	不明	
600	2トレ	—×240	12	—	黒色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か 重複遺構あり
601	2トレ	—×—	10	—	褐色土	なし	不明	重複遺構あり
602	2トレ	—×—	25	—	黒色土	土器小片	中期?	
603	2トレ	—×176	12	横円形	黄土層 黒色土	なし	不明	F607と重複 底盤片上がり
604	2トレ	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	F605と重複
605	2トレ	—×72	13	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F604と重複
606	2トレ	—×88	15	—	黄土層 暗褐色土	在地系?、非在地系?	中期中葉?	F607と重複
607	2トレ	108×52	26	横円形	暗褐色土	なし	不明	F603・606と重複
608	2トレ	—×76	27	—	暗褐色土	土器小片 削片	中期	重複遺構あり
609	3トレ	—×100	38	(横円形)	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か
610	3トレ	100×64	25	横円形	黒色土	なし	不明	
611	3トレ A24・B24	132×84	32(39)	横円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
612	3トレ A24・B24	140×—	18(24)	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
613	3トレ E24	84×88	20	横円形	褐色土	なし	不明	
614	3トレ C24・D24	140×80	22(26)	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 重複遺構あり
615	3トレ D25	96×—	18	—	褐色土	なし	不明	重複遺構あり
616	3トレ E24	92×92	22	(円形)	黒色土	なし	不明	底盤片上がり
617	3トレ E24	96×58	21	横円形	暗褐色土	なし	不明	底盤片上がり
618	3トレ E25	—×—	22	(横円形)	漆墨土	土器小片	中期?	F619と重複
619	3トレ E25	—×—	15・21	(横円形)	漆墨土	なし	不明	複数遺構の重複か F618・631と重複
620	E27	—×80	19	—	暗褐色土	横刃型石器・磨石	不明	
621	E28-E27-F26-F27	(108)×100	15	(円形)	黒色土	なし	不明	F622と重複
622	F27	—×80	14	—	暗褐色土	なし	不明	F621他と重複
623	F26-F27-G26-G27	128×116	25	円形	黒色土	非在地系?	中期中葉?	重複遺構あり
624	H27-H28	—×80	53	(横円形)	黄土層 漆墨土	なし	不明	F644と重複
625	H26-H27	136×104	27	横円形	黒色土	石塵	不明	F626・632と重複
626	H26-H27-I26-I27	140×120	16	(不整接円形)	暗褐色土	なし	不明	F625・627・629・641と重複
627	H25-H26-I25-I26	(216)×144	39	(横円形)	漆墨土	土器小片	中期	F626・628・633と重複
628	H25	—×100	29	—	暗褐色土	なし	不明	F627他と重複
629	H25-H26	—×92	23	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F626・630他と重複
630	G25・G26	(240)×120	19(40)	(横円形)	黒色土	なし	不明	F629他と重複
631	E25-E26-F25-F26	—×108	20	—	褐色土層 黒色土	なし	不明	F631と重複
632	G27	120×100	26	横円形	漆墨土	土器小片、陶器	後期後葉?	F625と重複
633	I25	(100)×80	19	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F627と重複
634	I24-J24	108×108	20	円形	黒色土	なし	不明	
635	I24-J24	116×84	14	横円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
636	J24-J25	220×192	40	不整接円形	粘土	漆板系 剥片	中期中葉?	複数遺構の重複か 底盤片上がり
637	I25	88×84	17	円形	暗褐色土	なし	不明	

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
638	J26	120×108	12	不整横円形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複か
639	J26・K26	88×84	23	方形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
640	I26	96×84	19	横円形	黒色土	なし	不明	
641	H26-H27-I26-J27	148×88	21	(横円形)	暗褐色土	豊台、非在地系	中期中葉	F626と重複 底面片上がり
642	I27-J28-J27-J28	160×108	14	(不整長方形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 重複遺構あり
643	I28	—×88		—	黒色土	なし	不明	F643と重複
644	H22-I28	—×—		—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 F624-643と重複
645	I28-J28	—×—		—	暗褐色土	なし	不明	F643-644と重複
646	J28	—×100	21	(円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
647	K24-L24	184×88	14	不整横円形	黒色土	なし	不明	F785と重複 重複遺構あり
648	L23-L24-M23-M24	104×86	24	長方形	暗黒土	なし	不明	
649	J25-K25	(208)×160	16	(横円形)	黒色土	非在地系? 打製石片	中期中葉?	F650と重複 重複遺構あり
650	K25-L25	200×—	28	不整形	暗褐色土	なし	不明	F646と重複 複数遺構の重複か
651	K26-K27	182×120	30	長方形	黒色土	土器小片	中期	F652と重複
652	K26-K27	116×80	12(20)	脇軍形	暗褐色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複
653	L27	100×—	21	—	暗褐色土	非在地系?	中期中葉?	F651他と重複
654	L27-L28	88×76	6	方形	暗褐色土	なし	不明	
655	K28-K29	128×—	13	—	暗黒土	なし	不明	
656	M24-M25-N24-N25	104×84	7	横円形	黒色土	土器小片	不明	F657と重複
657	N24-N25	—×116	22	(横円形)	暗褐色土	土器小片	不明	F656-659と重複
658	N24-N25-O24-O25	(128)×84	13	(横円形)	黒色土	非在地系?	中期中葉?	F657他と重複
659	M25-M26	(100)×96	21	(円形)	暗褐色土 黒色土	なし	不明	F660他と重複
660	M26	100×100	18	円形	黒色土	なし	不明	F659-661と重複
661	M26	120×76	15	不整横円形	黒色土	なし	不明	F660-662と重複
662	L26-M26	92×92	20	円形	暗褐色土	なし	不明	F661と重複
663	M26-M27	140×88	19	長方形	黒色土	なし	不明	
664	N26	148×68	17	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底面片上がり
665	N26	—×72	16	(不整横円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
666	N26-N27	—×64	14	(不整横円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
667	N27-O27	140×116	20	横円形	暗黒土	在地系、非在地系	中期中葉	
668	N28-O28	(112)×72	13	(長方形)	黒色土	なし	不明	F669と重複
669	M26-N26	—×92	8	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F666他と重複
670	L29-M29	—×172	12	—	黒色土	なし	不明	
671	M29-N29	—×100	19	(方形)	暗黒土	なし	不明	
672	O24-P24	132×120	35	円形	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
673	O24	120×80	12	横円形	黒色土	土器小片	不明	重複遺構あり
674	P24-Q24	—×120	12	(横円形)	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F675他と重複
675	P24-Q24	—×75	44	(横円形)	暗褐色土	在地系	中期中葉	F674-679と重複
676	P25-Q25	(112)×96(?)	17	(方形)	黒色土	なし	不明	F677-678-680と重複
677	P25	—×—	13	—	黒色土	なし	不明	F676-679-690と重複
678	Q25	120×80	18	横円形	黒色土	なし	不明	F676-690と重複
679	P25	112×92	13	不整横円形	黒色土	なし	不明	F677-680他と重複
680	P25-P26-Q25-Q26	—×100	12(61)	不整形	暗褐色土 黒色土	土器小片	不明	F676-679-690-694-695と重複

SHL	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
681	Q26	132×104	10	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	
682	P26-P27	100×88	12	不整円形	漆黒土	土器小片	中期?	
683	O27-Q28	116×72	16	横円形	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底形片上り
684	P27	—×76	7	—	暗褐色土	なし	不明	F684地と重複
685	P28	160×120	9(29)	不整形	墨色土	なし	不明	F684地と重複
686	P28-P29	76×76	41	円形	漆黒土	なし	不明	重複遺構あり
687	Q26-Q24-P25-P29	80×80	15	円形	漆黒土	なし	不明	重複遺構あり
688	Q23-Q24-P23-R24	140×88	14	横円形	暗褐色土	なし	不明	
689	P24-S24	—×80	14	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F690地と重複
690	R24	—×100	17	—	墨色土	なし	不明	F689-691と重複
691	R24-R25	—×72	14	—	墨色土	なし	不明	F690地と重複
692	Q24-Q25	96×80	43	長方形	墨色土	なし	不明	
693	R26	116×106	33	円形	墨色土	なし	不明	F694地と重複
694	Q26-P26	—×128	19-40	不整形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F680-683-695-696と重複
695	Q26	84×76	58	方形	墨色土	なし	不明	F694-696と重複
696	P26-Q26	112×88	26	不整円形	墨色土	なし	不明	F680-684-695と重複
697	R26-R27	126×86	15	不整横円形	褐色土	なし	不明	
698	R27	112×100	15	不整円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F700地と重複
699	Q27-Q28-Q29	276×—	22(34)	不整形	墨土層 剥片	—	不明	複数遺構の重複 F700地と重複
700	Q28-Q29-R28 -R29-S28-S29	156×—	28	不整形	褐土層 墨色土	非在地系 磨石	中期中葉	複数遺構の重複 F698-699-701-701-714 地と重複
701	R28-S29	(184)×80	18	(不整長方形)	墨色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複か F700-702と重複
702	R29-S29	116×100	14(34)	不整円形	墨色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 F700-701-703と重複
703	S29	—×88	22	長方形	墨色土	なし	不明	F702地と重複
704	S30	156×—	11	(円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり 底形片上り
705	S24-T24	188×140	27	不整横円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か 底形片上り
706	T24	88×(80)	7	(円形)	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 F700-701-703と重複
707	S24-S25-T24-T25	176×140	14	不整横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F706-705と重複
708	S24-S25	100×80	12	長方形	墨色土	なし	不明	F707地と重複
709	S25-S26-T25-T26	—×108	17	(横円形)	褐褐色 墨色土	土器小片	不明	
710	T26	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	
711	S26	96×88	15	円形	墨褐色土	なし	不明	F712地と重複
712	S27-T27	—×96	26	不整圓卓形	墨色土	なし	不明	F711地と重複
713	R27-R28-S27-S28	140×108	18(35)	不整横円形	褐土層 墨色土	なし	不明	F714地と重複
714	R28-S28	112×80	22	長方形	墨色土	なし	不明	F700-713と重複
715	S27-S28-T27-T28	80×68	31	円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
716	F16-F17	—×—	12	—	暗褐色土	なし	不明	F717地と重複
717	F17-F18	—×—	10	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F716-721-722と重複
718	F17-Q17	104×80	15	横円形	暗褐色土	なし	不明	F719-721と重複
719	G17	—×72	30	—	暗褐色土	磨擦系	中期中葉	F718-720と重複
720	G17-G18	—×68	10	—	暗褐色土	なし	不明	F719地と重複
721	F17-F18-G17-G18	—×92	16	—	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 F717-718-722と重複
722	F18	—×100	17	—	墨色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複 F717-721と重複
723	H17-H18-I17-I18	—×112	12-28	—	漆黒土	なし	不明	F724地と重複

SK#	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
724	H17-H18	—×—	28	—	漆墨土	なし	不明	F723他と重複
725	H18	132×92	11(24)	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
726	H19-H20	108×88	19	横円形	褐土混 暗褐色土	なし	不明	F727と重複
727	H19-H20	—×76	14	横円形	褐色土	なし	不明	F726・729と重複
728	G19-H19	128×66	16	横円形	褐色土	なし	不明	F727他と重複
729	G19-G20	248×128	22	不整形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 底部片上がり
730	F19	—×—	7	—	褐色土	なし	不明	F731と重複
731	F19-F20	—×—	17	—	黒土混 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F730・732他と重複
732	F20-F21	—×132	18	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 F731・735他と重複
733	G20-G21-H20-H21	176×88	12	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 G20・H20と重複
734	H21	156×82	28	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 H20と重複
735	G21	140×80	20	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F733・734と重複
736	F21-G21	160×160	14	(方形容)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F732・733と重複
737	F21-F22-G21-G22	—×80	14	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 F736他と重複
738	F22	100×76	16	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F737他と重複
739	F22-F23	116×—	41	—	漆墨土	なし	不明	複数遺構の重複 F738と重複
740	I17	—×136	22	—	漆墨土混 褐色土	在地系?、非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複 F741他と重複
741	I17	112×(80)	19	(横円形)	黑色土	在地系?、非在地系?	中期	F740・742と重複
742	J17	—×100	—(27)	—	黑色土	縦隔縫文	中期中葉末	複数遺構の重複 F741・743と重複
743	J17	—×108	—(22)	—	褐土混	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F742と重複
744	I18-J18	140×104	26	横円形	暗褐色土	なし	不明	F745～747と重複
745	J17-J18	—×—	29	—	漆墨土	なし	不明	F744・746・769と重複
746	J18	—×—	29	—	黑色土	なし	不明	F744・745・747・769他と重複。 擦が入る
747	J18	—×—	15	—	暗褐色土	なし	不明	F746と重複
748	H18-I18	152×120	8(17)	不整方形	黑色土	なし	不明	複数遺構の重複 F749と重複
749	H19-I19	128×120	27	不整円形	黑色土	なし	不明	F748と重複
750	I18-I20-J19-J20	192×136	46	長方形	黑色土	土器小片	中期?	底膨部上がり
751	J20-J21	144×92	18	横円形	褐土混	なし	不明	複数遺構の重複 F753他と重複
752	I20-I21	112×(100)	37	(不整円形)	漆墨土	なし	不明	F753他と重複
753	H20-I20	—×108	37	—	暗褐色土	なし	不明	F752と重複
754	I21-J21	120×96	21	不整横円形	褐土混 黑色土	非在地系?	中期中葉?	F755他と重複
755	I21-J21	144×76	13	(横円形)	暗褐色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F754・756他と重複
756	J21-J22	148×108	15	長方形	暗褐色土	在地系?	中期中葉?	F755他と重複
757	H21-H22-I21-I22	208×140	30	横円形	漆墨土	土器小片	中期?	複数遺構の重複か 底膨部上がり
758	I22-I23	208×92	13	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
759	I23-J23	136×92	23	瓢箪形	黑色土	なし	不明	複数遺構の重複 底膨部上がり
760	J22-K22	88×76	15	不整横円形	暗褐色土	なし	不明	F761・784と重複
761	J22-J23-K22-K23	80×72	19	不整横円形	黑色土	なし	不明	F760・763・784他と重複
762	J23	88×58	32	円形	暗褐色土	在地系	中期中葉?	重複遺構あり
763	J22-J24-K23	268×132	19	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F761・784他と重複
764	K17	—×92	30	—	暗褐色土	なし	不明	F765と重複
765	K17-K18-L17	(284)×124	39	不整横円形	黑色土	土器小片	中期?	F764・766・767他と重複
766	L17	—×72	26	—	暗褐色土	平出ⅢA?	中期中葉?	F765他と重複
767	K18-L17-L18	136×(124)	33	不整方形	漆墨土	非在地系?	中期中葉?	F765・768・770他と重複

SI.No.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
788	L18	162×(80)	20(33)	横円形	黒色土	細籠縫文、非在地系 土器	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複か F767-773他と重複
789	J18-K18	116×80	27	横円形	黒色土	なし	不明	F745-746-770他と重複
770	K18-K19	—×196	27	(不整形)	黒色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複 F767-771-772他と重複
771	J19-J20-K19-L20	216×196	17	不整円形	暗褐色土	なし	不明	F770-770と重複
772	K19-L18-L19	240×180	31	不整形	暗褐色土	なし	不明	F770-773-775他と重複
773	L18-L19-M19	(120)×88	15	(横円形)	褐色土 暗褐色土	土器小片 鉢片	中期	F766-770-772他と重複
774	M20	140×(116)	28	横円形	黒色土	土器小片 桃刃型石器	中期	F775-780と重複
775	L19-L20	—×—	14	—	暗褐色土	土器小片	中期?	F772-774-770～778と重複
776	K20-K21-L20-L21	—×200	33(42)	不整形	漆黒土	平出皿A、藤内式・勝 利式・エスキーズ	中期中葉	F771-775-777他と重複
777	K21-L21	—×100	15	(横円形)	褐色土 暗褐色土	在地系	中期中葉	F775-776-780と重複
778	J21-K21	228×200	11	不整形	黒色土	細籠縫文、勝板系	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複 F776-782と重複
779	L21-L22	(120)×88	7	(横円形)	黒色土	なし	不明	F780と重複
780	L21-L22	—×—	22	—	黃土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F780-781と重複
781	K22-L22	176×(80)	15	横円形	黃土層 暗褐色土	なし	不明	F780-782と重複 地盤片上がり
782	K22	96×88	11(43)	方形	黃土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F781-782と重複
783	K21-K22	140×—	18	横円形	暗褐色土	なし	不明	F778-782他と重複
784	K22-K23	140×120	20	不整長方形	黒色土	なし	不明	F760-761-763-762と重複
785	K23-K24-L23-L24	140×108	22	横円形	黒色土	なし	不明	647他と重複
786	L22-M22	128×104	27	横円形	漆黒土	土器小片 船製石器・磨石	中期?	複数遺構の重複
787	L23-M23	100×100	40	方形	黒色土	土器小片	中期	
788	L29-L21-M20-M21	(180)×132	30	(横円形)	黒色土	なし	不明	F724-725-777と重複
789	M17-M18	120×108	14	円形	黒色土	在地系?、非在地 系?	中期中葉?	重複遺構あり
790	N18-O18-O19	84×84	7	方形	暗褐色土	なし	不明	F818他と重複
791	M18-N18	116×108	24	円形	黒色土	土器小片	中期	F792-793と重複
792	M18-M19	120×88	30	横円形	暗褐色土	打製石斧	不明	F791-792他と重複
793	M19	—×76	14	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F791-792と重複
794	N19	140×72	15	横円形	黒色土	土器小片	不明	F795他と重複
795	N19	140×104	25	横円形	暗褐色土	なし	不明	F794他と重複
796	N19-N20	100×72	14	横円形	暗褐色土	なし	不明	F797と重複
797	M20-N20	—×80	13	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F798-799と重複
798	M20-N20	152×92	14	長方形	褐色土 暗褐色土	なし	不明	F797と重複
799	M21	116×112	44	円形	漆黒土	横刃型石器	不明	F800と重複
800	M21-M22-N21-N22	136×—	18	—	褐色土 黑土	なし	不明	F799-801他と重複
801	M22-N22	140×—	15	—	褐色土 黑土	剥片	不明	F800他と重複
802	N22-N23	96×68	15	横円形	黒色土	なし	不明	
803	N23	108×84	15	横円形	黒色土	なし	不明	F804他と重複
804	N23-N24	80×(30)	18	円形	黒色土	なし	不明	F803他と重複
805	M23	120×92	23	長方形	褐色土 暗褐色土	打製石斧	不明	重複遺構あり
806	P17	104×104	17	横円形	暗褐色土	打製石斧	不明	F806-807と重複
807	O17-O18-P17-P18	140×120	21	横円形	暗褐色土	平出皿A 船石刃	中期中葉?	F805と重複
808	P17-P18-Q17	128×88	13(48)	横円形	暗褐色土	平出皿A-網籠縫文 非在地系	中期中葉?	複数遺構の重複 F805-S19と重複
809	P18	152×140	26	方形	暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧-石錐	中期中葉?	F820と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
B09	N18-N19-O18-O19	160×120	11	横円形	暗褐色土	なし	不明	F810他と重複
B10	P19-Q19	112×—	10	横円形	漆黒土層 黑色土	平出III A、漆板瓦	中期中葉	重複遺構あり
B11	P20	166×84	18	横円形	黑色土	なし	不明	重複遺構あり
B12	Q20-Q21	—×—	18(28)	—	黑色土	なし	不明	39住、F819他と重複
B13	P20-P21	—×—	21	—	黑色土	土器小片 削片	中期?	複数遺構の重複 39住、F812-814と重複
B14	O21-P21	160×(112)	19	横円形	褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 39住、F813と重複
B15	Q21	84×84	18	円形	黑色土	なし	不明	F816と重複
B16	Q20-Q21	(116)×100	22	(円形)	黑色土	なし	不明	F815-817他と重複
B17	O20-P20	100×92	24	円形	黑色土	なし	不明	F816と重複
B18	N18-O18-O19	156×136	5	不整円形	暗褐色土	なし	不明	F790-809他と重複
B19	P17-Q17	220×200	31	不整円形	黑色土	平出III A・細縫縁文 非在地系 削片	中期中葉 中葉末～後葉	複数遺構の重複か F807-827-828と重複
B20	Q18	188×132	24	不整長方形	暗褐色土	平出III A 石縫・結石瓦	中期中葉	複数遺構の重複か F808-821他と重複
B21	Q18-R18	92×80	31	円形	黑色土	土器小片	中期?	F820と重複
B22	Q18-R18	112×100	15	円形	暗褐色土	なし	不明	F820と重複
B23	Q18-R19	100×64	9	横円形	暗褐色土	なし	不明	
B24	Q20-R20	180×100	19	不整長方形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F825と重複
B25	Q20-Q21-P20-P21	156×68	17	(横円形)	黑色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複か F824と重複
B26	O22	132×108	18	横円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり 底面片上り
B27	R16-R17	184×(128)	28	(横円形)	漆黒土	在地系、非在地系 打抜石縫・結石瓦	中期中葉	F828-830と重複
B28	Q17-R17	—×140	38	—	漆黒土	在地系、非在地系? 削片	中期中葉?	F819-827-829-830と重複
B29	R16-S17-S18	192×104	23	(横円形)	黑色土	在地系?、非在地系 平滑瓦	中期中葉	複数遺構の重複か F828-830-838他と重複
B30	R17-S17	80×80	60	円形	黑色土	綴縫縁文	中期中葉 ～後葉	F827-828-831と重複
B31	S17	—×88	12	—	黑色土	なし	不明	F830-832と重複
B32	S17-E18-T17	148×60	10	長方形	黑色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複か F831と重複
B33	T17	116×80	17	横円形	黑色土	なし	不明	
B34	T17-U17	160×92	16	横円形	漆黒土	在地系	中期中葉	複数遺構の重複か F807-908と重複
B35	U17-U18	—×108	25	—	黑色土	非在地系 石縫	中期中葉	重複遺構あり
B36	T18-T19	120×—	17	—	褐色土 黑色土	なし	不明	F837他と重複
B37	T19-U19	128×—	18	—	漆黒土 黑色土	非在地系	中期中葉	F836と重複
B38	S18	88×88	21	円形	黑色土	非在地系	中期中葉	F829他と重複
B39	S18-S19	88×(88)	14	(円形)	黑色土	土器小片	中期?	重複遺構あり
B40	S19-S20	140×116	22	不整形	黑色土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	F841他と重複
B41	S20-T20	(104)×100	27	(円形)	漆黒土	非在地系? 横刃型石器	中期中葉?	F840と重複
B42	S20	88×84	12	円形	黑色土	在地系	中期中葉?	
B43	U20	—×80	16	—	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
B44	T20-T21-U20-U21	—×100	7	—	暗褐色土	なし	不明	F845と重複
B45	T21-U21	—×112	18	—	黑色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複 F844と重複
B46	S22	—×100	13	—	黑色土	なし	不明	F847と重複
B47	R22	—×—	16	—	黑色土	綴縫縁文、非在地系 削片	中期中葉 中葉末～後葉	39住、F846と重複
B48	T23	108×108	16	(円形)	黑色土	なし	不明	
B49	T23-T24	192×—	14(29)	—	黑色土	なし	不明	複数遺構の重複
B50	R23	128×108	15	不整橢円形	黑色土	なし	不明	
B51	R21	112×76	15(24)	横円形	黑色土	土器小片	中期	39住と重複

SK#	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
852	R19-R20-S20	—×88	15	—	黒色土	土器小片	中期?	F853-854と重複
853	R18-R20	136×(88)	15	(横円形)	黒色土	赤在地系 剥片	中期中葉?	F852-854と重複
854	R18-R20	128×(128)	32	(円形)	漆黒土	在地系	中期中葉	F852-853と重複
855	T22	—×—	10	—	暗褐色土	なし	不明	
856	I10	1120×100	29	円形	暗褐色土	土器小片 打削石斧	中期	重複遺構あり
857	I10-J10	156×(120)	12	(横円形)	黄土層 暗褐色土	土器小片 横刃型石器	中期	E1.ド1039と重複
858	I10-I11	104×88	19	横円形	褐色土	土器小片	不明	
859	G11	—×—	7	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
860	G11-G12-H11-H12	—×76	17	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
861	G12	100×—	12	—	黄土層 暗褐色土	土器小片 横刃型石器	不明	
862	G13	(160)×—	16	—	黒色土	なし	不明	F864-876と重複
863	H13	168×(92)	23	(横円形)	黒土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F864-866と重複
864	G13-H13	152×72	33(80)	長方形	黒土層 暗褐色土	なし	不明	F862-863-876と重複
865	H13-H13	128×—	18	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F863と重複
866	H12-H13-I12-I13	—×112	15	(不整横円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
867	I12-J12	260×132	21(25)	不整横円形	黄土層 暗褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 F868と重複
868	I12-J12	138×84	18	不整横円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か E1.ド857と重複
869	J13-J14	—×92	16	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
870	I13-J14-J13-J14	116×—	7(26)	—	黄土層 褐土	なし	不明	複数遺構の重複 重複遺構あり
871	J14-J15	—×—	9	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F872-874-903と重複
872	I14-I15-J14-J15	132×84	19	不整單面形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 F871-873と重複
873	J15	120×88	16(36)	横円形	漆黒土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F871-872-874-875と重複
874	J15	—×76	12(22)	(横円形)	漆黒土層 暗褐色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F871-873他と重複
875	J15-J16	156×80	12(46)	横円形	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 F873と重複
876	G14	212×100	25	(横円形)	暗褐色土	在地系?	中期	F876-877-881他と重複
877	G14-H14	—×84	11	—	褐色土	なし	不明	F876-877-881他と重複
878	G14-H13-H14	152×100	25	(横円形)	暗褐色土	土器小片	不明	F864-874-877と重複
879	H14-H15-I14-I15	(160)×124	5	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F880-938他と重複
880	H14-H15	104×86	48	横円形	黒色土	なし	不明	F879-936と重複
881	G14-G15-H14-H15	—×112	23	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F877-882他と重複
882	G14-G15	100×80	31	横円形	黒色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F876-981-983と重複
883	F15-F16-G15-G16	204×—	23	不整長方形	黒色土	なし	不明	F882と重複
884	H16	108×100	21	不整円形	暗褐色土	細縞文、赤在地系 剥片	中期中葉 中葉末～後	F885と重複
885	H16	116×84	18	(長方形)	暗褐色土	なし	不明	F884他と重複
886	J16	212×192	15(53)	不整形	褐土層 黒色土	土器小片 剥片	中期?	複数遺構の重複
887	I13-J13	—×92	17	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
888	H14	—×88	18	(横円形)	黒色土	なし	不明	重複遺構あり
889	K9-K10-L9-L10	—×(132)	20	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1041と重複
890	L10	120×86	21	横円形	黒色土	下伊那型彫型文	中期中葉	
891	J10-J11-K10-K11	192×184	17	(円形)	黒色土	横刃型石器	不明	E1. F857-923-1040と重複
892	L10-L11-M10-M11	—×84	20	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F893-923他と重複
893	L11-M11	148×108	30	(横円形)	漆黒土	土器小片 剥片	中期	F892-893他と重複
894	L11-L12	152×148	18	方形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F893と重複

SHN.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
885	K11+K12+L11+L12	168×120	26(37)	不整長方形	墨色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 底盤片上がり
886	J11+K11	88×—	16	—	墨色土	横刃型石器	不明	J1他と重複
887	K12+K13	120×(72)	17	(不整長方形)	暗褐色土	土器小片	中期	F888+903他と重複
888	K12+K13	—×100	17	—	褐色土	なし	不明	F887+902他と重複
889	L13+L14+M13+M14	172×112	12(28)	不整形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F898+899と重複
900	L12+L13+M12+M13	120×108	20+43	円形	墨色土	土器小片	中期?	F901他と重複
901	L12+M12	100×92	24	円形	墨色土	なし	不明	F900他と重複
902	K13+L13	172×72	20	不整横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F898+899と重複
903	K13	(188)×72	12	(横円形)	墨色土	なし	不明	重複遺構あり
904	L14	—×164	17	—	暗褐色土	なし	不明	F905+906他と重複
905	L13+L14+M13+M14	138×—	18	—	褐土層 暗褐色土	なし	不明	F904+905他と重複
906	L14+M14	(148)×(116)	22(29)	(横円形)	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 F904+905+907と重複
907	L14+L15+M14+M15	288×240	10+23	不整形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F906他と重複
908	J14+K14+K15	256×164	13(41)	不整横円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F917他と重複
909	J15+J16+K15+K16	200×100	20	横円形	墨色土	土器小片	中期?	重複遺構あり
910	L16+L17+M18+M17	220×212	16(23)	不整形	黑色土 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複
911	M15	88×76	15	円形	暗褐色土	土器小片 敲打器	不明	
912	M14	220×116	85	瓢箪形	暗褐色土	土器小片 打製石斧・横刃型石器	中期?	複数遺構の重複
913	N14	120×112	12	円形	墨色土	なし	不明	F914他と重複
914	N13+N14	120×—	16	—	墨色土	なし	不明	F913+931他と重複
915	M13+N13	104×100	12	円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F916他と重複
916	M13+N13	168×72	17(35)	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F915と重複
917	M12+M13	136×100	16	横円形	墨色土	非在地系	中期中葉	
918	M11+M12	152×144	29	不整円形	墨色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 F916と重複
919	M11+M12+N11+N12	140×104	17	横円形	暗褐色土	なし	不明	F918+921他と重複
920	M11+N11	(152)×72	27	横円形	墨色土	なし	不明	F921他と重複
921	N11+N12	(156)×80	21	長方形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F919+920他と重複
922	M10	212×—	6	—	暗褐色土	なし	不明	40住と重複
923	K10+K11+L10+L11	—×132	23	—	墨色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 F921+922と重複
923	P10	—×72	17	—	暗褐色土			F924+925と重複
924	P10+P11	104×—	27	—	暗褐色土	土器小片	中期	F923+925と重複
925	O10+O11+P10+P11	100×88	20	横円形	暗褐色土	なし	不明	F924他と重複
926	O11	168×—	26	—	黑色土	縞模様文・非在地系 打製石斧・台石	中期中葉 中葉末～後葉	40住他と重複
927	P11+P12	140×124	22	横円形	漆黒土	なし	不明	
928	P12	128×100	8	横円形	漆黒土	土器小片	中期?	F929+930他と重複
929	P12+P13+Q12+Q13	156×108	23	(横円形)	漆黒土	非在地系?	中期中葉?	F929+930他と重複
930	Q12	104×96	29	円形	漆黒土	なし	不明	
931	Q14	(144)×140	20(39)	(円形)	漆黒土	非在地系 石器・打製石斧・横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
932	P14	148×104	13	不整横円形	漆黒土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複
933	O15+P15	108×96	50	円形	漆黒土	土器小片	不明	
934	Q15+Q16+R15+R16	252×160	35	不整長方形	墨色土	非在地系 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
935	Q14+R14	—×100	21	(不整横円形)	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 F933他と重複

SKNo.	検出位置	平面基盤(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
936	Q12-Q13	—×80	15	—	黄土層 高色土	なし	不明	F928-929と重複
937	P10-Q10	160×104	18	瓢箪形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複
938	H15	128×—	15	(横円形)	黄土層 褐色土	土器小片	中期?	F979-880他と重複
939	R8-R10	164×104	12	(不整様円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F940-1146他と重複
940	R10-S10	128×—	16	—	黑色土	非在地系	中期中葉	F939-941他と重複
941	S10-S11	—×136	19	—	黑色土	非在地系 打製石斧	中期中葉	F940-942他と重複
942	T10-T11	192×—	19	—	黑色土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	F941-943他と重複
943	T10-T11	144×84	38	(横円形)	漆黒土	在地系、非在地系 横刃型石器	中期中葉	F942他と重複
944	T11-T12	112×76	14	横円形	墨色土	非在地系	中期中葉	
945	R12-S11-S12	(140)×140	32	(円形)	漆黒土	縦縞文	中期中葉～ 中葉末	重複遺構あり
946	R11-R12	136×128	38	不整円形	漆黒土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	
947	Q13-R13	124×120	25	円形	漆黒土	非在地系 剥片	中期中葉?	F948と重複
948	R13	112×—	21	—	漆黒土	なし	不明	F947-949と重複
949	R13-S13-S14	152×148	20(48)	(方形)	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 F948-950他と重複
950	S12-S13	100×88	15	円形	暗褐色土	なし	不明	F949と重複
951	S12-S13-T12-T13	176×152	19	不整長方形	墨色土	平出ⅢA 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 F951-952他と重複
952	T12	—×88	8	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F951と重複
953	S13-T13	100×72	18	横円形	暗褐色土	なし	不明	F951-954と重複
954	T13-U13	—×128	25(36)	—	暗褐色土	縦縞文、非在地系 剥片	中期中葉 中葉末～後	複数遺構の重複 F953-955-887他と重複
955	S14-T13-T14	—×—	26	—	暗褐色土 黄褐色土	横刃型石器	中期中葉?	F954-956～958-987と重複
956	T14-U14	(124)×(100)	20	(横円形)	褐土層 暗褐色土	土器小片 剥片	中期?	F955-957-972-987と重複
957	S14-S15-T14-T15	216×—	30-41	—	漆黒土	下伊那型縦型文、非 在地系、土師円盤 打製石斧・横刃型石 器・鐵打跡	中期中葉	複数遺構の重複 F955-958と重複
958	S14-S15	—×104	14	—	漆黒土	なし	不明	F955-957と重複
959	S14	136×—	16	(円形)	漆黒土	縦縞文、非在地系 剥片	中期中葉 中葉末～後	F951他と重複
960	S15	108×92	29	横円形	漆黒土	なし	不明	F959-999他と重複
961	R15-S15	88×88	38	円形	漆黒土	在地系、非在地系 剥片	中期中葉	F953と重複
962	R15-R16	88×—	22	—	黑色土	非在地系	中期中葉	F962他と重複
963	R15-R16-S15-S16	128×—	39	—	黑色土	土器小片	中期?	F962-964他と重複
964	S16	108×—	42	(横円形)	墨色土	なし	不明	F963-964と重複
965	S16	100×76	35	長方形	黑色土	土器小片	中期?	F964-966と重複
966	S16	196×112	22	瓢箪形	黑色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F965と重複
967	T16-T17	104×—	15	—	黑色土	なし	不明	複数遺構の重複
968	T16-T17-U16-U17	108×96	27	円形	漆黒土	土器小片 打製石斧・石核	中期?	F934-968他と重複
969	U16-U17	—×72	5	—	漆黒土	なし	不明	F934-967他と重複
970	U15-U16	—×88	55	(長方形)	暗褐色土	土器小片	中期	
971	U15	108×108	42	円形	黑色土	在地系	中期中葉	複数遺構あり
972	T15-U15	—×112	18	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F956-973と重複
973	U14-U15	(136)×—	18	(横円形)	暗褐色土	在地系	中期中葉?	複数遺構の重複 F972-974-1000他と重複
974	U14	(168)×(88)	19(52)	(横円形)	黑色土	なし	不明	複数遺構の重複 F973-975-1000他と重複
975	U14-V14	—×—	19	—	暗褐色土	なし	不明	F974-1000他と重複
976	U13-U14	108×—	15	—	黑色土	なし	不明	F977-987他と重複
977	U13	108×—	16	—	暗褐色土	横刃型石器	中期中葉	F976-978と重複

SKNo.	検出位置	平面横幅(cm)	深さ(cm)	平面形	埴土	出土遺物	時期	備考
978	U12-U13-V12-V13	—×140	33	(不整円形)	黒褐色土	なし	不明	F977-978-980他と重複
979	V12	—×—	22	—	暗褐色土	打製石斧・模刃型石器	中期中葉	F978-982他と重複
980	U12	152×—	9	(横円形)	黒褐色土	在地系、非在地系 打製石斧・模刃型石器	中期中葉 弥生後期	F978-981他と重複
981	U11-U12	160×—	21	(横円形)	褐土層 暗褐色土	なし	不明	F980-982・984と重複
982	U11-V11-V12	128×—	21	—	暗褐色土	なし	不明	F979-981・983他と重複
983	U11-V11	—×100	27	—	褐土層 暗褐色土	なし	不明	F982-984・985他と重複
984	U10-U11	188×168	17	不整円形	褐土層 暗褐色土	非在地系	中期中葉	F981-983他と重複
985	V10-V11	—×—	16	—	褐色土	なし	不明	F932と重複
986	V9-V10	(220)×—	30	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F155-156と重複
987	V9-V10	—×54	21	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1150と重複
987	T13-T14	(140)×(66)	25	(横円形)	黒褐色土	—	不明	F954-956-976-1000と重複
988	R14	—×80	16	(横円形)	漆黒土	打製石斧	不明	F932と重複
989	S15	84×(58)	41	(円形)	褐土層 黒褐色土	在地系、非在地系 削片	中期中葉	F981他と重複
1000	U14	—×—	19(82)	(不整形)	褐土層 暗褐色土	細縞線文、非在地系 削片	中期中葉 中葉末~後 期	複数遺構の重複 F946-973～975-987と重複
1001	H3	140×—	52	(横円形)	黄土層 暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧・模刃型石器・石核	中期中葉	—
1002	I2-I3	(136)×86	12	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F1003-1009と重複
1003	I2-I3・J2-J3	—×136	21	(横円形)	—	なし	不明	F1002-1004-1006-1007-1009と重複
1004	J2	—×92	32	—	—	平出III A、非在地系	中期中葉	F1003と重複
1005	J2-J3-K2-K3	160×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	F1006-1008-1121と重複
1006	J2-J3	116×100	53	円形	黒褐色土	在地系、非在地系 石錐・打製石斧・石錐	中期中葉	F1003-1005-1007-1008と重複
1007	J3	136×120	51	円形	—	土器小片	中期	F1003-1006-1008と重複
1008	J3-K3	132×—	35	—	暗褐色土	なし	不明	F1005～1007と重複
1009	J3	—×92	17	—	暗褐色土	在地系、非在地系 模刃型石器・敲打器	中期中葉	F1002-1003-1010-1011他と重複
1010	I3-J4	—×54	24	—	黄土層 暗褐色土	在地系 模刃型石器	中期中葉	F1009-1011他と重複
1011	J3	(120)×60	10	(横円形)	褐色土	なし	不明	F1009-1010他と重複
1012	H3-H4	—×108	24	—	暗褐色土	非在地系 削片	中期中葉	F552他と重複
1013	J4	—×80	17	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1014	J4-J5	104×60	51	横円形	暗褐色土	なし	不明	F1015と重複
1015	J4-J5	168×120	29	(横円形)	黄土層 褐色土	なし	不明	F1014-1045と重複
1016	J5-J6	160×152	79	円形	黄・高・基・底 黄土層 暗褐色土	在地系、非在地系 打製石斧	中期中葉	F1017-1024-1056-1085と重複
1017	I5-J5	84×84	15	円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F1016と重複
1018	I5	96×72	17	横円形	黄土層 暗褐色土	土器小片	中期	—
1019	H5-H6-I5-I6	108×100	34	円形	黑褐色土	土器小片	不明	—
1020	H6	(140)×88	10	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1021と重複
1021	H6-H7	116×86	13	(不整長方形)	黄土層 褐色土	なし	不明	F1020と重複
1022	H7-H8	136×112	17	横円形	黄土層 暗褐色土	土器小片 削片	中期	重複遺構あり
1023	J6	104×72	21	横円形	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1024	J6	220×—	21	—	黄・高・基・底 黄土層 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1016他と重複
1025	I8-I7-J6-J7	110×96	13	不整円形	黄土層 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か
1026	I7	124×—	10	—	黄土層 暗褐色土	平出III A、非在地 系?	中期中葉	F1027-1028と重複
1027	I6-I7	—×72	12(26)	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1026と重複

Site	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1028	J7-J7	120×76	19	横円形	黒褐色土	細縞線文	中期中葉東～後高	F1028-1029他と重複
1029	J7	112×—	14	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1028-1030他と重複
1030	J7	88×—	19	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1029と重複
1031	J7-J8-K8	100×60	14	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1032と重複
1032	J8	136×112	12	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1031と重複
1033	J7-J8	116×76	14	横円形	黄土層 緑褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複か
1034	H7-H8	—×100	20	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1035	H8	140×—	29	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1036	G8-G9	148×—	20(29)	(長方形)	暗褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 F1035他と重複
1037	I8-J8	—×88	22	(横円形)	黄土層 緑褐色土	土器小片	中期	F1036他と重複
1038	I8	126×—	25	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1037他と重複
1039	J9-J10	(148)×(144)	8	(方形)	—	土器小片	不明	複数遺構の重複 E1, F857-1040他と重複
1040	J8-J10-K9-K10	—×—	22	—	—	細縞線文、非在地系 打削石斧・粗製石 匙・石核	中期中葉東～後 高	E1, F881-1039-1120と重 複
1041	K9-L9	—×—	20	—	暗褐色土	平出直A 横刃型石器	中期中葉	F889-1045-1048と重複
1042	L8-M9-M10	—×120	18	—	黑色土	なし	不明	F1043-1045他と重複
1043	M9	104×100	29	(方形)	暗褐色土	なし	不明	F1042-1044と重複
1044	M8-M9	104×72	27	横円形	黑色土	非在地系	中期	F1043と重複
1045	L8-L9	—×132	29	—	黑色土	非在地系	中期中葉?	F1041-1042-1047-1048と 重複
1046	K8-K9	—×140	24	(横円形)	褐色土	非在地系 網片	中期中葉	F1041と重複
1047	M8-M9	124×72	23	(不整横円形)	黑色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 F1045-1122と重複
1048	L7-L8	204×—	49	—	黄土層 緑褐色土	平出直A-下伊那型 彫影文・細縞線文、 非在地系? 打削石斧・縞製石斧	中期中葉 中葉東～後 高	複数遺構の重複 F1045-1049-1122他と重複
1049	L7	198×128	19(33)	横円形	黑色土	下伊那型彫影文、細 縞線文	中期中葉 中葉東～後 高	F1048他と重複
1050	K7	104×104	18	円形	黑色土	なし	不明	—
1051	L6-L7	132×96	32	横円形	黄土層 緑褐色土	土器小片	中期	F1052他と重複
1052	K6-L6	152×152	15(58)	瓢箪形	黄土層 褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1051と重複
1053	K5-L5-L6	198×—	18	—	黄土層 褐色土	細縞式・勝坂系 模様型石器	中期中葉	複数遺構の重複 F1054-1055他と重複
1054	L5	178×—	21	—	黄土層 褐色土	なし	不明	F1053-1055と重複
1055	L5-M5	236×136	33	横円形	黄土層 緑褐色土	平出直A、勝坂系 打削石斧・横刃型石 器・敲打器・磨石	中期中葉	F1054-1055と重複
1056	J5-J6-K5-K6	(128)×—	19	—	黄・黒土層 緑褐色土	平出直A、勝坂系	中期中葉	F1016-1024-1067-1068と 重複
1057	K5	164×—	25	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1056-1065と重複
1058	K4	116×—	14	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1059と重複
1059	K3-L3-L4-K4	220×—	20	—	黄土層 褐色土	剥片	不明	F1056他と重複
1060	K3-L3-L4	132×124	42	円形	黄土層 緑褐色土	下伊那型彫影文、非 在地系 縞製石斧	中期中葉	F1061-1062と重複
1061	K2-K3-L2-L3	168×92	13	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1060-1062他と重複
1062	L2	160×80	24	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1061-1063と重複
1063	L2-L3	160×128	39	(横円形)	黒土層 緑褐色土	土器小片	中期?	F1060-1062-1069-1071と 重複
1064	L2-L3-M2-M3-M2	168×—	23	—	黄土層 褐色土	土器小片	中期	F1070と重複
1065	J5	(148)×(136)	(29)	(円形)	黑褐色土	土器小片	中期	F1015-1018-1056-1057と 重複
1066	M2-N2	—×100	38	—	黄土層 緑褐色土	なし	不明	F1067と重複
1067	M2-N2	—×—	22	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1066と重複
1068	M3-M4-N3-N4	168×(112)	15	(横円形)	黑色土	平出直A	中期中葉	F1069-1073と重複

SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1068	L2・M3	—×—	18	—	黄・黒土層 暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1068・1070・1071と重複
1070	L2・L3・M2・M3	—×88	27	—	黄・黒土層 暗褐色土	なし	不明	F1064・1069と重複
1071	L3・L4・M3・M4	180×104	27	(横円形)	黒土層 暗褐色土	土器小片	中期?	複数遺構の重複 F1065・1069・1072・1074と重複
1072	L4・M4	118×—	15(48)	—	黄土層 褐色土	土器小片 模写型石器	中期?	複数遺構の重複 F1071と重複
1073	M4・N4	92×—	23	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1068・1069・1074と重複
1074	M4・M5	120×—	40	—	墨色土	非在地系	中期中葉	F1071・1072・1075と重複
1075	M5・N4・N5	100×—	27	—	墨色土	平出ⅢA、加曾利E 高?	中期中葉	F1074・1076と重複
1076	M5・N4・N5	236×112	21(37)	(不整横円形)	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1075と重複
1077	N5・N6	132×100	19	横円形	墨色土	勝板式	中期中葉	漆器片上がり F1078と重複
1078	M6・N6	152×—	14	(横円形)	黄土層 暗褐色土	なし	不明	F1077・1079と重複
1079	M6・N6	132×—	19	(横円形)	暗褐色土	勝板式	中期中葉	F1078と重複
1080	L8・M8	140×104	13(32)	横円形	黄土層 黒褐色土	勝板系 打表石斧	中期中葉	複数遺構の重複
1081	M7	172×120	38	横円形	暗褐色土	なし	不明	F1082と重複
1082	M7・N7	128×104	17	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1081と重複
1083	N8	112×96	36	(円形)	暗褐色土	細縞線文	中期中葉末 ~後葉	重複遺構あり
1084	N8	92×64	19	方形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	
1085	O8・O9・P8	200×192	32	(方彌)	暗褐色土	平出ⅢA・下伊那型 梯形文?、勝板系	中期中葉	複数遺構の重複 40cm、F1088・1087と重複
1086	O9・P9	—×112	10	—	墨色土	なし	不明	複数遺構の重複 40cm、F1085他と重複
1087	P8・P9	—×108	21	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1085・1088他と重複
1088	P8	132×112	30	円形	暗褐色土	勝板系 模写型石器	中期中葉	F1087と重複
1089	P8・P10・Q9・Q10	104×80	23	横円形	墨色土	なし	不明	
1090	P8	92×72	26	横円形	暗褐色土	なし	不明	
1091	O7	200×180	21-32	不整円形	褐色土	平出ⅢA 打表石斧	中期中葉	複数遺構の重複 F1092・1093他と重複
1092	O6・O7	112×72	21	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1091・1093他と重複
1093	O6・O7	120×76	18	横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F1091・1092と重複
1094	P6・Q6	100×80	11	横円形	暗褐色土	なし	不明	F1095・1116と重複
1095	P6	92×—	21	—	暗褐色土	土器小片	不明	F1094・1116他と重複
1096	O6・P6	100×64	27	横円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1097	O5	148×124	56	横円形	達黒土	下伊那型梯形文、繪 刷波文、非在地系 削片	中期中葉 中葉末～後 葉	F1096他と重複
1098	O4・O5	—×96	20	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F1097・1099他と重複
1099	N4	100×—	22	—	暗褐色土	なし	不明	F1098他と重複
1100	O2・O3	88×(88)	19	(円形)	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1101	P4・P5	116×72	21	(横円形)	墨色土	なし	不明	重複遺構あり
1102	P3	104×84	18	(横円形)	黄土層 墨色土	非在地系?	中期中葉	重複遺構あり
1103	P2	—×180	29	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F1104と重複
1104	O2	—×—	16	—	暗褐色土	なし	不明	F1103と重複
1105	P2・Q3	136×88	15	(横円形)	達黒土	なし	不明	織あり F1106と重複
1106	P2・Q3	—×100	15	—	暗褐色土	なし	不明	F1105と重複
1107	O2・O3	208×92	32-48	横円形	達黒土	なし	不明	複数遺構の重複 F1108と重複
1108	N2・N2・O2・O3	212×92	25(32)	不整横円形	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1107他と重複
1109	Q2・Q3	200×112	27	不整横円形	達黒土	平出ⅢA、非在地系 土器円盤	中期中葉	複数遺構の重複 底部片上がり
1110	Q3・Q4	128×116	15	円形	達黒土	なし	不明	重複遺構あり 織あり
1111	Q4	172×78	29	横円形	暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり

Site	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埴土	出土遺物	時期	備考
1112	Q5-R5	—×92	21	—	暗褐色土	なし	不明	F1113と重複
1113	Q5	—×104	32	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F1112と重複
1114	Q6	128×84	21	横円形	暗褐色土	なし	不明	
1115	Q8-Q7-R6-R7	116×76	16	横円形	暗褐色土	非在地系	中期中葉	F1117と重複
1116	Q7-Q8-R7-R8	—×128	27(54)	—	暗褐色土	非在地系?	中期中葉?	複数遺構の重複 F1094-1095と重複
1117	Q8	116×96	25	長方形	暗褐色土	朝院線文、勝板系	中期中葉	底版片上がり
1118	Q8	88×80	28	円形	暗褐色土	土器小片	中期?	
1119	Q9	120×108	18	円形	漆黒土	平出Ⅲa、非在地系 削片	中期中葉	重複遺構あり
1120	J8-K9	140×—	18	(円形)	褐色土	非在地系? 打製石斧	中期中葉	底版片上がり F1046他と重複
1121	K2	144×—	24	—	—	非在地系? 削片	中期中葉?	F1105と重複
1122	L7-L8-M7-M8	—×—	12	—	黄土層 褐色土	平出Ⅲa	中期中葉	F1047-1048と重複
1123	R2	—×108	36	—	漆黒土	在地系	中期中葉?	重複遺構あり
1124	R3	168×100	30	横円形	漆黒土	在地系?	中期中葉?	重複遺構あり 底版片上がり
1125	S2-S3	128×120	28	(円形)	黑色土	在地系、勝板系 横刃型石器	中期中葉	
1126	S3	112×88	24	横円形	黑土層 褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1127	S2-T2	152×—	20	(横円形)	黑色土	なし	不明	重複遺構あり
1128	S3	104×100	29	円形	暗褐色土	块状打製石包丁	弥生後期	F1129と重複
1129	T3	200×168	23(50)	不整円形	黑色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 F1128他と重複
1130	T3-T4-U3-U4	200×128	20(31)	横円形	黑土層 暗褐色土	土器小片	不明	複数遺構の重複 F1131他と重複
1131	T4	178×—	25	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1130と重複
1132	S2-S4	—×88	38	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複か F1133と重複
1133	S4	—×140	18	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1132と重複
1134	S5	—×94	32	(横円形)	黑色土	平出Ⅲa	中期中葉	F1138他と重複
1135	S6	84×80	21	円形	黑色土	土器小片	不明	
1136	R6-R7-S8-S7	216×180	21(38)	瓢箪形	黑色土	非在地系	中期中葉	複数遺構の重複 F1137と重複
1137	R6	108×88	33	横円形	暗褐色土	在地系	中期中葉?	F1115-1136と重複
1138	T6	—×—	14(28)	—	暗褐色土	在地系 削片	中期中葉	複数遺構の重複 F1139-1140他と重複
1139	S6	88×78	14	円形	黑色土	なし	不明	F1134-1138と重複
1140	S6	92×92	24	円形	黑色土	平出Ⅲa	中期中葉	F1138と重複
1141	T7-T8	140×—	30	—	暗褐色土	下伊那型彫文文、船 元式 横刃型石器	中期中葉	F1142-1153-1154他と重複
1142	T8	120×—	30	—	暗褐色土	なし	不明	F1141と重複
1143	R7-R8-S7-S8	272×196	20(35)	不整長方形	暗褐色土	平出Ⅲa、勝板・漆 内? 削片	中期中葉	複数遺構の重複 重複遺構あり
1144	R8	108×88	12	横円形	暗褐色土	なし	不明	
1145	R8-S9	100×84	29	横円形	暗褐色土	なし	不明	F1146他と重複
1146	R9-S9	144×116	16	(長方形)	漆黒土	なし	不明	F939-1145他と重複
1147	S9-S9-S10-T10	148×—	22	—	黄土層 暗褐色土	なし	不明	重複遺構あり
1148	T9	80×—	18	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1149-1150と重複
1149	T9-T10	—×78	22	(横円形)	暗褐色土	なし	不明	F1148-1150と重複
1150	T9-U9-U10	180×160	24	(横円形)	黑色土	在地系? 横刃型石器	中期	複数あり F937-1149-1150と重複
1151	T9-T9	108×92	17	横円形	黑土層 褐色土	なし	不明	F1152と重複
1152	T9-T9-U8-U9	—×100	18	—	暗褐色土	なし	不明	F1151-1152と重複
1153	T9-U8	140×—	22	—	暗褐色土	土器小片	中期	F1141-1152-1154他と重複
1154	U7	—×120	20	—	暗褐色土	平出Ⅲa高?、井戸 底?	中期中葉	F1141-1153と重複

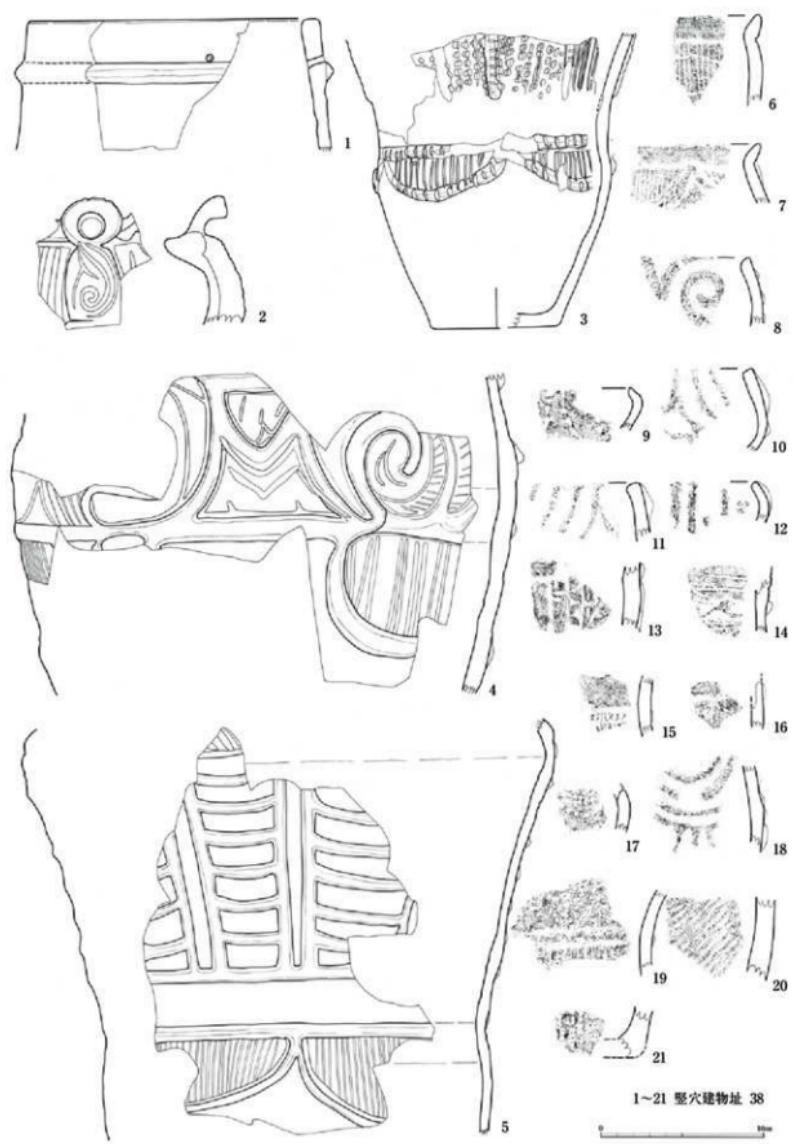
SKNo.	検出位置	平面規模(cm)	深さ(cm)	平面形	埋土	出土遺物	時期	備考
1155	U9-U10-V9-V10	100×—	13	(円形)	褐色土層 暗褐色土	なし	不明	F1986と重複
1156	V9	132×—	37	—	黒色土	なし	不明	F1986-1157他と重複
1157	U8-U9-V8-V9	148×144	35(48)	(円形)	漆黒土	平出ⅢA、非在地系 横刃型石器	中期中葉	F1156他と重複
1158	V8	108×—	20	(長方形)	黒色土	在地系	中期中葉?	F1159他と重複
1159	U7-U8-V7-V8	180×172	22(41)	(不整円形)	暗褐色土層 黒色土	平出ⅢA、勝板・藤 内? 横刃型石器	中期中葉	複数遺構の重複 F1158他と重複
1160	T8-U8	132×92	12	橭円形	暗褐色土	横刃型石器	非在地系	
1161	U8-V8	100×—	15	(円形)	暗褐色土	勝板系	中期中葉	F1163他と重複
1162	V8-V7-W6	200×—	11	—	暗褐色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1163他と重複
1163	V5-V6	180×—	29	(円形)	黒色土	在地系?	中期中葉?	F1161-1162他と重複
1164	V5-W5	—×140	31	(橭円形)	黒色土	平出ⅢA、勝板式 打製石斧	中期中葉	複数遺構の重複か F1168他と重複
1165	U5	120×72	18	橭円形	暗褐色土	なし	不明	
1166	U5	116×(76)	25	(橭円形)	暗褐色土	土器小片	不明	F1167と重複
1167	U4-U5	156×(92)	12	(橭円形)	黒色土	なし	不明	破片 F1166他と重複
1168	V4	138×—	17	(円形)	暗褐色土	平出ⅢA	中期中葉	F1164-1169と重複
1169	V4	(140)×100	19(34)	(橭円形)	暗褐色土	土器小片	中期	複数遺構の重複 F1168-1170他と重複
1170	V4	—×—	13(27)	—	黒色土	なし	不明	複数遺構の重複 F1169-1171-1172他と重複
1171	W3-W4	160×—	23	—	暗褐色土	なし	不明	F1170と重複
1172	V3	168×—	28(48)	—	黒色土	土器小片 鉄片	中期中葉?	複数遺構の重複 F1170と重複
1173	U3-V3	148×128	28	(円形)	黒土層 暗褐色土	下伊那型繩文、非 在地系 鉄片	中期中葉	F1174と重複
1174	U3-V3	—×80	20	(橭円形)	黒色土	土器小片	中期	F1173と重複
1175	U2-U3	172×—	53	—	黒色土	在地系、非在地系 鉄片	中期中葉	F1176と重複
1176	T2-U2	—×—	15	—	黒色土	なし	不明	F1175と重複
1177	V2-V3	140×—	46	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	
1178	S7	—×115	13	—	暗褐色土	非在地系	中期中葉	重複遺構あり

表2 石器觀察表

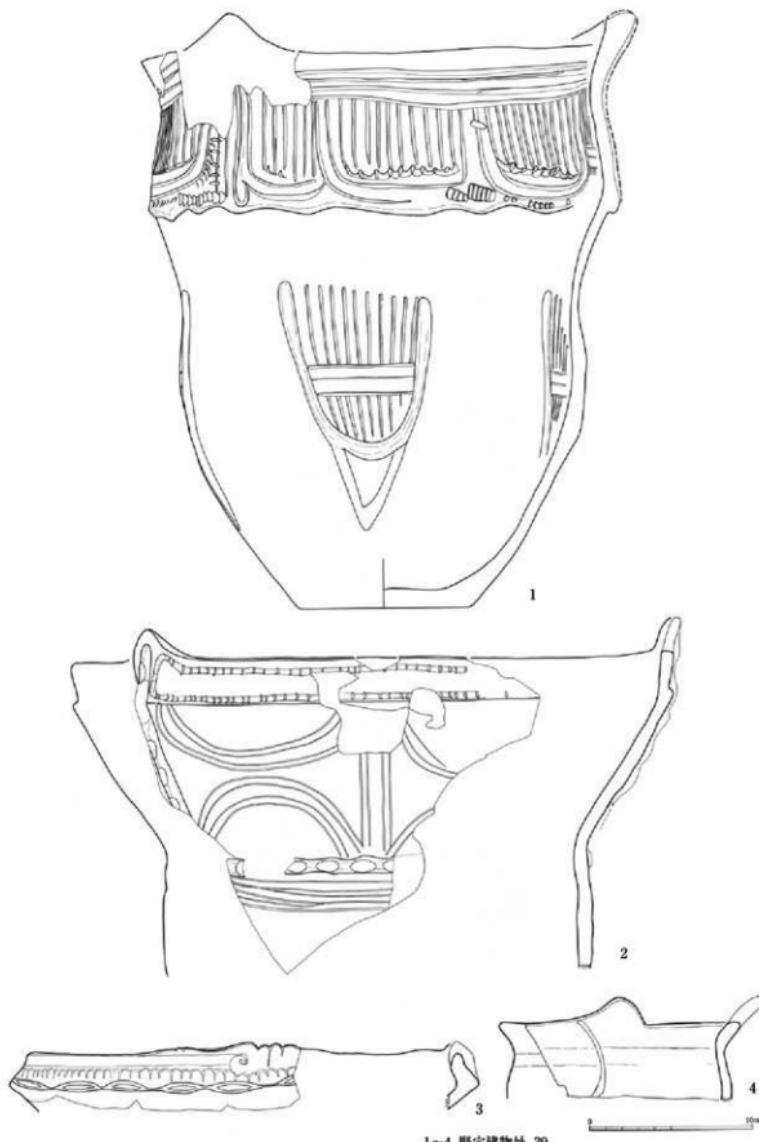
國編號	遺構名	器種	遺存狀況	石材	法量				備考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第15回1	整建38	打製石斧	刃部折損	綠色岩	—	3.8	1.5	—	
第15回2	整建38P4	橫刃形石器		硬砂岩	5.8	7.8	1.2	55	
第15回3	整建38P4	橫刃形石器		硬砂岩	5.0	6.7	1.4	41	
第15回4	整建38P8	橫刃形石器		硬砂岩	7.2	7.0	1.3	69	
第15回5	整建38	磨石		硬砂岩	10.5	8.8	1.8	530	
第15回6	整建39	打製石斧		綠色岩	12.5	4.3	1.7	110	
第15回7	整建39	打製石斧		硬砂岩	18.8	4.4	1.8	116	
第15回8	整建39	打製石斧		綠色岩	12.9	5.3	1.7	118	
第15回9	整建39	打製石斧		硬砂岩	9.1	2.1	0.8	14	
第15回10	整建39	打製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.5	1.1	—	
第15回11	整建39	打製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.8	1.5	—	
第15回12	整建39	打製石斧	刃部側折損	綠色岩	—	4.0	0.8	—	
第15回13	整建38P22	打製石斧	刃部側折損	綠色岩	—	4.5	2.2	—	
第15回14	整建39P22	刮削器		綠色岩	14.1	4.5	1.5	85	
第15回15	整建39	磨製石斧		綠色岩	15.6	3.5	2.1	186	未製品
第15回16	整建39	打製石斧		綠色岩	—	5.0	1.5	—	
第15回17	整建39	石錐		硬砂岩	7.7	3.6	1.5	49	
第15回18	整建39P4	橫刃形石器		硬砂岩	5.3	7.5	1.1	58	
第16回1	整建39	橫刃形石器		綠色岩	4.1	6.9	0.9	19	
第16回2	整建39	橫刃形石器		綠色岩	5.7	7.7	1.3	61	
第16回3	整建39	橫刃形石器	一部折損	硬砂岩	8.2	—	2.4	—	
第16回4	整建39 4	磨石		花崗岩	10.7	7.0	3.7	426	
第16回5	整建39 5	石匙		安山岩	6.2	2.6	0.7	11	
第16回6	整建39	石匙		安山岩？	3.0	4.9	0.6	8	
第16回7	整建39	石核		黑曜石	2.3	1.9	0.4	1	
第16回8	整建39P7	—	—	黑曜石	1.5	0.9	0.4	11人F	
第16回9	整建40	打製石斧		硬砂岩	11.5	4.9	2.4	142	
第16回10	整建40P1	打製石斧		綠色岩	7.7	3.4	1.0	39	
第16回11	整建40	打製石斧		硬砂岩	14.1	4.2	3.5	188	刃部に被熱
第16回12	整建40	大形粗製石匙		硬砂岩	11.5	4.9	1.6	78	
第16回13	整建40	橫刃形石器		硬砂岩	6.9	8.9	1.4	92	
第16回14	整建40	橫刃形石器		硬砂岩	6.1	9.5	1.2	71	
第16回15	整建40	磨石	一部欠	花崗岩	6.8	4.7	4.1	(180)	
第16回16	整建40	石皿		花崗岩	—	—	7.8	—	No.1
第16回17	整建40	石皿		花崗岩	—	—	7.0	—	No.2
第17回1	整建40	石皿		花崗岩	43.5	36.4	13.0	—	
第17回2	整建40	石核		黑曜石	2.8	2.9	1.5	12	
第17回3	整建40P7	—	—	黑曜石	1.4	1.4	0.6	1	
第17回4	整建40P1	石錐		下呂石	3.6	1.6	0.4	1	
第17回5	整建40	打製石斧		綠色岩	10.1	4.6	1.7	94	
第17回6	整建40	橫刃形石器		硬砂岩	6.1	6.8	1.4	56	
第17回7	整建40	橫刃形石器		硬砂岩	4.0	6.6	0.9	22	
第17回8	土554	石錐		硬砂岩	3.3	2.3	0.8	10	
第17回9	土558	打製石斧		硬砂岩	10.0	4.3	2.0	102	
第17回10	土580	打製石斧		綠色岩	9.7	4.0	1.5	72	
第17回11	土580	橫刃形石器		硬砂岩	5.3	8.6	1.5	46	
第17回12	土580	橫刃形石器		硬砂岩	3.4	4.7	1.0	19	
第17回13	土580	敲石	一部欠	綠色岩	—	5.2	3.7	—	
第17回14	土591	嵌入打製石包丁		硬砂岩	4.6	9.0	1.7	56	
第17回15	土620	橫刃形石器		硬砂岩	3.8	7.0	1.0	25	
第17回16	土620	磨石		花崗岩	8.6	8.4	6.8	745	
第17回17	土649	打製石斧		綠色岩	—	4.2	1.7	—	
第17回18	土700	磨石	折損	花崗岩	15.7	—	6.4	—	
第17回19	土756	大形粗製石匙		綠色岩	11.2	5.6	1.6	89	
第17回20	土808	打製石斧		綠色岩	8.5	4.4	1.5	71	
第17回21	土820	石錐		硬砂岩	7.1	3.6	1.6	70	

図版No.	遺構名	器種	遺存状況	石材	法量				備考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第18図6	土827	打製石斧		硬砂岩	11.3	4.4	1.4	71	
第18図7	土835	石錐		緑色岩	6.5	3.9	1.7	59	
第18図8	土835	石錐		硬砂岩	5.6	3.8	1.6	48	
第18図9	土841	横刃形石器		硬砂岩	6.5	8.6	2.1	124	
第18図10	土912	打製石斧		緑色岩	9.1	4.3	1.6	95	
第18図11	土926P1	打製石斧		硬砂岩	10.5	4.9	2.0	122	
第18図12	土977	横刃形石器		硬砂岩	4.2	6.2	1.2	32	
第18図13	土981	打製石斧		硬砂岩	11.7	4.5	2.3	152	
第18図14	土981	横刃形石器		硬砂岩	5.7	—	1.3	—	
第18図15	土942	横刃形石器		硬砂岩	5.4	7.6	1.2	56	
第18図16	土957	打製石斧		硬砂岩	11.0	4.7	2.3	154	
第18図17	土957	打製石斧		硬砂岩	11.9	5.3	2.2	138	
第18図18	土957	打製石斧		不明(堆積岩)	12.2	4.0	1.6	104	
第19図1	土957	横刃形石器		硬砂岩	5.1	9.7	1.8	58	
第19図2	土957	鐵石		硬砂岩	6.7	2.3	1.6	40	
第19図3	土988	横刃形石器		硬砂岩	4.4	6.4	1.1	36	
第19図4	土988	打製石斧		緑色岩	11.7	5.1	1.3	97	
第19図5	土988	打製石斧		硬砂岩	10.3	4.9	1.3	(67)	
第19図6	土1001	打製石斧		緑色岩	14.8	5.5	2.3	276	
第19図7	土1001	横刃形石器		硬砂岩	5.8	8.7	1.3	68	
第19図8	土1006	石錐		硬砂岩	6.0	6.0	1.3	63	
第19図9	土1009	横刃形石器		硬砂岩	6.3	8.7	1.3	66	
第19図10	土1009	鐵石		緑色岩	9.8	5.3	4.0	336	
第19図11	土1016	打製石斧	基部折損	緑色岩	—	4.0	1.9	—	
第19図12	土1040	大形打製石器		緑色岩	10.8	5.4	1.2	(102)	
第19図13	土1040	打製石斧		硬砂岩	9.0	4.1	1.1	56	
第19図14	土1048	打製石斧		緑色岩	11.0	5.0	2.6	188	
第19図15	土1048	打製石斧		硬砂岩	12.6	4.0	1.7	118	
第19図16	土1048	磨製石斧	基部側1/2	緑色岩	—	4.1	2.7	—	表面に附着観察
第19図17	土1055	横刃形石器		硬砂岩	4.2	7.8	1.6	59	
第19図18	土1055	横刃形石器		硬砂岩	4.2	8.0	1.2	41	
第19図19	土1055	磨製石斧	刃部折損	硬砂岩	—	4.2	2.7	—	
第19図20	土1055	磨石	欠損	花崗岩	—	—	—	—	
第19図21	土1055	鐵石	欠損	緑色岩	12.3	—	5.7	—	
第19図21	土1060	磨製石斧	折損	緑色岩	14.5	4.8	2.8	—	両側縁に敲打痕
第20図2	土1060	打製石斧		硬砂岩	11.5	4.9	1.8	126	
第20図3	土1091	打製石斧		硬砂岩	10.2	4.6	1.5	81	
第20図4	土1120	打製石斧		緑色岩	10.0	4.9	1.2	77	
第20図5	土1125	横刃形石器		硬砂岩	5.0	7.1	0.8	50	背部節理面で折れ
第20図6	土1125	横刃形石器		硬砂岩	6.4	7.1	1.2	57	
第20図7	土1128	石錐		硬砂岩	4.4	3.3	1.2	26	
第20図8	土1141	横刃形石器		硬砂岩	5.7	6.4	1.2	44	
第20図9	土1150	横刃形石器		硬砂岩	5.6	10.9	1.5	108	
第20図10	土1150	横刃形石器		硬砂岩	4.8	8.5	1.4	59	
第20図11	土1157	横刃形石器		硬砂岩	5.4	8.8	1.7	83	
第20図12	土625	石錐		黒曜石	2.5	(1.9)	0.3	1	
第20図13	遺構外	ビーム・エッジ-3		黒曜石	1.4	1.2	0.5	1以下	
第20図14	土806	圓石刃		黒曜石	2.6	0.7	0.2	1以下	
第20図15	土827	圓石刃		黒曜石	2.9	0.8	0.3	1以下	
第20図16	土946	圓石刃		黒曜石	3.3	1.5	0.7	3	
第20図17	遺構外	打製石斧		硬砂岩	13.2	4.9	2.0	148	
第20図18	遺構外	打製石斧		緑色岩	11.7	4.8	1.7	110	
第20図19	遺構外	打製石斧		緑色岩	12.9	4.9	1.8	(138)	
第20図20	遺構外	打製石斧		硬砂岩	12.8	4.2	2.1	140	
第21図1	遺構外	打製石斧		緑色岩	—	4.0	1.5	—	
第21図2	遺構外	打製石斧	刃部摩耗	硬砂岩	11.1	3.4	1.7	88	

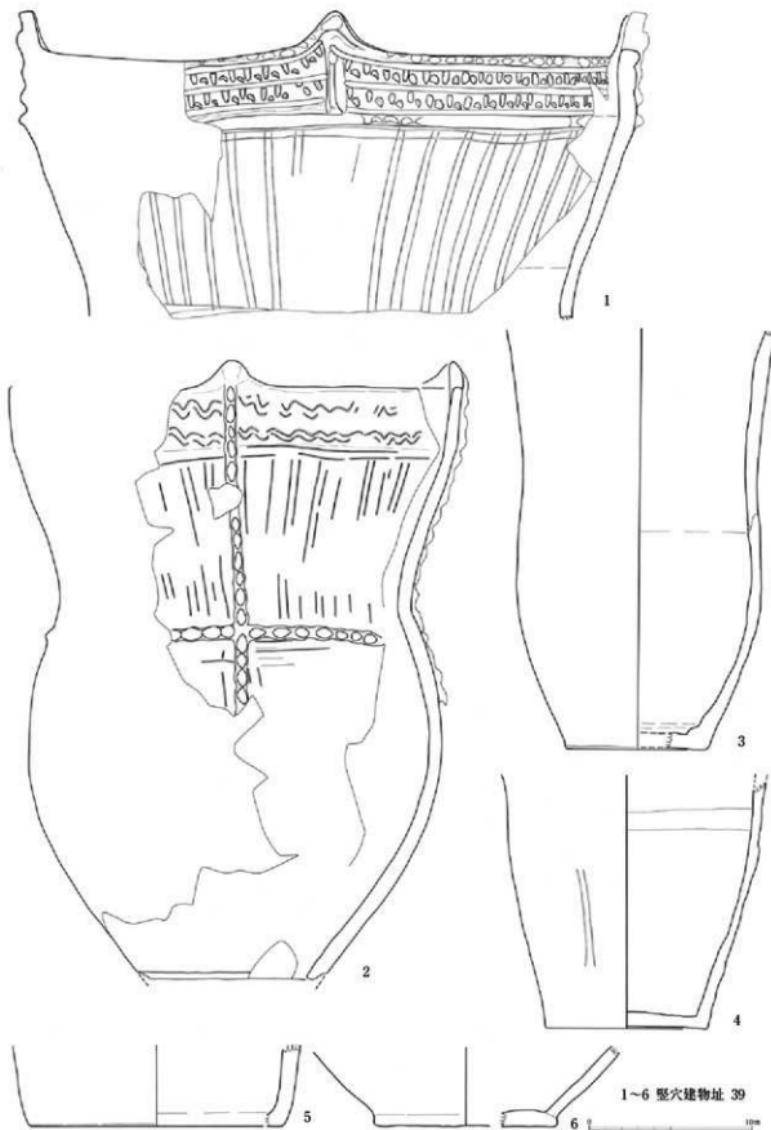
図版No	遺構名	器種	遺存状況	石材	法量				備考
					長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	
第21図3	遺構外	打製石斧		硬砂岩	10.8	3.4	1.9	87	
第21図4	遺構外	打製石斧		硬砂岩	10.4	4.5	2.2	95	
第21図5	遺構外	打製石斧		綠色岩	11.7	4.4	1.7	118	
第21図6	遺構外	打製石斧		綠色岩	10.9	4.5	1.6	110	
第21図7	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.7	5.0	2.2	172	
第21図8	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.8	4.0	1.7	73	
第21図9	遺構外	打製石斧		硬砂岩	9.9	4.4	1.5	89	
第21図10	遺構外	打製石斧		綠色岩	8.2	4.7	1.8	98	
第21図11	遺構外	打製石斧		硬砂岩	7.5	4.3	1.6	57	
第21図12	遺構外	打製石斧		珪岩?	5.7	4.1	1.1	24	
第21図13	遺構外	打製石斧		綠色岩	9.1	3.9	1.8	78	
第21図14	遺構外	打製石斧		綠色岩	10.8	3.9	1.8	82	
第21図15	遺構外	打製石斧		綠色岩	11.7	4.1	1.6	87	
第21図16	遺構外	横刃形石器	節理面で折損	硬砂岩	8.4	—	2.5	—	
第21図17	遺構外	横刃形石器		硬砂岩	6.5	7.2	2.1	120	
第21図18	遺構外	横刃形石器		硬砂岩	4.8	9.1	1.4	65	
第21図19	遺構外	石錐		硬砂岩	5.1	4.7	1.4	43	
第21図20	遺構外	石錐		硬砂岩	5.5	4.0	1.4	46	
第21図21	遺構外	石錐		硬砂岩	5.4	4.1	1.5	54	
第21図22	遺構外	大形粗製石逃		綠色岩	8.4	5.0	1.0	47	
第21図23	遺構外	大形粗製石逃		綠色岩	10.2	4.0	1.4	72	
第22図1	遺構外	大形粗製石逃		硬砂岩	14.5	4.9	1.7	132	
第22図2	遺構外	石匙		安山岩	4.3	3.9	0.8	—	
第22図3	遺構外	石匙	つまみ部欠損	不明(頁岩?)	—	4.8	0.8	—	
第22図4	遺構外	打製石斧		綠色岩	9.3	3.6	1.0	53	
第22図5	遺構外	磨製石斧	基部欠損	綠色岩	—	5.1	3.3	—	
第22図6	遺構外	磨製石斧	刃部一部欠	綠色岩	15.4	5.1	3.5	(436)	基部被熱
第22図7	遺構外	敲石		綠色岩	6.2	5.0	2.9	142	
第22図8	遺構外	敲石		硬砂岩	8.8	5.2	4.5	250	
第22図9	遺構外	石錐		花崗岩	32.1	—	7.5	—	
第22図10	遺構外	台石		花崗岩	44.0	35.8	7.9	—	
第22図11	遺構外	石錐		黑曜石	1.7	1.5	0.4	1	
第22図12	遺構外	石錐		下呂石	2.7	1.6	0.8	3	
第22図13	遺構外	削器		安山岩	4.6	5.6	1.7	42	
第22図14	遺構外	U 23・I 34-3		黑曜石	2.2	1.6	0.4	1	



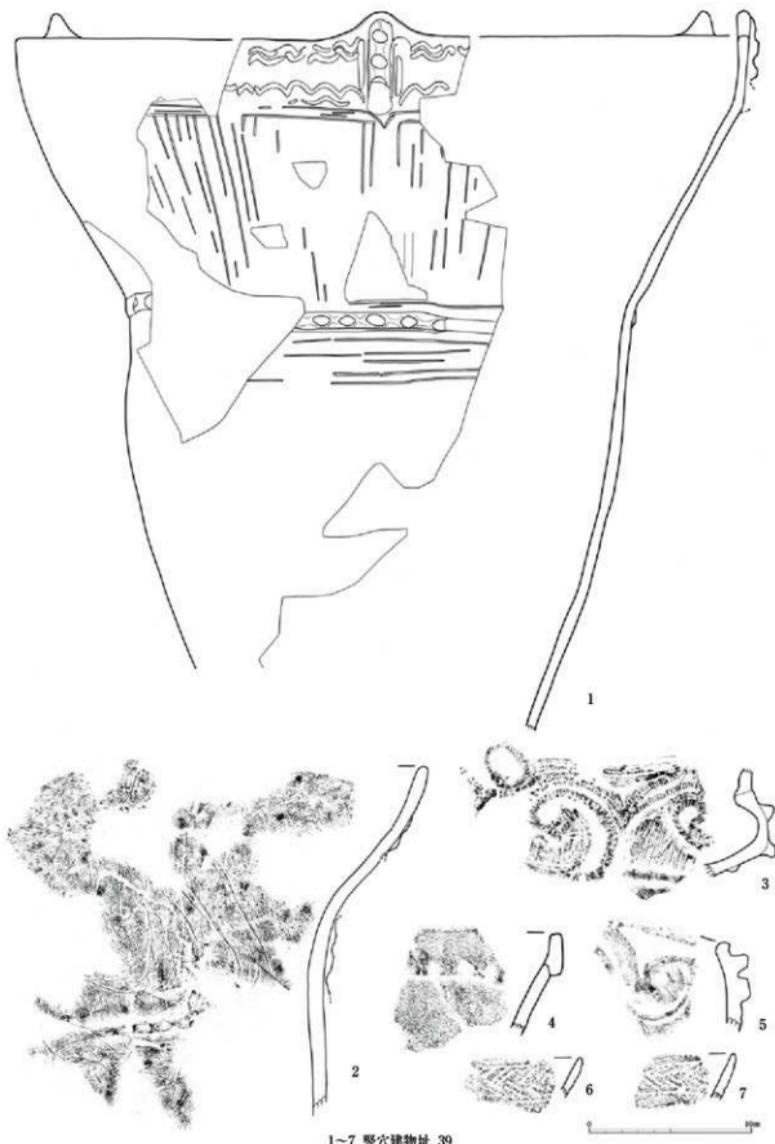
第1図 下の原A遺跡出土土器 (1)



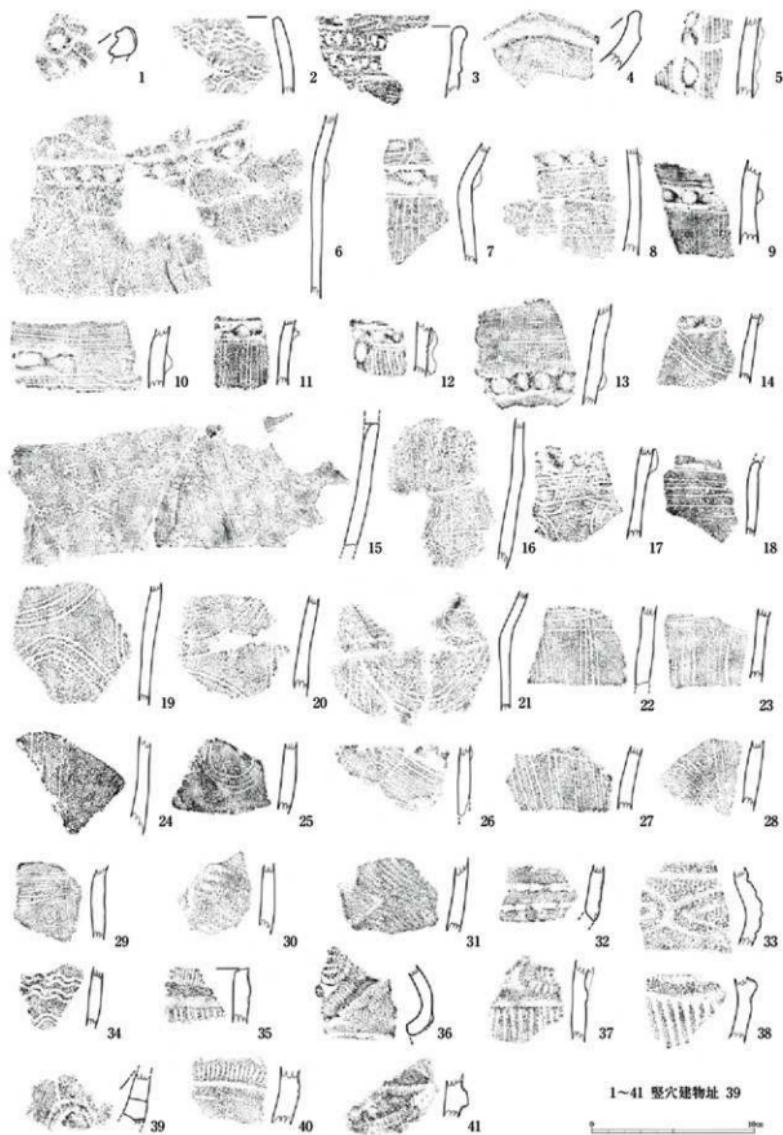
第2図 下の原A遺跡出土土器 (2)



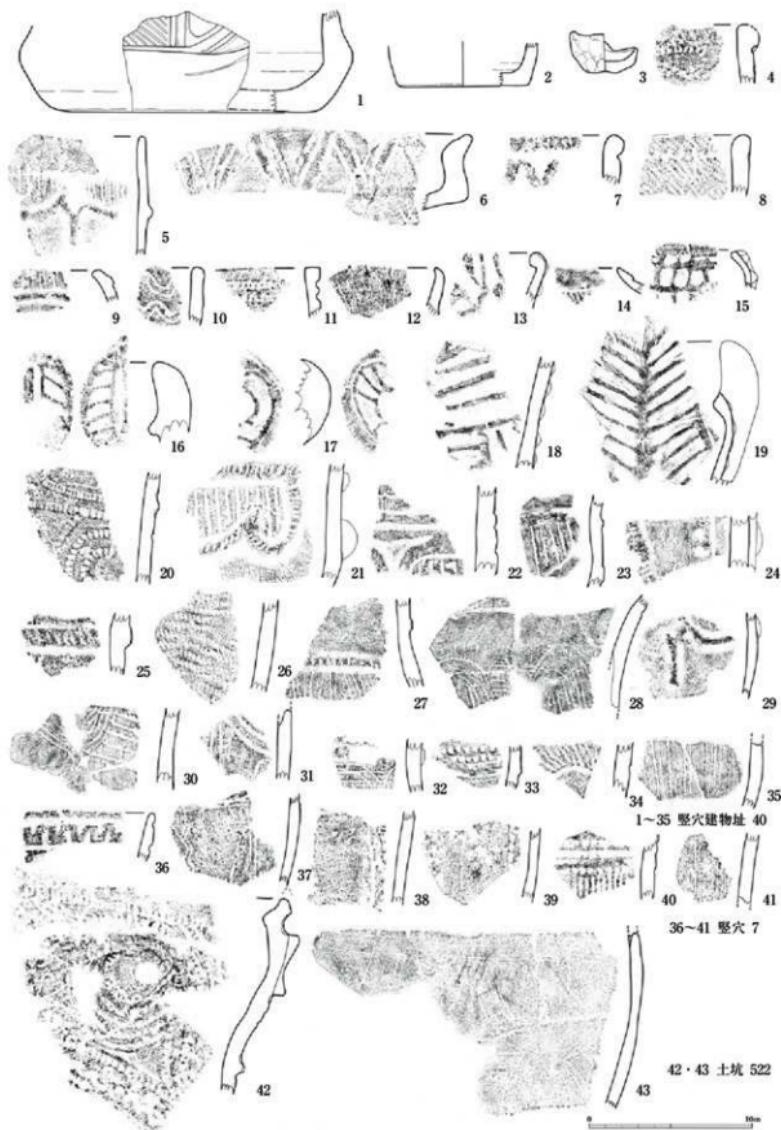
第3図 下の原A遺跡出土土器 (3)



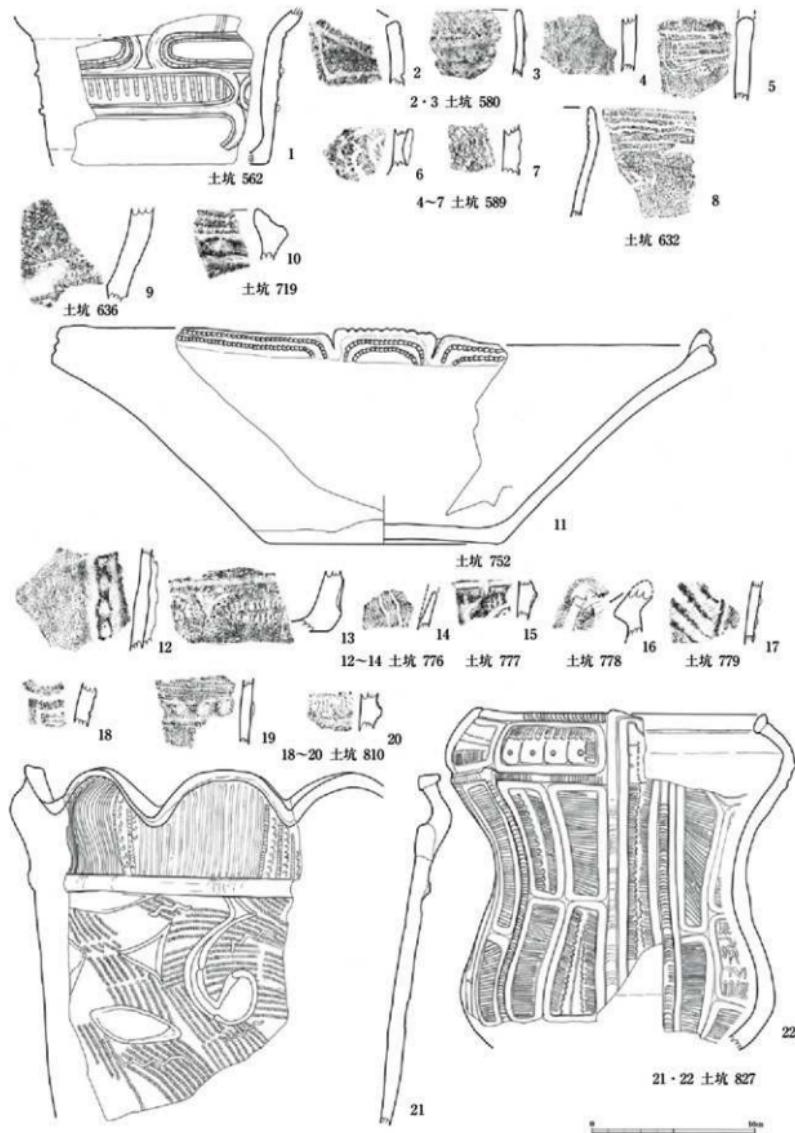
第4図 下の原A遺跡出土土器 (4)



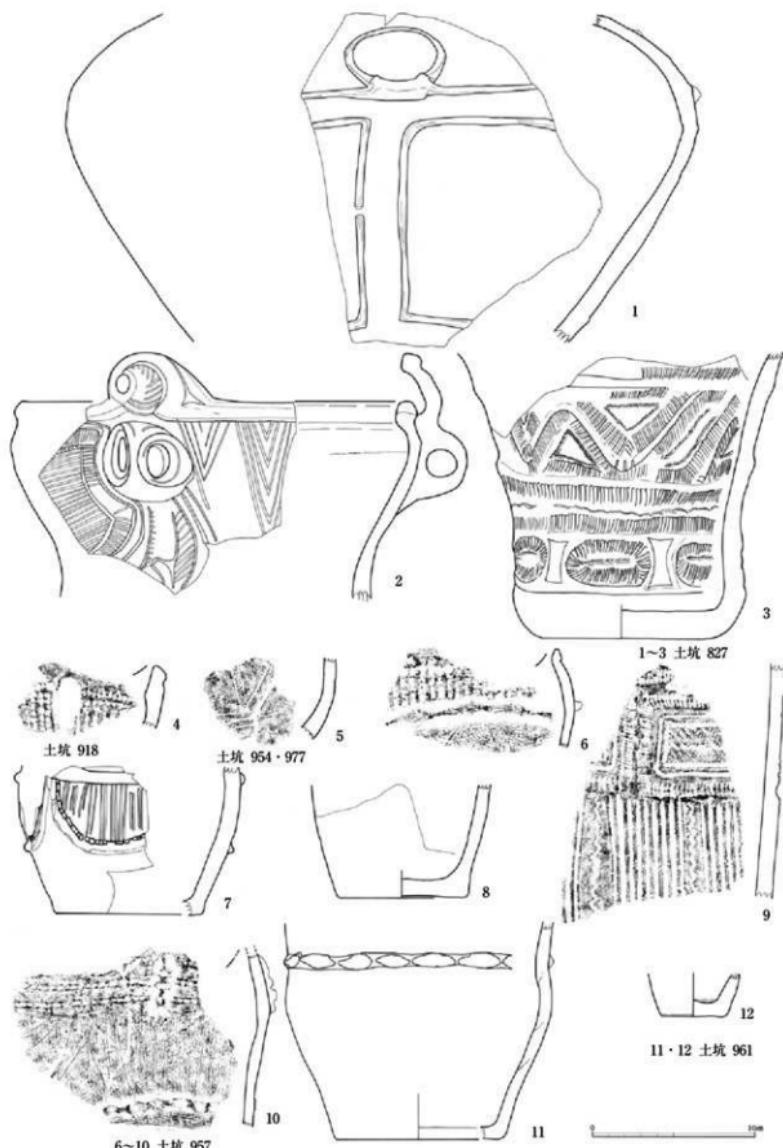
第5図 下の原A遺跡出土土器 (5)



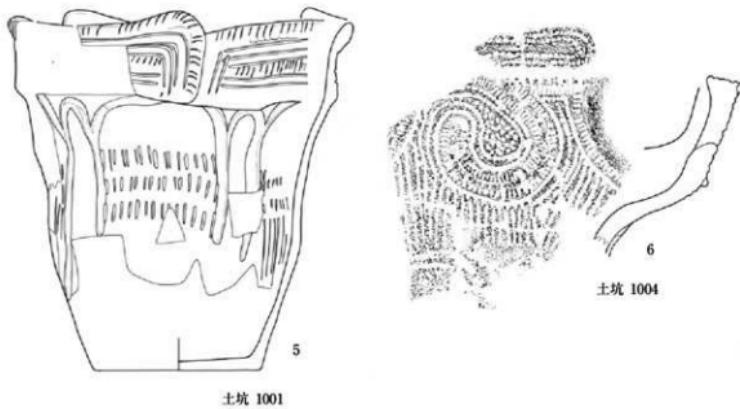
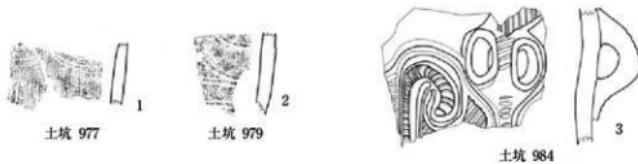
第6図 下の原A遺跡出土土器 (6)



第7図 下の原A遺跡出土土器 (7)

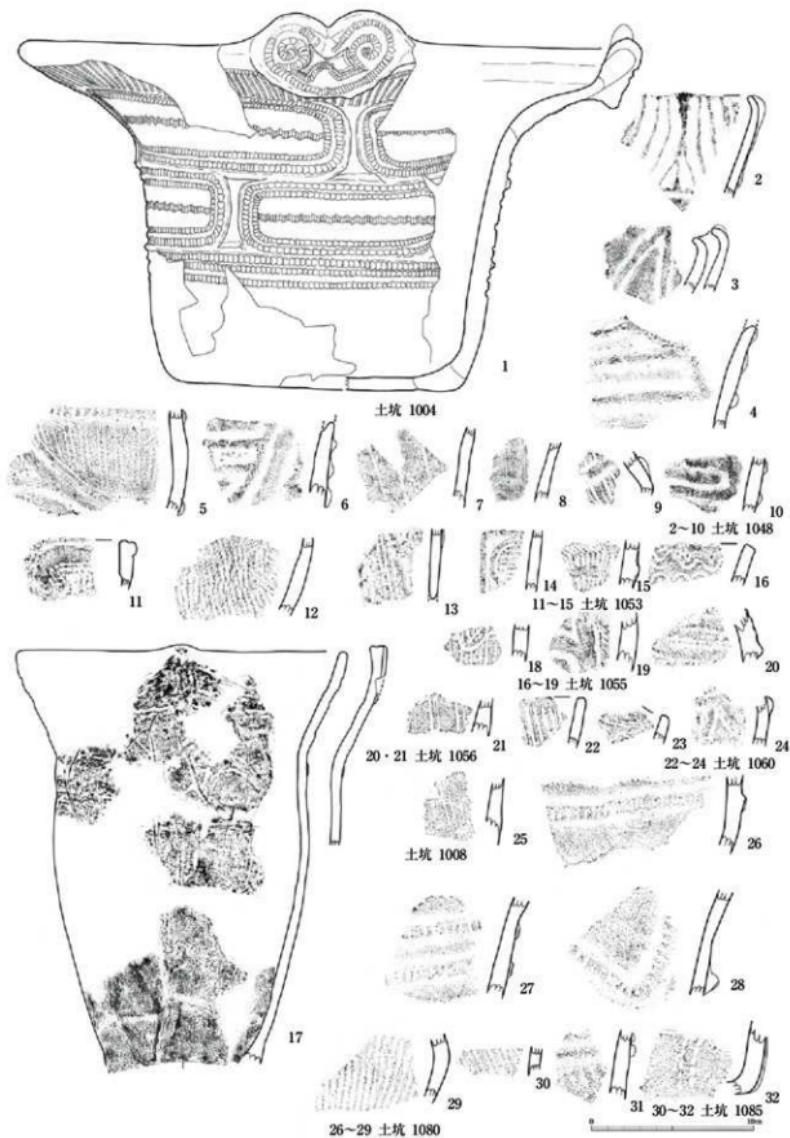


第8図 下の原A遺跡出土土器 (8)

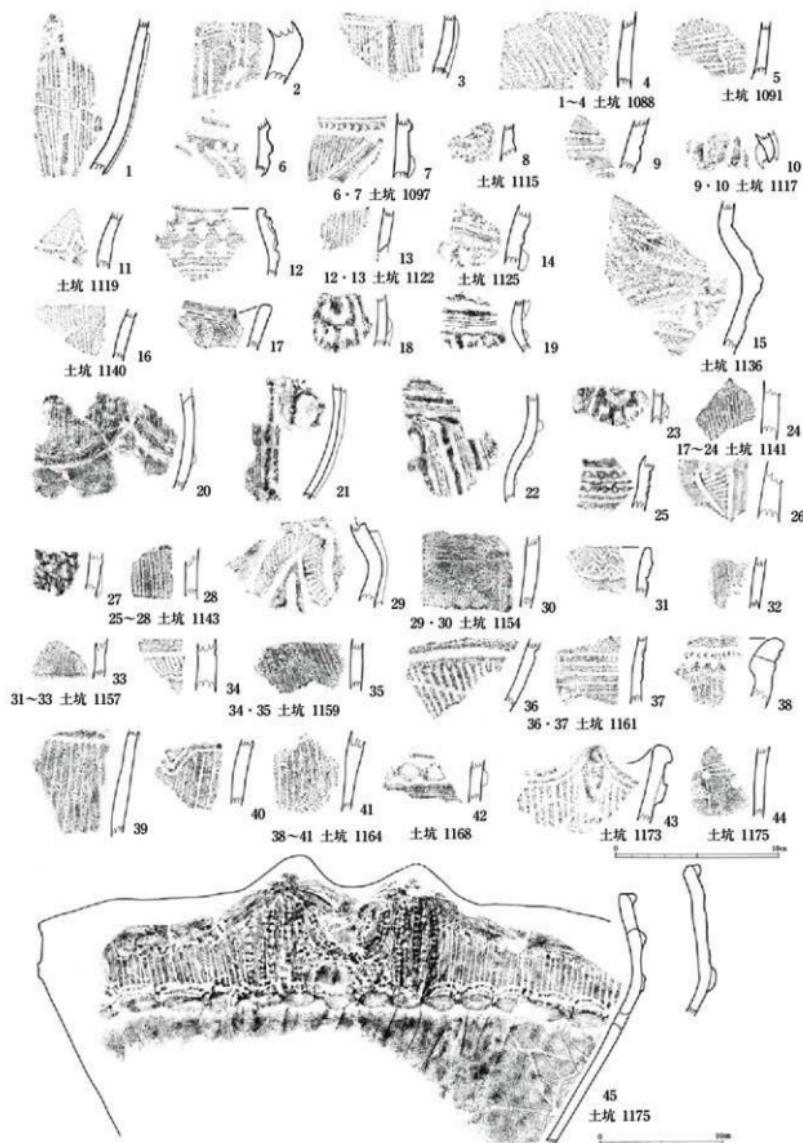


10cm

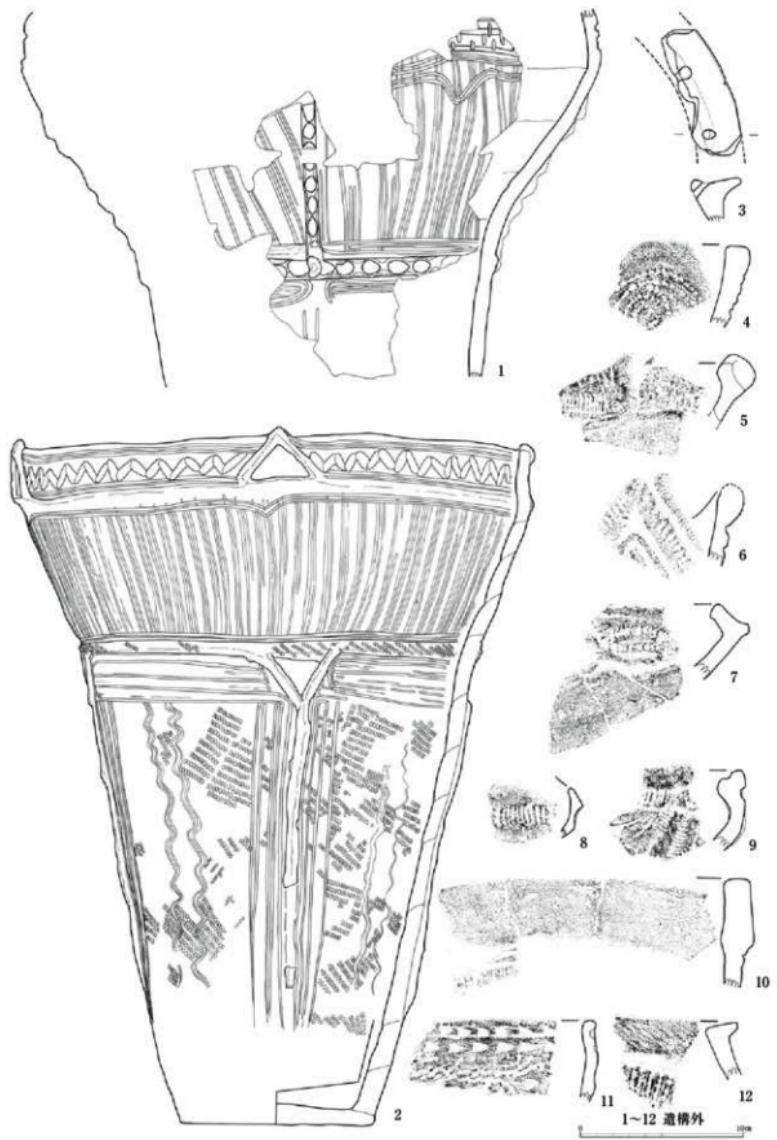
第9図 下の原A遺跡出土土器 (9)



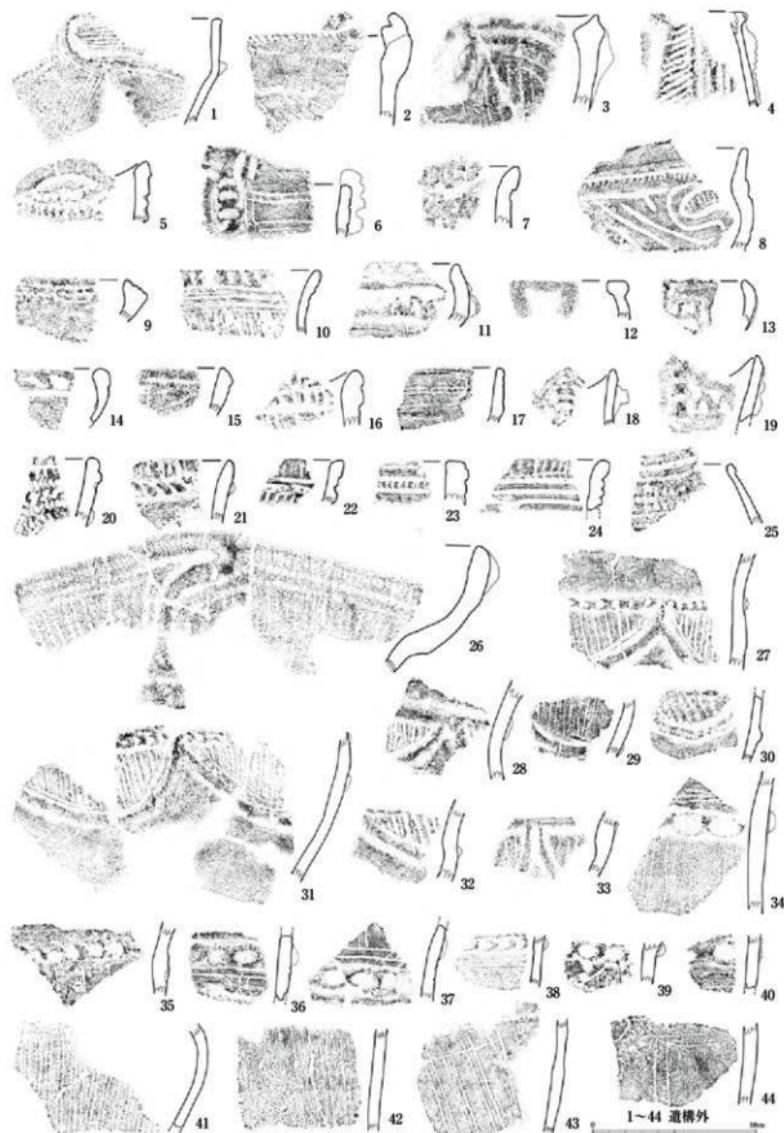
第10図 下の原A遺跡出土土器 (10)



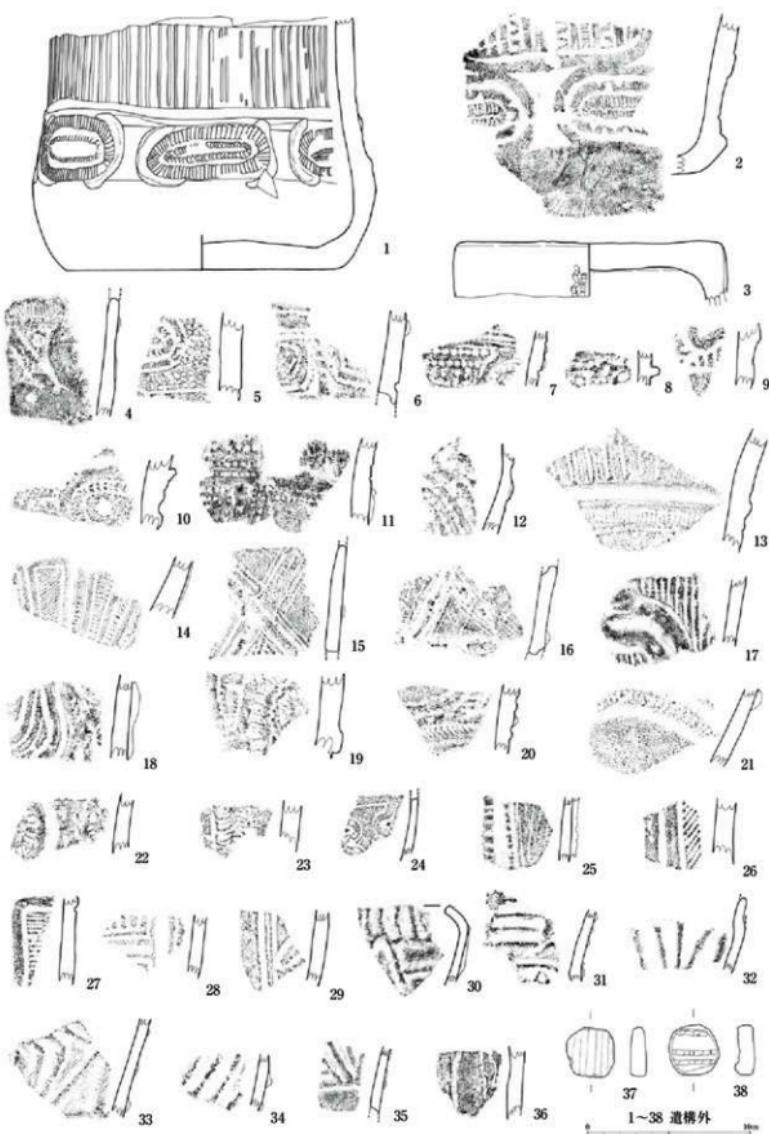
第11図 下の原A遺跡出土土器 (11)



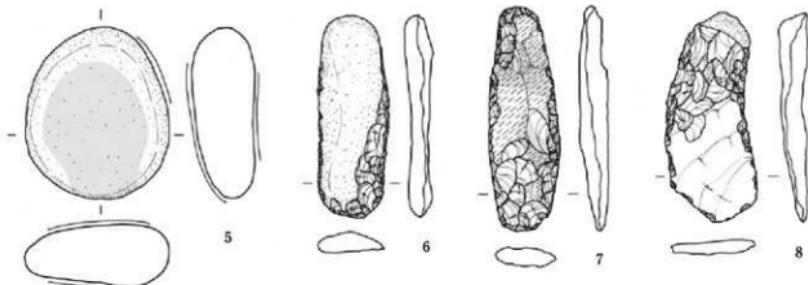
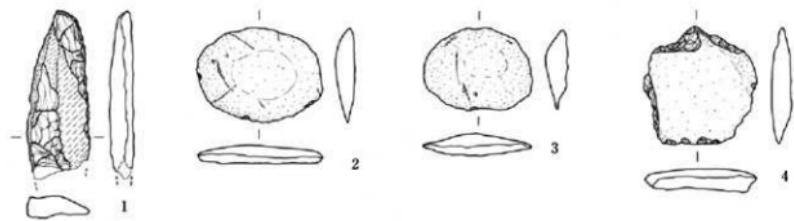
第12図 下の原A遺跡出土土器 (12)



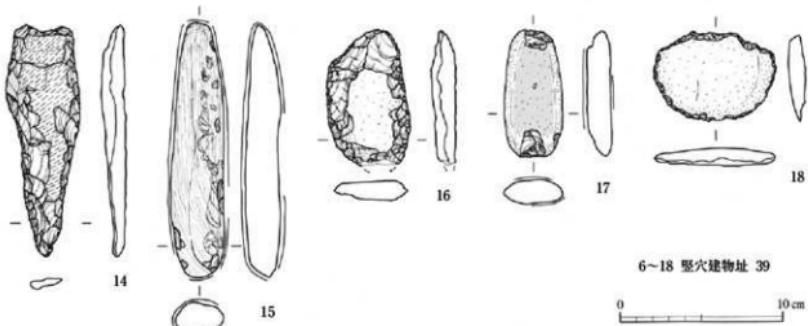
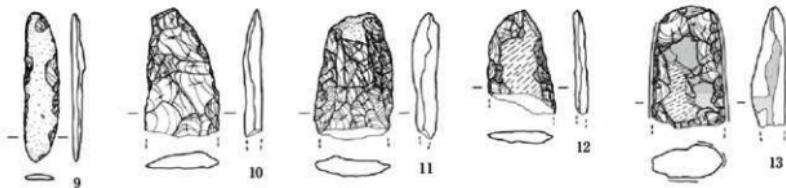
第13図 下の原A遺跡出土土器 (13)



第14図 下の原A遺跡出土土器 (14)



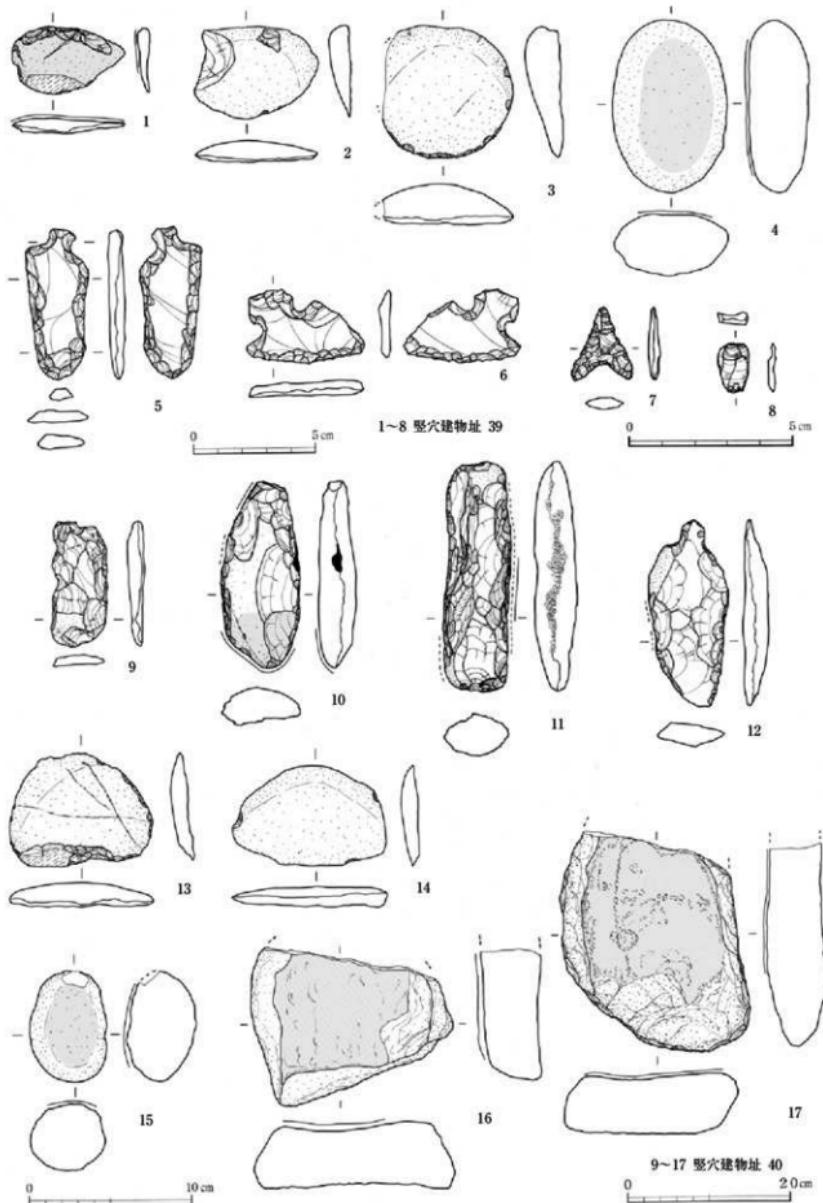
1~5 壁穴建物址 38



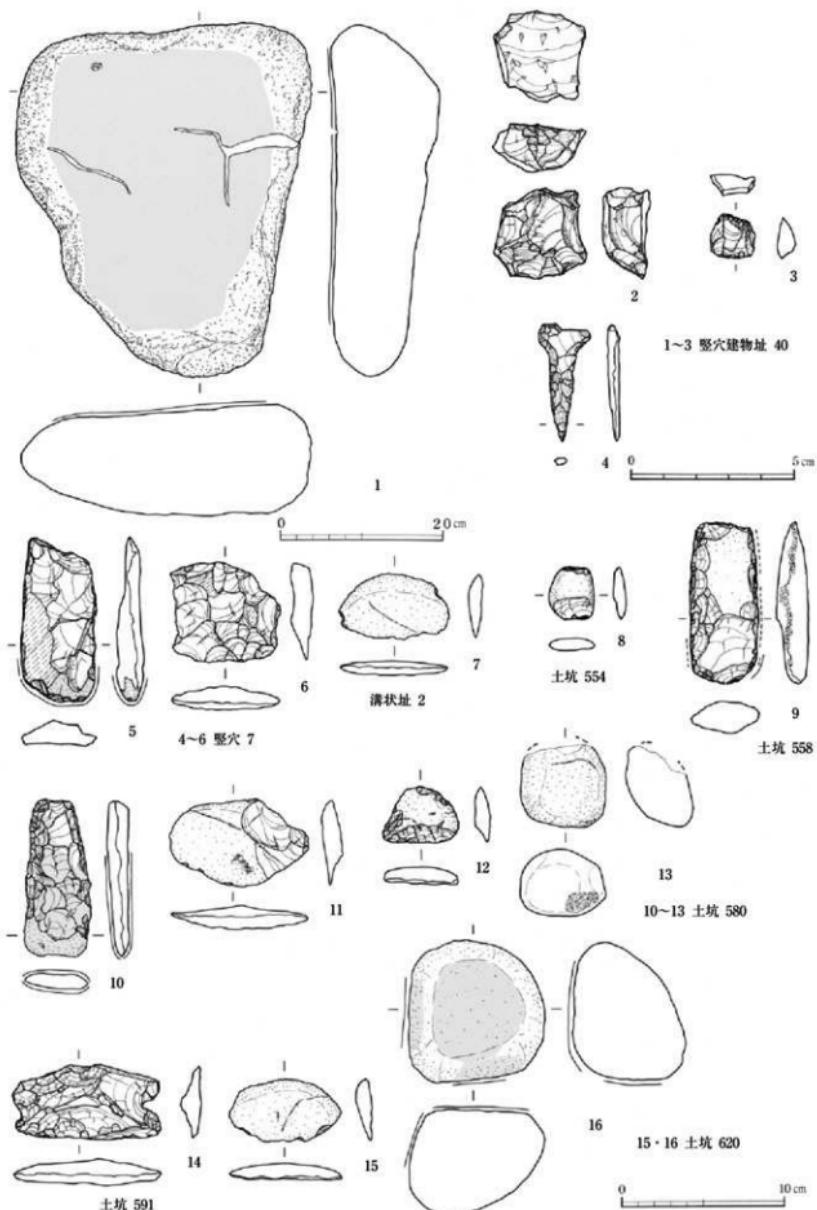
6~18 壁穴建物址 39



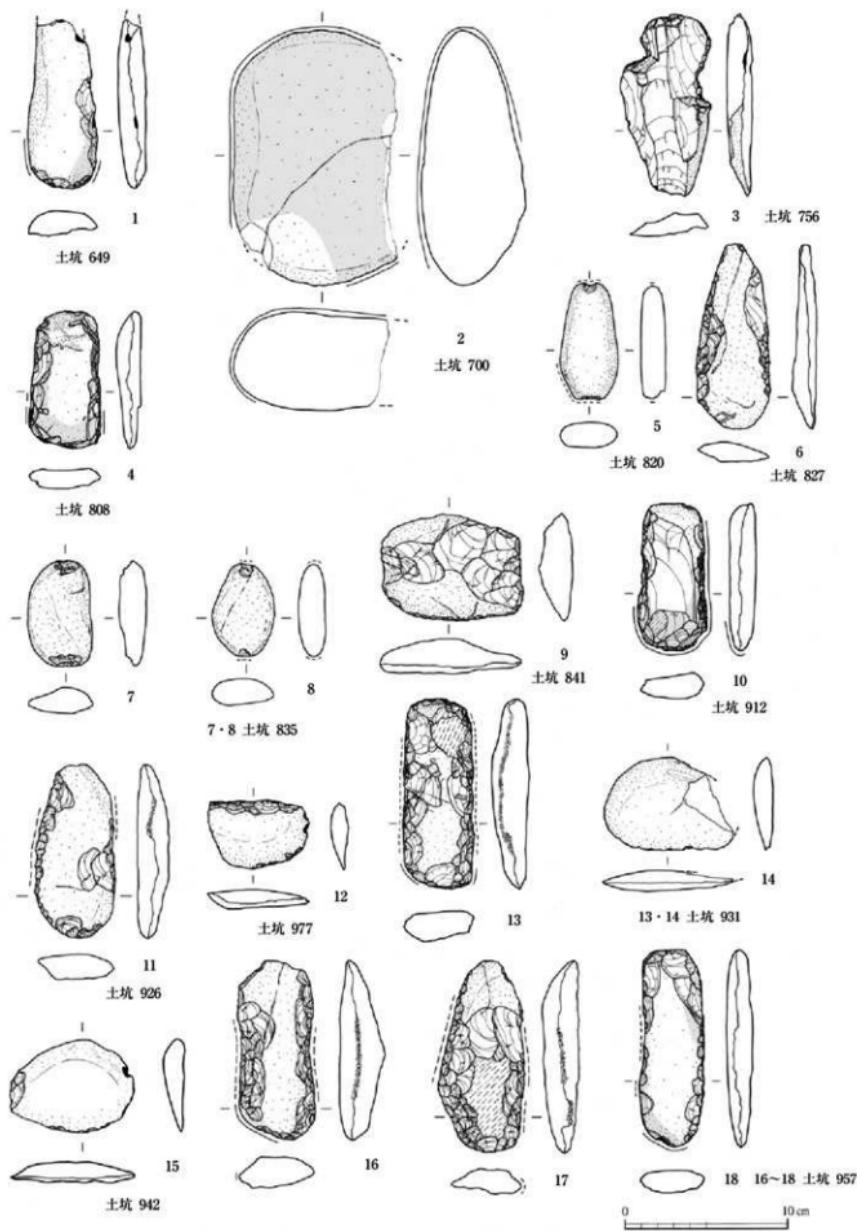
第15図 下の原A遺跡出土石器 (1)



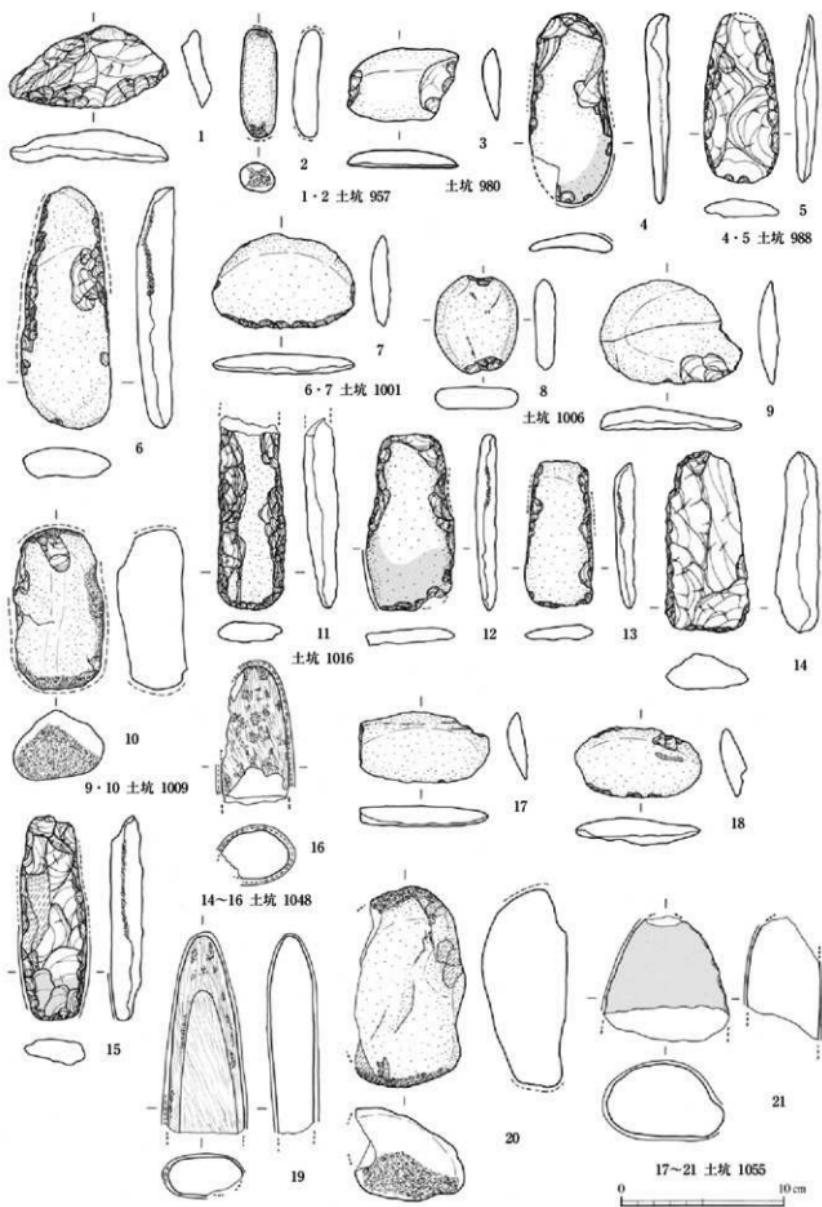
第16図 下の原A遺跡出土石器（2）



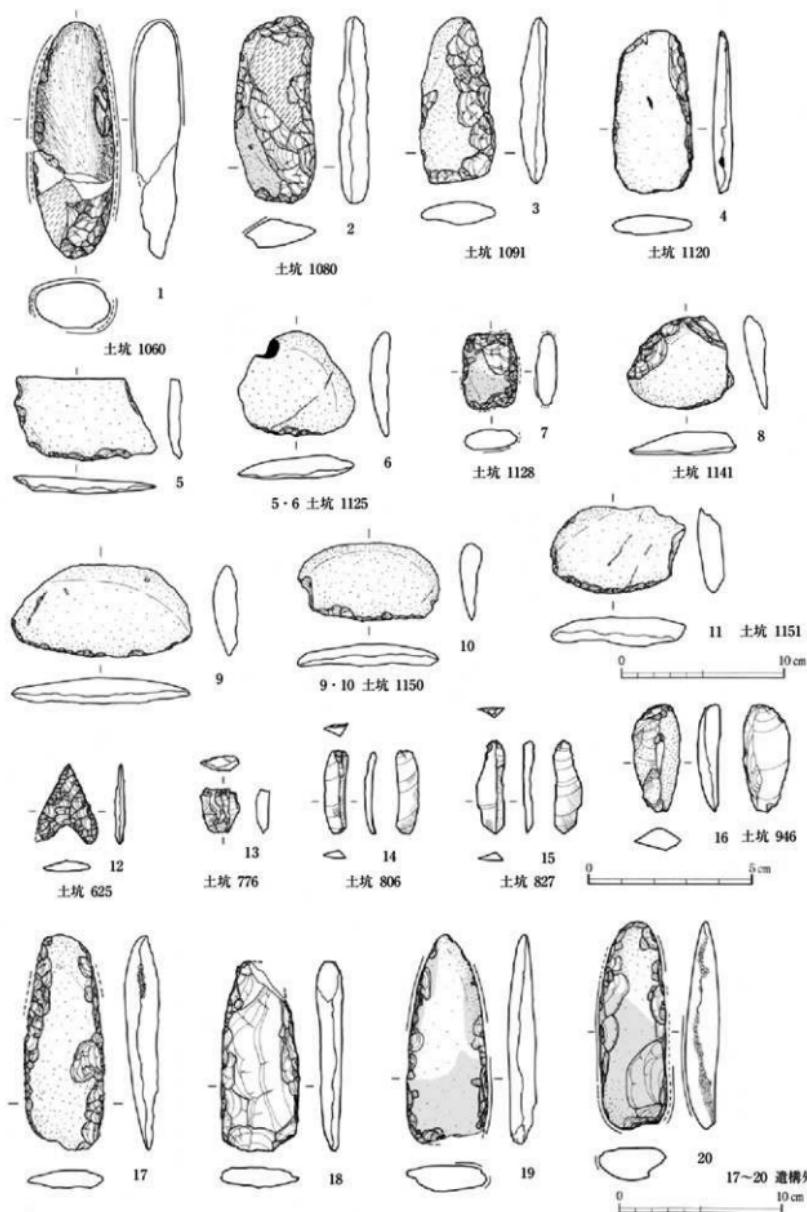
第17図 下の原A遺跡出土石器（3）



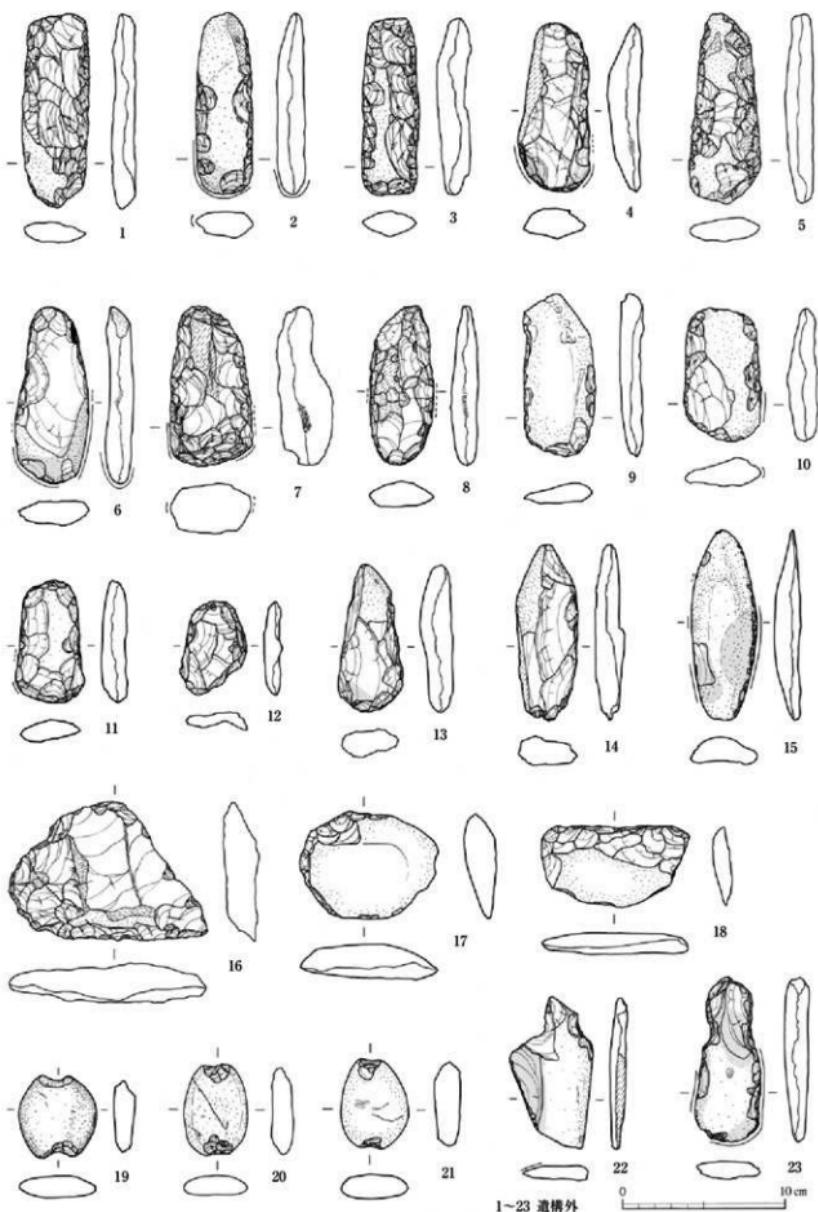
第18図 下の原A遺跡出土石器 (4)



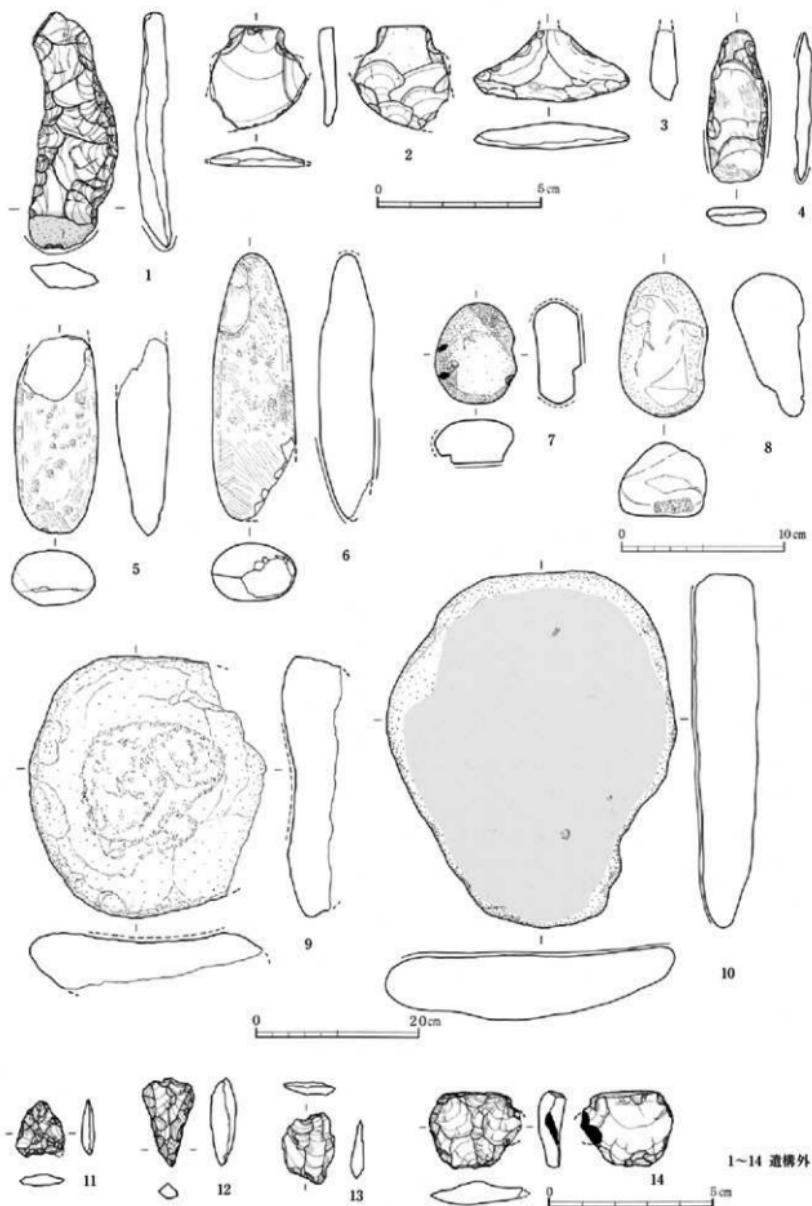
第19図 下の原A遺跡出土石器 (5)



第20図 下の原A遺跡出土石器 (6)



第21図 下の原A遺跡出土石器(7)



第22図 下の原A遺跡出土石器 (8)



遺構全景（南東から）



遺構全景（南西から）



調査区全景



竖穴建物址38



同 炉



同遺物出土狀況



堅穴建物址38
遺物出土狀況（P4脇）



堅穴建物址39



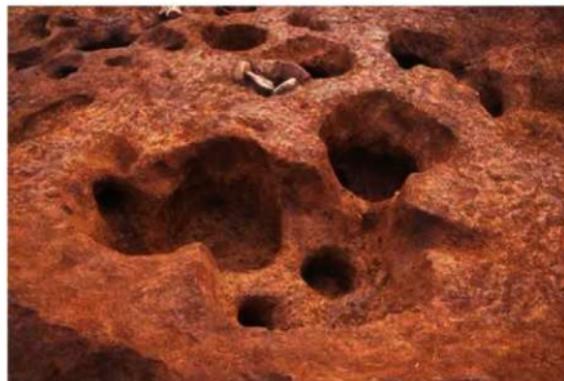
同 爐



竖穴建物址39遺物出土狀況



同P7遺物出土狀況



同貯藏穴



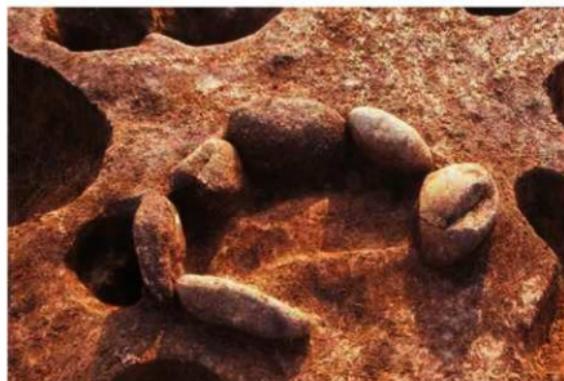
豎穴建物址40



同



同 炉



竖穴建物址40炉



土坑625～631周辺



土坑799周辺



土坑827遺物出土狀況



土坑835 ~ 844周邊



土坑971他



土坑1001



土坑1097



1トレンチ（北西→南東）





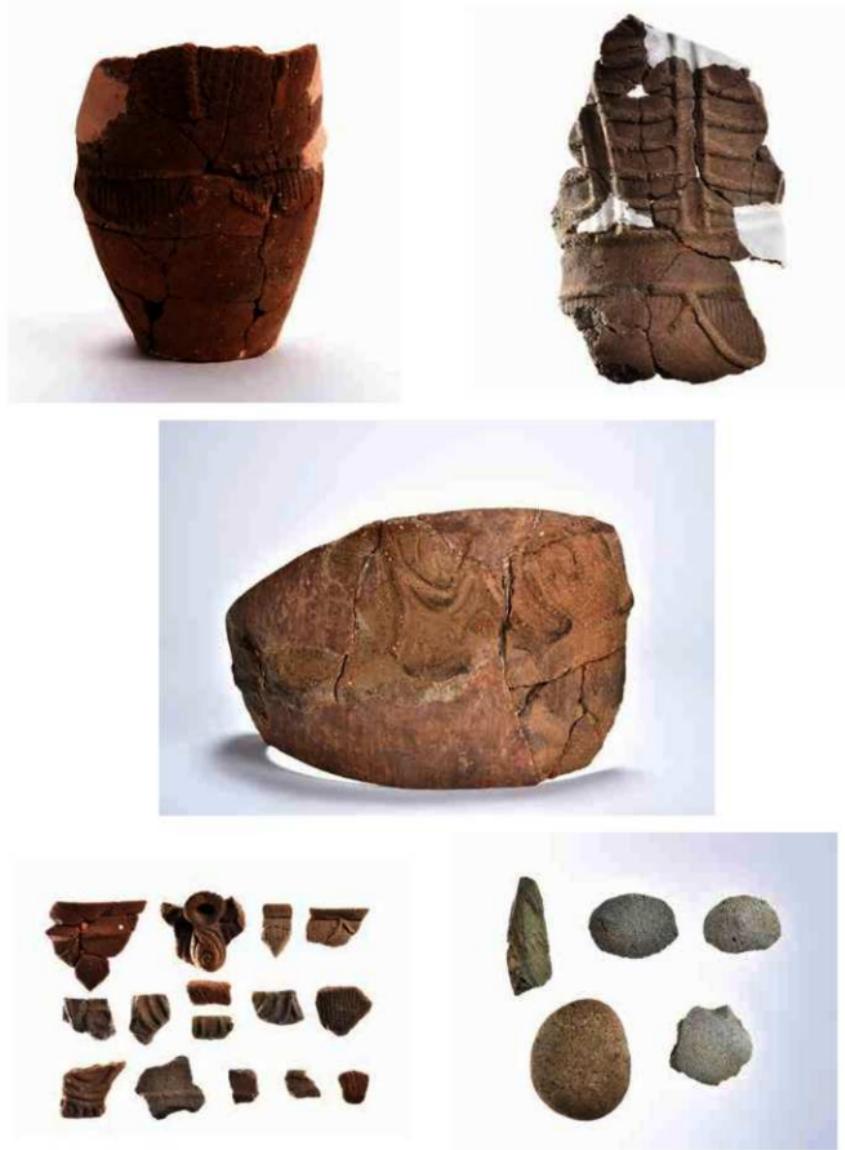
発掘作業風景



同 上



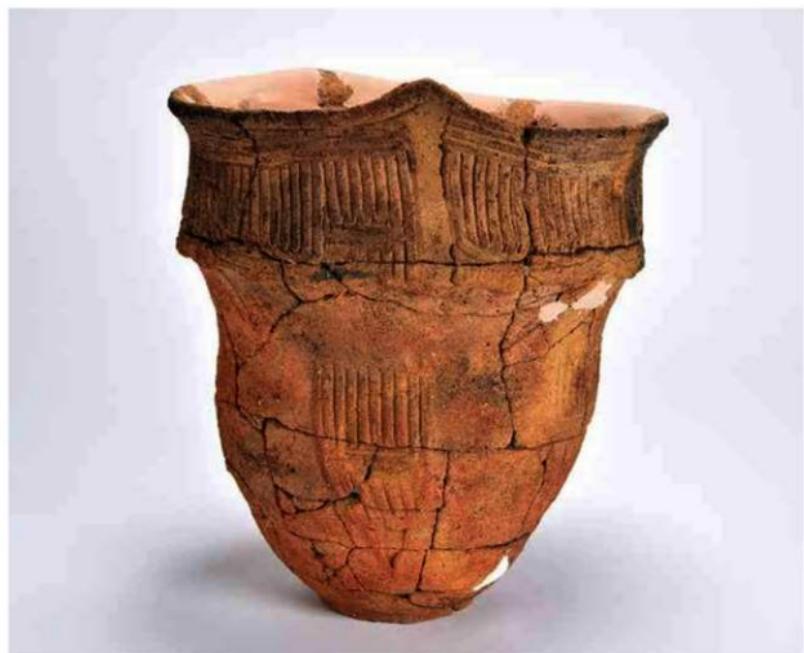
全体清掃



竖穴建物址38



圖版 12
堅穴建物址 39



堅穴建物址39



堅穴建物址39



堅穴建物址40



土坑752



土坑827



土坑1001



土坑961

土坑1004



土坑1004（右下）・遺構外（左上）

土坑1177



土坑1055



遺構外

報告書抄録

ふりがな	しものはらAいせき									
書名	下の原A遺跡									
副書名	株式会社中村の事務所及び倉庫建設に先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書									
卷次										
シリーズ名										
シリーズ番号										
編著者名	馬場保之									
編集機関	長野県飯田市教育委員会									
所在地	〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地 TEL. 0265-22-4511									
発行年月日	令和4年3月31日									
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積 m ²	調査原因			
しものはら 下の原A いせき 遺跡	いいだし 飯田市 しもとのおか 下殿岡 454-10	20205	287	35° 29' 32"	137° 48' 59" ~ 1992.1.10	1769m ²	民間開発			
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項					
下の原A 遺跡	集落跡	縄文時代 中期	竪穴建物址 土坑	縄文時代 土器・石器	・縄文時代中期中葉から中葉末の集落の一端を調査した					
要約	竪穴建物址3棟、竪穴3基、土坑622基、溝址1条、溝状址3条等が調査され、大半の遺構が縄文時代中期中葉から中葉末に位置づくものである。 これまで周辺で行われてきた発掘調査で指摘された該期集落の分布状況については、新たな所見を得た。東方段丘最先端部一帯に分布するとの推定がなされた中期中葉の集落は、今次調査地点南側では当該期の遺構・遺物は確認されていないことから、今次調査で把握された密集する土坑群を別にすれば、竪穴建物址の疎らな分布状況からも大規模な集落の存在は想定しがたい状況である。									
	多数把握された土坑群については、居住域外側の土地利用を含めた集落構造の全容を把握する上で、これらの位置づけが重要といえる。ほとんどの土坑の性格は不明と言わざるを得ないが、ほぼ完形の土器を数個体伴うものもあり、これらは墓としての様相が強いともいえ、土壙墓と考えられるものがある。市内の縄文時代中期の墓域が調査された城陸遺跡や富の平遺跡で把握された墓域の様相に比し、今次調査で把握された土坑群は、規模・形態がまちまちであり、集落構造を異にする可能性が高い。									
今次調査で主体として出土した中期中葉から中葉末にかけての遺物は、平出ⅢA式土器と下伊那型橢形文土器からなる在地系、猪沢式・井戸尻式（勝坂系土器）の中部高地・関東系、北裏C式・山田平式等東海系、船元式の関西系等である。他地域との交流の実態については、なお明らかではない。										

しも はら
下の原A遺跡

株式会社中村の事務所及び倉庫建設に
先立つ埋蔵文化財包蔵地発掘調査報告書

2022年3月 発行

編集・発行 長野県飯田市大久保町2534番地

飯田市教育委員会

印 刷 杉 本 印 刷 株 式 会 社
